

## 第3章 教育施策の推進状況

### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況などを踏まえながら、中長期的な目標のもと、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

##### 1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップのもと、家庭・地域との協働の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

- 重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小中学校における作成状況は100%であった。

##### 2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

##### 3 「開かれた学校づくり」の推進

###### (1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小中学校 100%、高校89.7%、特別支援学校92.9%であった。

###### (2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小中学校においても8割以上で設置されている。

#### 【目標】

児童・生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第1 目標達成型の学校経営の推進

###### 【進捗状況】

	H20岩手県	H20全国平均
公立小学校	341校(81.4%)	91.1%
公立中学校	159校(82.8%)	91.6%
県立学校	90校(100%)	96.8%

###### 【今後の取組】

学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供する旨にも、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。

### (3) 学校評価の実施

#### 【目標】

平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。

- (1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。
- (2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。
- (3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。

#### 【実施状況】

(平成20年度)	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施	
	岩手県	全国	岩手県	全国□	岩手県	全国
公立小学校	418校(99.8%)	99.9%	337校(80.6%)	89.7%	276校(65.9%)	84.9%
公立中学校	192校(100%)	99.9%	154校(80.2%)		126校(65.6%)	84.3%
県立学校	91校(100%)	100%	76校(83.5%)		72校(79.1%)	90.9%

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小中学校で66%程度の実施にとどまっている。

### (4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小中学校における開設状況は5割程度にとどまっている。

#### 【目標】

全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。

#### 【進捗状況】

	H22岩手県
公立小学校	48.3%
公立中学校	50.3%
県立学校	100%

#### 【今後の取組】

学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。

### 4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第1 目標達成型の学校経営の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

#### 5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に活用するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

#### 6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

### 第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を作成し、学校の取組促進に努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

#### 2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第2 社会人として自立できる能力の育成

### 3 学校裁量を生かした創意工夫

#### (1) 平成22年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

##### 文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名
学力向上実践研究推進事業（確かな学力育成のための実践研究事業）〔平成20～22年度〕	盛 岡	水分小、上平沢小、片寄小、紫波第三中
	県 南	水沢小、佐倉河小、水沢中
豊かな体験活動推進事業 〔平成22年度〕	宮 古	田野畑小
発達段階に応じたキャリア教育支援事業 〔平成21・22年度〕	県 南	一関市 （南小、一関中、本寺小、本寺中、摺沢小、大東中）
	県 北	軽米町（軽米小、軽米中、小軽米小、小軽米中） 九戸村（江刺家小、九戸中）
人権教育研究指定校事業 〔平成22年度〕	沿岸南部	吉里吉里中
道徳教育実践研究事業 〔平成21・22年度〕	盛 岡	盛岡市（河北小）
	中 部	西和賀町（湯田中）
	県 南	奥州市（姉体小、東水沢中）
我が国の伝統文化を尊重する教育に関する実践モデル事業〔平成22年度〕	沿岸南部	大船渡中
問題を抱える子ども等の自立支援事業 〔平成22年度〕	盛 岡	葛巻町、岩手町
	県 南	奥州市、金ヶ崎町
	県 北	洋野町

#### (2) 教科書関係

##### ア 採択の概要

平成22年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成17年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

##### イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成23年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

(ア) 平成23年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成22年度使用教科書展示会を、平成22年6月18日から14日間、次の18カ所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／県南／川崎／大船渡／陸前高田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

(3) 高等学校教育全般

平成22年度3月に策定された「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成22年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の18項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

学校経営改革／学力・授業力向上／キャリア教育 / 豊かな人間性の育成／特別支援教育／健康教育、【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究、【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

【平成22年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	年 度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	平成18～22年度
原子力・エネルギーに関する教育支援事業	黒沢尻工業・水沢工業・千厩・釜石商工	平成22年度
地域産業の担い手育成プロジェクト（農業分野）	盛岡農業・花巻農業・水沢農業	平成21～22年度
地域産業の担い手育成プロジェクト（水産分野）	宮古水産	平成21～22年度
環境のための地球学習観測プログラム（グローブ）	遠野	平成21～22年度
教育課程研究指定校事業	盛岡商業・福岡工業	平成21～22年度
学力向上実践研究推進事業（数学）	岩泉	平成21～22年度

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

(4) 定時制・通信教育

平成22年度における定時制課程の学校数は、11校（独立本校1校、併置校8校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高校通信制1校である。

昭和56年度から定時制高校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。

この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっているが、平成14年度に技能連携生5人が入学したのを最後に、平成15年度以降は在籍がゼロとなっている。

昭和63年4月には杜陵高校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にし、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

定時制・通信制課程の生徒数全体は、平成14年度以降は減少傾向となっていたが、平成20年度からは増加傾向にある。

ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成22年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	機械科	電気科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	233	—	—	—	—	17	—	—	250	44.6
通信制	300	161	—	—	—	—	—	—	—	188	53.6
合計	860	394	—	—	—	—	12	—	—	424	45.8

[平成21年5月1日現在の生徒数計は、定時制224人、通信制188人、合計412人であり、それぞれ9人増、27人減、18人減]

(イ) 在籍生徒数（平成22年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	機械科	電気科	工学科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	675	—	—	—	—	37	16	12	740	33.0
通信制	—	1,471	—	—	—	—	—	—	—	1,471	—
合計	—	2,146	—	—	—	—	37	16	12	2,211	—

[平成21年5月1日現在の生徒数計は、定時制740人、通信制1,746人、合計2,486人であり、それぞれ増減0、275減、275減]

イ 就学奨励事業

就学促進のための施策の一環として「高等学校定時制課程及び通信制就学奨励費貸付事業」を実施し、関連事業として、教科書の無償給与、夜間定時制高校生徒夜食費補助等も実施した。

ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成22年5月14日

会場……………杜陵高校

参加者……………45人

(イ) 第60回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成22年9月26日

会場……………杜陵高校

参加者等……………100人（発表14人）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、IT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

### (1) 情報関連機器の整備状況（平成23年3月現在）

[単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	6.0	7.6	59.6	79.8	49.3	67.0
中学校	4.7	6.4	60.2	79.3	50.9	68.5
高等学校	4.7	5.0	99.6	93.8	63.8	64.3
特別支援学校	2.4	3.4	83.9	89.6	64.3	67.9
合計	5.2	6.6	68.0	82.3	51.7	67.1

(参考) 平成18年度から平成22年度までの新基準（文部科学省）

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	普通教室における校内LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6人	概ね100%	概ね100%

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

### (2) 教員の指導力の向上

ア 教員のICT活用指導力の状況（平成23年3月現在）

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合[単位:%]	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	80.6	76.1
授業中にICTを活用して指導する能力	67.8	62.3
児童・生徒のICT活用を指導する能力	68.4	61.5
情報モラルなどを指導する能力	75.6	71.4
校務にICTを活用する能力	78.0	72.4

イ 教員情報活用能力向上のための研修

小中高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第2 社会人として自立できる能力の育成

## 5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

### (1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 14人

イ 国籍

米国、英国、カナダ、シンガポール

ウ 配置先

学校教育室 1人

総合教育センター 1人

県立高校 8人

#### 【配置高校名】

盛岡北、不来方、花巻北、黒沢尻北、北上翔南、水沢、一関第一、遠野緑峰

### (2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、より効率的かつ効果的な運用により、外国語指導の向上を目的として、一部の業務を民間業者に委託した。

- ・平成20年8月21日 22人（教育事務所：3事務所3人 県立学校：40校19人）
- ・平成20年9月1日 24人（教育事務所：5事務所5人 県立学校：43校19人）
- ・平成20年10月31日 25人（教育事務所：6事務所6人 県立学校：46校19人）
- ・平成21年4月1日 26人（教育事務所：7事務所7人 県立学校：43校19人）
- ・平成21年7月31日 33人（教育事務所：9事務所9人 県立学校：59校24人）
- ・平成22年4月1日 33人（教育事務所：6事務所8人 県立学校：56校25人）
- 8月から 37人（教育事務所：6事務所8人 県立学校：64校29人）

※県立学校の人数＝総数－教育事務所の人数（兼務のため）



## 6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」を策定し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

### (1) 「いわてキャリア教育の手引き」の策定

平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」に基づき、各学校のキャリア教育の推進に向けて、「いわてキャリア教育の手引き」を小・中学校編と高校編に分けて策定し、各学校における進め方や実践事例等を示した。

### (2) 発達段階に応じたキャリア教育推進支援事業の実施

小中学校において、学ぶことや働くこと、生きることについて考えさせ、学ぶ意欲の向上を図り、将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育て、発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を効果的・効率的に実施するため、3市町村（一関市・軽米町・九戸村）が文部科学省の指定を受け、研究事業を実施した。

### (3) 小中高キャリア教育研究協議会の開催

キャリア教育を担当する教諭を対象に、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方について研修し、各校のキャリア教育の改善・充実と担当者の資質の向上を図った。

地区名	期 日	会 場	担当教育事務所
中部(花巻)	平成23年2月2日(水)	東和総合福祉センター	中部教育事務所
中部(北上)	平成23年2月14日(月)	北上地区合同庁舎	中部教育事務所
沿岸南部	平成22年8月6日(金)	三陸公民館	沿岸南部教育事務所
県北(二戸)	平成22年11月26日(水)	二戸シビックセンター	県北教育事務所

### (4) キャリア教育指導者養成研修への派遣

キャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校3人、高等学校2人が受講した。

### (5) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が主催する「産業教育フォーラム」や各学校が実施する外部講師による講演会、生徒の企業見学、教員研修等を支援した。

## 7 職業教育の充実

### (1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育のさらなる充実が求められていくものと考えられる。

### (2) 職業教育の活性化に向けて

#### ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、さらに、産業界と連携しながら、体験的な学習を推進していく必要がある。

#### イ 地域産業の担い手育成プロジェクトの活用

文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」を活用し、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどの実施により生徒の実践力の向上が図られた。

分野	所管省庁	事業期間	対象校
ものづくり分野	文部科学省・ 経済産業省	平成19年度～21年度	盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校
農業分野	文部科学省・ 農林水産省	平成20年度～22年度	盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校
水産分野	文部科学省・ 水産庁	平成21年度～22年度	宮古水産高校

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

### 第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

#### 1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人ひとりが在り方生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

#### 2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成22年5月1日現在小学校103校、中学校44校となっており、全学校に占める割合は、小学校26.2%、中学校23.2%で、小中学校全体では24.5%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校110校（28.0%）、中学校9校（4.7%）である。

##### (1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導DVDを作成し、複式学級における学習指導の充実に図った。

##### (2) 複式指導等改善巡回講座の実施

複式学級の特性を生かした学習指導の充実に図るため、県下2地区4会場において、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
宮 古	山田町立轟木小学校	平成22年6月2日	授業、講義、協議、演習
	岩泉町立浅内小学校	平成22年6月15日	授業、講義、協議、演習
久 慈	久慈市立戸呂町小学校	平成22年4月27日	授業、講義、協議
	軽米町立円子小学校	平成22年4月28日	授業、講義、協議

## 第4 教員の適正配置

### 1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保するため、スポーツ・社会人・理療科特別選考を実施し、学校活性化のための人材の確保に努めた。

### 2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第6次配置改善計画、高等学校においては第5次配置改善計画により、ティームティーチングや多様な教科・科目の開設など指導方法の改善に伴う加配措置がなされ成果を上げてきた。第7次配置改善計画においては、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から小学校1年生に35人学級編制を導入し、平成19年度には小学校2年生まで拡大した。平成21年度には、中学校1年生における35人学級編制を導入し、市町村教育委員会の意向を踏まえ選択的に実施した。

### 3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

#### 【平成22年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	466人
中学校	152人
高等学校	151人
特別支援学校	87人

### 4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度は特別支援学校の教員を対象とした認定講習を開催するなど県として条件整備に努めた。

#### (1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成22年7月31日～8月6日
受講者	163人
単位授与者	163人
開設講座	3講座

#### (2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

#### 【教育職員の免許状授与状況(単位:件)】

免許状の種類	平成22年度	平成21年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	347	316
中学校教諭	336	340
高等学校教諭	436	388
養護教諭	11	21
特別支援学校教諭	92	94
自立教科教諭(理療)	1	1
特別支援自立活動	0	2
幼稚園教諭	455	454
栄養教諭	36	49
計	1,714	1,665
臨時免許状		
小学校助教諭	15	8
中学校助教諭	4	6
高等学校助教諭	49	53
養護助教諭	0	1
特別支援学校助教諭	14	3
自立教科助教諭(理療)	0	3
幼稚園助教諭	2	2
計	84	76
特別免許状	1	2
再交付・書換え		
再交付	164	121
書換え	283	272
計	447	393
合計	2,246	2,136
免許状授与証明書	531	389

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

#### 第5 教員研修の充実

### 第5 教員研修の充実

本県教員のより一層の資質向上と教育課題の解決を図るため、これまでの研修体系を見直し、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

#### 1 平成22年度研修実績

##### (1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	学校管理運営上の諸問題、指導行政上の諸問題研究協議、講話、演習	2	579
副校長研修講座	小中学校副校長	講話、サービス管理上の諸問題説明、実践発表、演習	1	577
新任校長研修講座	小中学校新任校長	指導行政の課題と学校経営、管理職としての心がまえ、新任校長に望む、学校組織マネジメント、教職員のメンタルヘルス、発表と研究協議	2	38
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長の役割、新任副校長に望む、指導行政の重点、教職員のメンタルヘルス、学校組織マネジメント、発表と研究協議、学校経営上の諸問題、サービス規程演習、学校事務の概要	4	24
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、危機管理の在り方、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	17
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、学校経営、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、コンプライアンス、新任副校長に期待する	2	26

##### (2) 初任者研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数	
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科・道徳・特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル 等	I	4	58
			II	4	59
			III	3	58
			宿泊研修	3	59
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、課題研修の進め方、社会奉仕体験の心構え 等	8	59	
市町村教育委員会研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組 等	3	59		
校内研修	各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際 等	300時間程度	59		

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

(3) 初任者研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等		研修者数
初任者研修	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観	6		56 (高校36、特支20)
	総合教育センター研修	任用・服務、勤務、学習指導、生徒指導、接遇、総合的な学習の時間、ボランティア活動、校務における情報活用、情報モラル、教育相談、授業改善の事例発表 等	教職基礎	2	83
			教科別(高等学校)	4	39
			授業基礎(特別支援)	4	27
			領域実技Ⅰ(高等学校)	4	39
			実技(特別支援)	3	28
			領域実技Ⅱ(高等学校)	3	39
			特支一般(特別支援)	4	26
			授業改善(高等学校)	3	39
			課題研究(特別支援)	3	28
	宿泊研修	3	66		
所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導等	300時間程度		56	

(4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、教育課程の編成、高校教育の現状と課題、文書事務等	2	84 (小53、中31)

(5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、特色ある学校づくり、教務課運営の実際、文書事務等	3	25(高校22、特支3)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第1節 社会の変化に対応する教育の推進

##### 第5 教員研修の充実 第6 教員研究等の充実

## 2 平成22年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分）

### (1) 所属種別研修講座数、研修者数

[単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
研修講座数	13	67	76	59	57	281 (延)
研修者数	86	1,854	1,405	1,375	530	5,250

### (2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

研修名	講座名	研修者数										計	
		単 独					合 併						
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支		
基本研修	初任者研修	64	91	143	242	172							712
	教職経験5年研修		50	45	68	18							181
	教職経験10年研修	11											11
	授業力向上研修		716	434	415	131		416	242	222	64		2,640
	小 計	75	857	622	725	321		416	242	222	64		3,544
特別研修	新任研修	新任者						134	86	61	14		343
		免外等			48								
	養成研修	教科		30									395
		領域等						111	88	163	3		
	専門研修			122									122
	派遣研修							9	7	2	1		19
小 計		30	170				254	181	226	18		879	
希望研修	教科研修		7	38	49			7	12	1		114	
	領域等研修			4		10	1	114	97	107	56	389	
	公開研修						10	176	44	34	60	324	
	要請研修	1,435	2,861	1,124	896	461						6,777	
	随時研修	49	56	69	50	9						233	
	小 計	1,484	2,924	1,235	995	480	11	290	148	153	117	7,837	
総 計	1,559	3,811	2,027	1,720	801	11	960	571	601	199	12,260		

## 第6 教員研究等の充実

県立総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

### 1 小・中学校における知識・技能の活用を図ることをねらいとした問題の作成

本県の義務教育の目標は、「基礎・基本の定着を実現していく」ことであり、その実現のためには、知識や技能の習得のみに留まることのない、「活用」という側面を含んだ豊かな学習の展開をする必要がある。

この研究は、指導と評価の一体化という観点から、知識・技能を活用する問題を作成し、学習指導のさらなる改善に役立てようとするものである。

## 2 実践的な指導力向上を図るこれからの教員研修の在り方に関する研究

これからの学校は、児童生徒の知・徳・体にわたるバランスのとれた成長を目指し、より一層高い資質能力を備えた教員が指導に当たり、活気ある教育活動を展開する場となる必要がある。

この研究は、このような学校づくりを進めていくために、昨年度まで行った、「教員研修カリキュラム」や「家庭学習の在り方」などを実証的に示し、教員の資質能力の向上に役立てようとするものである。

## 3 中学校理科年間指導計画「いわてモデルプラン」に基づいた観察・実験教材の指導資料の作成

今回の指導要領の改訂により、中学校理科の学習指導の順序が撤廃となり、それぞれの学校で組み立てることができるようになった。

この研究は、本県に適した学習指導計画の一例を示すことで、各学校の理科の学習指導計画作りを支援し、生徒の「学力向上」に役立てようとするものである。

## 4 中学校技術・家庭科家庭分野における調理・製作実習を支援する教材開発 ー実習時間に必要な知識や技術を確認できる視聴覚教材の作成ー

中学校技術・家庭科家庭分野では、既習事項の習得状況を見取り、実習中につまずいている生徒に、個々の実習上の課題に応じた支援をその場で行うことが求められている。

この研究は、家庭分野における調理・製作実習の時間に必要な知識や技術を確認できる視聴覚教材を開発することによって、学習指導の充実に役立てようとするものである。

## 5 中学校道徳における情報モラル指導に関する研究 ー疑似体験を取り入れた授業展開例の作成をととしてー

インターネット上の「掲示板」への書き込みによる誹謗中傷やいじめといった情報化の影の部分の問題に対応するためには、他者への共感や思いやり、法やきまりのもつ意味などについて生徒が考えを深めることができるように働きかけることが重要になる。

この研究は、道徳の情報モラルの指導において、道徳的価値を育て豊かな人間性を育むための改善方法を明らかにしようとするものである。

## 6 中学校通常の学級及び高等学校における発達障がいのある生徒への適切な指導と必要な支援に関する研究 ー特別支援教育研修資料の作成をととしてー

特別な教育的支援を必要とする生徒に対して、教職員が協力し合い、学校全体で見通しをもって支援していくことが一層求められている。

この研究は、中学校・高等学校において、校内のすべての教職員が特別支援教育の考え方や支援方法等について、共通理解を図って推進していくための研修資料を作成し、指導支援の充実に図ろうとするものである。



## 第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

### 第1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、移行期間における教育課程を適切に実施するとともに、本実施に向けた効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした、柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める状況を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

### 第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能、さらには、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

#### 1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

##### (1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組の推進

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査分析システムの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）

##### (2) 社会の状況や学校の実態を踏まえ、市町村教育委員会や関係機関などと連携した、少人数教育の推進

## 2 学力・授業力向上の取組

### (1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に早急に取り組むため、学校教育室に「学力・授業力向上担当」を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人ひとりが更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

この取組は、平成21年度から23年度までの3年間で集中的に実施している。

### (2) 取組内容

授 業 力 向 上 セ ミ ナ ー
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施</li> <li>⇒モデル授業＋付箋紙ワークショップ＋講義による半日の研修会が基本</li> <li>⇒平成22年度は、数学、英語とも各教育事務所管内中学校2、高等学校1校で実施</li> <li>⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</li> </ul>
個 別 訪 問
<ul style="list-style-type: none"> <li>●【目的】諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援</li> <li>●【訪問対象校】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒フォローアップ対象者の所属する学校（※1）</li> <li>⇒県教委が指定する学校（※2）</li> <li>⇒訪問を希望する学校（※3）</li> </ul> </li> <li>●【訪問内容】 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議</li> <li>⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換</li> <li>⇒上記のほか、各校の実情や要望を考慮し、指導主事による模擬授業や録画した授業ビデオを使用した研修なども実施（※4）</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>※1 前年度初任研、5年研を受講した教員の所属する学校</li> <li>※2 中学校数学は全国学調の「数学の授業の内容がわかる」割合、中学校英語は英語チャレンジテスト（中3）及び県学調（中2）の「英語の学習が好き」の割合に基づいて指定する 高等学校の数学と英語は若手教員を中心に随時指定する</li> <li>※3 個人、学校、地教委として希望することも可能</li> <li>※4 日程調整が必要なため、予め連絡が必要</li> </ul>

(3) 授業力向上セミナー・個別訪問実績

表-1 平成22年度 授業力向上セミナー・個別訪問 実績

	授業力向上セミナー							個別訪問		
	校種	年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)	参加者(人)			年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)
					小中学校	県立学校	合計			
数学	中学校	11	11	12	231	36	267	132	148	170
	高等学校	7	7	7	27	120	147	27	36	41
	小学校									
	特別支援学校									
	計	18	18	19	258	156	414	159	184	211
英語	中学校	11	11	13	264	33	297	70	81	97
	高等学校	6	6	6	51	127	178	40	54	104
	計	17	17	19	315	160	475	110	135	201

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中・高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続のあり方についての研修

## 2 魅力ある学校づくりの推進

各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、学校の活性化と個性化を推進する事業であり、大学講習など進学指導に関する事業を実施した。

### 【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人ひとりの進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

## 3 中学生用公立高等学校案内「岩手の高校」Webページの公開

- ① 設置学科等
- ② 本校のめざす生徒像
- ③ 入学者選抜方法について
- ④ 特色ある教育活動
- ⑤ 学校長から一言

## 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切にする心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

#### 1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、道徳教育推進協議会を開催し、学校・家庭・地域社会の道徳教育への理解の推進を図った。

また、道徳の時間の充実に資するため、岩手県版の小学校用道徳資料集を作成・配付した。

##### (1) 研修事業

- ア 平成22年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（独立行政法人教員研修センター：茨城県つくば市）  
平成22年6月7日～11日（5日間）指導主事、研修指導主事
- イ 平成22年度道徳教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）（盛岡市）  
平成22年8月9日～11日（3日間）研修指導主事、副校長、教諭  
（高等学校、特別支援学校を含む）

##### (2) 研究推進事業

ア 道徳教育実践研究事業（文部科学省委嘱事業）

###### ○ 岩手県道徳教育推進協議会

学校教育関係者、学識経験者、保護者、企業関係者、社会福祉関係者、行政関係者18人で構成し、道徳教育の充実のために協議し、提言をまとめた。

会 場	実施期日	人数
県 庁 舎	平成22年6月7日	18人
県 庁 舎	平成22年12月6日	16人

###### ○ 各指定校における実践研究の推進（文部科学省委嘱事業）

研究指定校（H21・22） 盛岡市立河北小学校、西和賀町立湯田中学校  
奥州市立姉体小学校、奥州市立東水沢中学校

###### イ 児童生徒の心を耕す教育推進事業

中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

##### (3) 道徳副読本作成事業

岩手県出身の先人の生き方を教材とした資料を6編掲載した小学校高学年向けの資料集を作成し、県内の小学校及び教育関係機関に配布した。

## 2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

### (1) 体験活動の状況

豊かな体験活動推進事業を中心とした効果的な体験活動の教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

文部科学省指定（文部科学省委嘱事業）

指 定 領 域	教育事務所	学 校 名
豊かな体験活動推進事業 [平成22年度]	宮 古	田野畑小

### (2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

#### ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えてきた。老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディー体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広まっている。

- ・社会福祉協議会等関係機関との連携による、ボランティア教育の推進
- ・県社会福祉協議会指定により市町村社会福祉協議会で実施する「地域で育む福祉教育推進モデル事業」における、学校と関係諸団体の協働による地域型福祉教育の推進

※ 指定地域4か所（平成20年度～）：北上市、奥州市、大船渡市、宮古市

#### イ 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

### (3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者研修を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・盛岡、県南、宮古教育事務所管内において学校図書館担当者の研修を実施
- ・平成16年3月に策定された、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「いわて子ども読書プラン」に基づく読書活動を推進

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進 第2 生活面における基礎・基本の充実

### 3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育課程説明会を開催するとともに、中央協議会への参加を支援し、幼稚園教育要領の理解を推進した。

また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等新規採用教員研修、教職経験者10年研修、各種協議会の内容を充実させるとともに、「岩手の幼稚園教育」を発刊した。

#### (1) 幼稚園等新規採用教員研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

区分	会場	実施期日	参加人数		
			公立	私立	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成22年6月2日～6月3日	7	13	20
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成22年8月4日～8月6日	7	18	25
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成22年10月19日～10月21日	7	10	17

#### (2) 幼稚園教職経験者10年研修（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

会場	実施期日	参加人数		
		公立	私立	合計
総合教育センター	平成23年1月17日～1月19日	6	5	11

#### (3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会） [単位：人]

会場	実施期日	参加人数				
		国公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成22年8月17日	74	63	22	5	164

### 第2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

#### ○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

#### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適応の問題が大きな教育問題となっている。

平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は130件で前年度から16件減少した。一方、いじめの認知件数は478件であり、前年度に比べ40件増加した。不登校児童生徒の状況については、小学校138人、中学校789人、高等学校475人であり、中学校・高等学校では不登校の比率が減少し、小学校では横ばいの傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成22年度は362人と前年度から24人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人ひとりの児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適応傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適応を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

#### 1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成22年5月10日～5月19日

【会 場】地区別8会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 142人

#### 2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成22年度の表彰は次のとおりであり、計34個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が4、奨励表彰が29、努力表彰が1であり、小学校が4（個人4）、中学校が7（個人5、団体2）、高校が23人（個人14、団体9）である。

#### 平成22年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	区分	所属・表彰受賞者	内容
1	善行 (人命救助)	高等学校 団体	黒沢尻工業高等学校 ボート部	平成22年4月5日、橋から転落し流されている女性を発見し、連携して救助した。北上警察署長及び北上地区消防組合から感謝状を授与された。
2	善行 (奉仕活動)	中学校 団体	陸前高田市立気仙中学校 生徒会 福祉委員会	平成元年から継続して道路の美化活動に努め平成21年度国土交通大臣から感謝状を授与された。
3	奨励 (文化活動)	中学校 個人	盛岡市立厨川中学校 1年 金子 礼乃	第59回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて中央推進委員会委員長賞を受賞した。



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

4	奨励 (文化活動)	中学校 個人	滝沢村立滝沢中学校 3年 下田 有希	第59回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて中央推進委員会委員長賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡第一高等学校 1年 小山田 友希	第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会女子個人戦で優勝した。
6	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	岩手高等学校 3年 中川 慧梧	第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会男子個人戦で優勝した。
7	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	岩手高等学校 囲碁将棋部	第34回全国高等学校総合文化祭将棋部門、第46回全国高等学校将棋選手権大会男子団体戦で準優勝した。
8	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	北上翔南高等学校 鬼剣舞部	第34回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、優秀賞・文化庁長官賞を受賞した。
9	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	岩谷堂高等学校 3年 後藤 清隆	第25回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会男子94kg級において第2位に入賞した。
10	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	釜石高等学校 2年 松村 将壽	平成22年度全国高等学校総合体育大会陸上競技男子三段跳びにおいて第2位に入賞した。
11	奨励 (スポーツ)	高等学校 団体	宮古高等学校 女子ヨット部	平成22年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技、女子FJ級ソロ競技及びビデュエット競技において第2位に入賞した。
12	奨励 (スポーツ)	高等学校 団体	盛岡市高等学校 新体操部	平成22年度全国高等学校総合体育大会男子新体操競技において第2位に入賞した。

#### 平成22年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	区分	所属・表彰受賞者	内容
13	善行 (人命救助)	高等学校 団体	千厩高等学校 1年 千葉 千博 1年 千田 基晋	水路に転落し左足を骨折した男性を発見、消防署へ通報し、署員が駆けつけるまで、声をかけて励ますなど、救助に協力した。千厩警察署長から感謝状を受けた。
14	善行 (人命救助)	高等学校 団体	一関修紅高等学校 3年 阿部 愛美 3年 菊地 晴美	一関市三関地内の河原で川に入ろうとする男性を発見、連携して早期通報を行い、迅速な救助活動及び応急措置を行った。一関警察署長及び一関市消防本部消防長から感謝状を受けた。
15	奨励 (文化活動)	小学校 個人	盛岡市立上田小学校 4年 佐々木 久歌	全日本交通安全協会・毎日新聞社主催「平成23年度使用交通安全年間スローガン」こども部門において、内閣総理大臣賞を受賞した。
16	奨励 (文化活動)	中学校 個人	岩手大学教育学部 附属中学校 2年 三船 恭太郎	読売新聞社主催第60回全国小・中学校作文コンクール中学校の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
17	奨励 (文化活動)	中学校 個人	岩手大学教育学部 附属中学校 3年 鈴木 陽子	全国納税貯蓄組合連合会主催平成22年度中学生の「税についての作文」において、文部科学大臣奨励賞を受賞した。
18	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡第四高等学校 3年 高橋 奈々	第15回全日本高校・大学生書道展漢字部において、書道展大賞を受賞した。
19	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	盛岡市立高等学校 3年 高田 彩	第15回全日本高校・大学生書道展漢字部において、書道展大賞を受賞した。
20	奨励 (文化活動)	高等学校 個人	杜陵高等学校 4年 松田 文音	平成22年度第58回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会において、厚生労働大臣賞を受賞した。
21	奨励 (文化活動)	支援学校 個人	盛岡峰南高等支援学校 3年 中野渡 優	独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構 神奈川県主催第32回全国障害者技能競技大会の木工職種において、金賞及び厚生労働大臣賞を受賞した。
22	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	盛岡第四高等学校 文芸部	第25回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌の部において、最優秀賞、文部科学大臣賞を受賞した。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

##### 第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

23	奨励 (文化活動)	高等学校 団体	盛岡農業高等学校 食品科学科 14代目パン研究班	第61回日本学校農業クラブ全国大会のプロジェクト発表会(区分食料・生産)において、最優秀賞及び農林水産大臣賞を受賞した。
24	奨励 (スポーツ)	小学校 個人	久慈市立久慈小学校 5年 松前 哲	第26回全国小学生陸上競技交流大会男子5年100メートルにおいて、優勝した。
25	奨励 (スポーツ)	小学校 個人	滝沢村立滝沢第二小校 6年 立花 恵梨奈	第26回全国小学生陸上競技交流大会女子走高跳において、優勝した。
26	奨励 (スポーツ)	小学校 個人	奥州市立水沢小学校 6年 大内 豪樹	第26回全国小学生陸上競技交流大会男子走高跳において、第2位に入賞した。
27	奨励 (スポーツ)	中学校 団体	岩手町立川口中学校 女子ホッケー部	第40回全日本中学生ホッケー選手権大会において、準優勝した。
28	奨励 (スポーツ)	高等学校 個人	水沢第一高等学校 3年 佐々木 健介	第65回国民体育大会ボクシング競技少年フライ級において、第2位に入賞した。
29	奨励 (スポーツ)	支援学校 個人	盛岡視覚支援学校 中学部2年 日野沢 瑛	第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子200mにおいて、優勝した。
30	奨励 (スポーツ)	支援学校 個人	花巻清風支援学校 高等部1年 佐藤 稔典	第10回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技男子ディスタンスにおいて、優勝した。
31	奨励 (スポーツ)	支援学校 個人	盛岡聴覚支援学校 高等部2年 佐々木 琢磨	第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子200mにおいて、優勝した。同大会陸上競技男子100mにおいて、第2位に入賞した。
32	奨励 (スポーツ)	支援学校 個人	盛岡聴覚支援学校 高等部3年 小袖 雄基	第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子ジャベリックスローにおいて、優勝した。
33	奨励 (スポーツ)	支援学校 個人	盛岡聴覚支援学校 高等部3年 穂積 憲吾	第10回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子砲丸投げにおいて、優勝した。
34	努力 (文化活動)	支援学校 個人	盛岡視覚支援学校 中学部1年 浦波 夏純	第25回障害者による書道・写真全国コンテスト書道部門において、金賞を受賞し、生徒の模範となり、周囲に感動を与えた。

3 教育相談

平成22年度の相談受理件数は310件、延べ相談件数は1,279件であった。うち、電話相談が955件、面接による相談が324件（来所相談261件、訪問相談63件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で204件と65.8%を占めた。次いで、「家庭教育一般に関すること」が42件（13.5%）となっている。主訴別の相談件数では「集団不適応」が67件と多く、「集団になじめない」「教室に入れない」子どもたちの姿が浮かび上がってくる。

不登校の校種別の相談件数は、中学校が21件（44.7%）で最も多くなっている。さらに学年別に見ると中学校では3年生が最も多く、小学校は5年生の相談が多かった。また、不登校の性別の相談件数は、各校種とも男子、女子ほぼ同数であるが、高校では男子が多い。

平成22年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は71件、メールは18件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では51件（72%）、メール相談では6件（33%）である。

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、（ ）内は%]

内容	校種	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること		0	2	5	5	0	12 (3.9)
性格・行動に関すること		1	47	87	67	2	204(65.8)
性に関すること		0	0	0	0	0	0 (0.0)
進路・適性に関すること		0	2	6	6	5	19 (6.1)
精神衛生に関すること		0	1	2	4	2	9 (2.9)
家庭教育一般に関すること		2	17	11	7	5	42(13.5)
その他		1	4	6	3	10	24 (7.8)
計(割合)		4(1.3)	73(23.5)	117(37.7)	92(29.7)	24(7.8)	310(100.0)

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、（ ）内は%]

主訴	件数(割合)
不登校	47 (15.2)
集団不適応	67 (21.6)
情緒障がい	3 (1.0)
進路相談	19 (6.1)
神経症・同疑い	6 (2.0)
いじめ	18 (5.8)
家庭教育	42 (13.5)
生活指導	33 (10.6)
対人関係	23 (7.4)
交友関係	16 (5.2)
家庭内暴力	0 (0.0)
その他	36 (11.6)
計	310(100.0)

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

性別	男	女	計
校種			
就学前	0	0	0
小学校	3	3	6
中学校	8	13	21
高校	15	5	20
その他	0	0	0
計	26	21	47

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件数
小1	1
小2	1
小3	0
小4	0
小5	3
小6	1
中1	6
中2	3
中3	12
高1	14
高2	4
高3	2
その他	0
計	47

## 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

### 第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

体力・運動能力調査を適切に実施し、各学校の現状と課題を的確に捉えた支援や運動部活動の活性化を図るために、地域スポーツ人材の活用や指導主事の学校訪問指導等に取り組むとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めた。また、家庭や地域との連携により、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化が図られるように努めた。

#### 1 岩手っ子体力アップ運動

##### (1) 健やかな体の育成に関する「まなびフェスト」目標設定校及び実施割合

[単位：校、%]

	対象校数	実施校数	実施割合
小学校	390	388	99.5
中学校	187	165	88.2
合計	577	553	95.8

##### (2) 指導主事兼保健体育主事等の学校訪問指導

実施回数……小学校274回、中学校185回、合計459回

##### (3) 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

###### ア 公立小学校体育実技アシスタント派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年6月～平成23年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……65人

(ウ) 派遣校数……61校

###### イ 中学校・高等学校運動部活動地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年6月～平成23年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……66人

(ウ) 派遣校数……67校

###### ウ 中学校武道・ダンス地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成22年9月～12月（県内全域）

(イ) 登録者数……10人

(ウ) 派遣校数……13校

##### (4) 小学校体育ステップアップ講習会

ア 期 日……平成22年6月～平成23年1月

イ 会 場……雫石町、盛岡市、久慈市、陸前高田市

ウ 参加者……小学校教員71人

## 第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

### 1 学校保健

#### (1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

##### ア 学校保健計画の立案、実施の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立し、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

##### イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

###### (ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

###### (イ) 関係機関団体との連携

- ・岩手県医師会学校医部会
- ・岩手県歯科医師会全学校歯科医会
- ・岩手県薬剤師会全学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

#### (2) 岩手県学校保健功労者表彰

1	森田 友明	学校医	岩手県医師会
2	狩野 裕史	学校歯科医	岩手県歯科医師会
3	坂井 博毅	学校医	岩手町学校保健会
4	足澤 輝夫	学校医	紫波町学校保健会
5	八森 新二	学校医	花巻市学校保健会
6	及川 優	学校医	北上市学校保健会
7	三浦 滋	学校歯科医	奥州市学校保健会
8	飯澤 圭子	学校歯科医	一関市学校保健会
9	吉田 正紀	学校薬剤師	陸前高田市学校保健会
10	遠筈 秀則	学校歯科医	釜石市学校保健会
11	柴野 良博	学校医	岩泉町学校保健会
12	大橋 由香	学校医	久慈市学校保健会
13	東山 敬貴	学校歯科医	一戸町学校保健会
14	藤原 洋子	学校医	岩手県学校保健会高等学校部会
15	小笠原 智恵子	養護教諭	岩手県学校保健会養護教諭部会

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第2 健康教育の充実

### (3) 健康教育指定校の実践 (H21~H22)

花巻市立若葉小学校 (歯・口の健康づくり推進事業 [日本学校歯科医会])

## 2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声かけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成22年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は右表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

【災害発生件数】 [単位：件、%]

区分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所	444	1.19
小学校	3,001	4.18
中学校	3,750	9.88
高等学校	2,556	6.25
高等専門学校	21	2.46
計	9,772	5.18

### (1) 学校安全関係職員研修

[単位：人]

研修の名称	期日	場所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成22年6月16日~18日	茨城県つくば市	4 [小2、高1、指導主事1]
交通安全教育指導者講習会	平成22年9月17日	盛岡市	87 [小1、高80、特4、県外高2]
防犯教室講習会	平成22年7月13日	盛岡市	58 [幼4、小20、中3、高11、特6、他14]
防災教育研修会	平成22年6月28日、7月1日	釜石市、久慈市	56 [小33、中16、高6、特1]

### (2) 学校安全優良校の表彰

一関市立日形小学校  
西和賀町立川尻小学校  
久慈市立大川目小学校  
金ケ崎町立三ヶ尻幼稚園

### (3) 学校災害防止研究協力校 (独立行政法人日本スポーツ振興センター)

矢巾町立矢巾中学校  
岩手県立盛岡南高等学校

## 3 食育・学校給食

小中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制ができたことにより、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」の作成により、計画的な推進が図られた。また、小中学校の管理職、教諭を対象として開催していた食育推進研修会の対象を高等学校にも広げ、食育の推進を図った。

学校給食については、学校給食衛生管理の基準に基づいた衛生管理の徹底を図るとともに、学校給食施設に関してドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び学校給食施設の区分に従い汚染作業区域・非汚染作業区域に区分するよう整備促進に努めた。また、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会、講習会を開催し、食に関する指導の充実、食事内容の充実及び安全、衛生管理の充実に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(1) 学校給食の実施状況（平成22年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	完全給食		その他の方式		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	372 (95.2)	68,781 (96.7)	— (—)	— (—)	11 (2.8)	1,335 (1.9)	8 (2.0)	973 (1.4)	391 (100)	71,089 (100)
中学校	155 (82.4)	27,636 (74.3)	(3)	431 (1.1)	5 (2.7)	812 (2.2)	28 (14.9)	8,319 (22.4)	188 (100)	37,198 (100)
夜間定時制高等学校	3 (100)	134 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	134 (100)
特別支援学校	11 (78.6)	1,046 (84.6)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (21.4)	191 (15.4)	14 (100)	1,237 (100)

注1：小学校及び中学校は市町村立学校、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

注2：その他の方式は、選択制給食（ ）は、ミルク給食の内数

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成22年5月1日現在）[単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	単独調理方式		共同調理方式 (69か所)		その他の調理方式		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	67 (18.0)	20,192 (29.4)	305 (82.0)	48,589 (70.6)	— (—)	— (—)	372 (100)	68,781 (100)
中学校	6 (3.9)	1,192 (4.2)	149 (96.1)	26,444 (94.2)	(3)	431 (1.5)	155 (100)	28,067 (100)

注1：小学校及び中学校は市町村立学校

注2：その他の方式は、選択制給食

(3) 米飯給食の実施状況（平成22年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	自校（共同調理場）炊飯		委託炊飯		自校・委託併用		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	156 (41.9)	26,650 (38.7)	205 (55.1)	38,020 (55.3)	11 (3.0)	4,111 (6.0)	372 (100)	68,781 (100)
中学校	56 (36.1)	9,435 (33.6)	99 (63.9)	18,632 (66.4)	— (—)	— (—)	155 (100)	28,067 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第2 健康教育の充実 第3 指導者の資質・授業力向上

#### (4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成22年5月1日現在） [単位：人]

区 分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県 費)	13	32	1	46
学校栄養職員	(県 費)	20	49	—	69
	(市町村費)	18	8	7	33
(計)		(51)	(89)	(8)	(148)
調理員	(市町村費)	166	248	—	414

注：国立、私立、県立学校を除く本採用職員のみ、調理員は常勤職員のみ

#### (5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成22年5月1日現在） [単位：円、回]

区 分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	255	4,101	177
中学校	288	4,622	178

注：小学校は中学年（3・4年）分

#### (6) 学校給食優良学校等表彰

該当なし

#### (7) 学校給食功労者表彰

一関市大東学校給食センター 主任学校栄養職員 鈴木智恵子

### 第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上を図った。

#### 1 学校体育関係職員の研修

[単位：人]

No.	研修会名 [内容]	期 日	会 場	参加者数
1	小学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、陸上運動、ボール運動、表現運動]	平成22年6月16日～17日	盛岡市	小学校教員 45
2	中・高等学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、ダンス、柔道、剣道、体育理論]	平成22年9月8日～9日	盛岡市	中学校教員 74 高校教員 66
3	地区別小学校体育実技講習会	平成22年6月～8月	各教育事務所管内	小学校教員222
4	運動部活動指導者研修会 [サッカー、バレーボール]	平成22年8月25日～26日	盛岡市	中学校教員 47 高校教員 7



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

##### 第3 指導者の資質・授業力向上

5	子どもの体力向上指導者養成研修 ・小学校 [体づくり運動、陸上運動系、ボール運動、表現運動系] ・中学校・高校 [体づくり運動、ダンス、柔道、剣道、体育理論]	平成22年5月25日～28日	横浜市・川崎市	小学校教員 9 中学校教員 5 高校教員 4 指導主事 2
6	第49回全国学校体育研究大会福岡大会	平成22年11月18日～19日	福岡市	小学校教員 4 中学校教員 2 高校教員 2 指導主事 2
7	国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業研究協議会	平成23年1月25～27日	東京都	小学校教員 26 中学校教員 2 高校教員 1 指導主事 2

## 2 学校保健関係職員の研修

### (1) 県内

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数[内訳]
1	薬物乱用防止教育研修会	平成22年6月9日	盛岡市	46[小12、中22、高10、私立2]
2	学校保健講習会兼エイズ教育指導者講習会	平成22年9月10日	盛岡市	51[小18、中16、高15、特2]
3	養護教諭研修会	平成22年8月9日～11日	盛岡市	39[小20、中15、高4]
4	第46回岩手県学校健康教育研究大会	平成23年1月7日	盛岡市	351

### (2) 県外

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数
1	全国学校保健研究大会	平成22年11月18日～19日	群馬県前橋市	4
2	健康教育指導者養成研修（推進コース）	平成22年11月8日～10日	茨城県つくば市	4[小2、中1、高1]
3	健康教育指導者養成研修（専門コース）	平成22年11月8日～12日	茨城県つくば市	4[小2、中1、高1]

## 3 学校安全関係職員研修

本節第2の2(1)を参照。(p.48)

## 4 食育・学校給食関係職員の研修

[単位：人]

No.	主催	研修会名	期日	会場	参加者数
1	文部科学省	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成22年8月5日 ～8月6日	和歌山県	4
2		全国学校給食研究協議大会	平成22年11月11日 ～11月12日	香川県	4

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

3	独立行政法人教員研修センター・文部科学省[共催]	食育指導者養成研修 (推進コース)	平成22年7月13日 ～7月16日	茨城県	2
4		食育指導者養成研修 (専門コース)	平成22年9月14日 ～9月17日	茨城県	3
5	日本スポーツ振興センター	食の安全に関する調理員講習会	平成22年8月3日 ～8月4日	東京都	1
6		食の安全に関する講習会	平成22年6月22日 ～6月23日	東京都	2
7		食の安全に関する実技講習会	平成22年10月6日 ～10月8日	東京都	1
8	岩手県	衛生管理推進等研修会	平成22年6月4日	盛岡市	85
9		食育推進研究会	平成22年9月6日	盛岡市	67
10		栄養教諭等研修会	平成22年9月14日	盛岡市	19
11	(社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会	平成22年6月18日	盛岡市	126
12		岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成22年12月10日	盛岡市	104
13	岩手県学校給食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成22年7月27日 ～7月28日	盛岡市	延べ48
		学校給食調理員研修会	平成22年8月4日	盛岡市	178
14		学校給食調理コンクール	平成23年1月5日	盛岡市	(8チーム) 24

## 第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

### 第1 「就学指導」から「就学支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」では、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「特別支援教育の在り方に関する特別委員会における論点整理」(H22.12)が公表された。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の機能を向上させるよう以下の取組を行った。

#### 1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわるニーズ調査の実施

就学指導にかかわって各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズを明らかにするため、各市町村を対象としたニーズ調査を実施し、県就学指導委員会における業務改善等に役立てた。あわせて、市町村就学指導委員会が抱える就学指導にかかわる困難なケース等の相談、支援を実施した。

#### 2 県就学指導委員会委員構成の見直し

今後、早期からの就学指導が一層重要になることから、県就学指導委員会の委員に幼稚園、保育所関係委員と市町村教育委員会関係者を加えるなどの委員構成の見直しを実施した。

### 第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育にかかわる研修や相談にかかわる業務を効果的に推進するため、各教育事務所単位に特別支援教育エリアコーディネーター(教諭兼指導主事)を1名配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育室及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一歩調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

#### 2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校のセンター的機能により地域の幼稚園、保育所、小、中学校、高等学校等への相談や研修等への支援が進められた。また、幼稚園、小、中学校特別支援学級等87校を対象に、年数回訪問しての継続型訪問支援を実施した。

#### 3 特別支援教育研修資料の作成

平成21年度に小学校向け研修資料を作成したことを受け、平成22年度においては、中学校及び高等学校向けの特別支援教育研修資料を作成し、県内全中学校、高等学校に配布した。

#### 4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

県単独事業により県立高等学校19校へ特別支援教育支援員24名を配置し、障がい等によって個別の指導及び支援の必要な生徒への支援の充実を図った。

(特別支援教育支援員配置校)

盛岡農業高等学校、平舘高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校、大迫高等学校  
西和賀高等学校、前沢高等学校、岩谷堂高等学校、一関第二高等学校、花泉高等学校  
住田高等学校、釜石商工高等学校、遠野高等学校、遠野緑峰高等学校、宮古北高等学校  
宮古水産高等学校、久慈高等学校長内校、種市高等学校、福岡高等学校及び定時制

### 第3 特別支援教育の理解促進

#### 1 特別支援教育講演会の開催

保護者及び県民を対象に発達障がいへの理解と学校、家庭の連携を深めることを目的とした講演会を開催した。

- ・日時 平成23年2月19日(土) 13:30~15:30
- ・会場 マリオス盛岡地域交流センター
- ・内容 「発達障がいのある子どもたちのより良い成長のためにー学校、家庭の役割と連携ー」  
東京都杉並区立済美教育センター 指導教授 月森 久江

#### 2 特別支援教育理解啓発資料の作成、配布

幼稚園、保育所の保護者を対象に発達障がいの基本的理解や対応及び早期からの相談支援の重要性についてまとめた「一人一人のよりよい成長のためにー支援と理解を必要とする子どもたちー」を作成し、全幼稚園、保育所の保護者に配布した。

#### 3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

特別支援教育ボランティア養成講座を3地区(盛岡市、一関市、宮古市)の特別支援学校で実施した。また、修了者が登録するボランティアバンクについての周知と活用を図り、小中学校及び特別支援学校における活用を図った。

#### 特別支援教育ボランティア養成講座の開催校等

開催校	受講者数
盛岡みたけ支援学校	15名
一関清明支援学校	9名
宮古恵風支援学校	7名

#### 第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

##### 1 公的機関における職場実習の受け入れ

教育委員会（4名）、商工労働観光部（2名）、保健福祉部（2名）、総務部（1名）、環境生活部（1名）との連携した事業により、県庁内で特別支援学校高等部生徒10名の現場実習を受け入れた。各機関において、4日～2週間に渡って実習を実施した。

##### 2 関係機関との連携

労働局、障がい者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を3校で開催するなど、関係機関と連携を図った。

##### 3 啓発リーフレットの作成

特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓のため、企業事業所向けの啓発リーフレットを作成し、学校の進路指導において活用できるようにした。

## 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

### 第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

#### 1 県立高等学校新整備計画

##### (1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画のたまかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・花巻北高校と東和高校を統合して花巻北高校とし（東和高校は平成21年度末まで存続）、
- ・水沢高校と胆沢高校を統合して水沢高校とし（胆沢高校は平成21年度末まで存続）、
- ・高田高校と広田水産高校を統合して高田高校とし、
- ・大船渡農業高校と大船渡工業高校を統合して大船渡東高校とし、
- ・釜石南高校と釜石北高校を統合して釜石高校とするとともに、
- ・遠野高校情報ビジネス校、宮古高校川井校、久慈高校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・久慈高校長内校を昼間部と夜間部の多部制高校とし、
- ・浄法寺高校を福岡高校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高校定時制課程と水沢商業高校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高校奥州校を多部制単位制高校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高校田野畑校を本校に統合した（岩泉高校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

第2章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

(2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数 （学級）			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83
17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総合的な専門高校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]	
総合学科高校	<input type="checkbox"/> 一戸[改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]
普通高校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビジネス[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制（多部制・単位制）	<input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。				
中高一貫教育校 コミュニティ・ スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数（学科改編を含む）の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1学年2学級校の取扱い】

- (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。

(3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校（1学級規模）の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

## 2 第二次県立高等学校整備計画（仮称）

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組みを強固にすることが重要であることから、「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成21年5月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内9ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9月17日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成21年12月24日に、概ね10年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリックコメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成22年3月17日に成案を策定した。

これを指針として、「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成22年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内9ブロックにおいて3回づつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内9ブロックにおいて2回づつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計11回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

## 3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。



平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度の岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜検査は、219人（男子131人、女子88人）が受検し、80人（男子40、女子40人）が入学することとなった。

#### 4 公立高等学校入学選抜について

(1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

##### ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

##### イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

##### ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

##### エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学選抜から撤廃した。

(2) 平成16～18年度入学選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学選抜の方針を決定した。

##### ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学選抜及び推薦入学選抜を行う。

一般入学選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

##### イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成22年6月25日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、「推薦入試の在り方」、「一般入試の在り方」、「その他の入試に係る事項」について、2年間の予定で検討することとした。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

##### 第2 学校施設の耐震化の推進

## 第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成23年4月1日現在)

### 1 県立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小) 中学校	100.0%	(未調査)	73.3%	80.3%	—	+7.0%
高等学校	74.7%	(未調査)	72.9%	77.7%	—	+4.8%
特別支援学校	97.8%	(未調査)	87.9%	91.0%	—	+3.1%
幼稚園	—	—	66.2%	70.9%	—	+4.7%
計 (平均)	78.9%	(未調査)	73.5%	79.9%	—	+6.4%

※1 (小) 中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下、同様)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び、昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下、同様)

3 東日本大震災のためH23.4.1現在の岩手県にかかる調査は未実施。(以下、同様)

4 H23.4.1現在の全国平均は、被災3県(岩手県、宮城県、福島県)以外の平均値。(以下、同様)

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小) 中学校	—	—	67.6%	74.2%	—	+6.6%
高等学校	95.7%	(未調査)	61.5%	57.7%	—	-3.8%
特別支援学校	—	—	92.0%	96.1%	—	+4.1%
幼稚園	—	—	79.1%	79.9%	—	0.8%
計 (平均)	95.7%	(未調査)	69.6%	74.4%	—	+4.8%

### 2 市町村立学校施設の耐震化状況

#### (1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	73.0%	(未調査)	73.3%	80.3%	—	+7.0%
高等学校	27.3%	(未調査)	72.9%	77.7%	—	+4.8%
特別支援学校	—	—	87.9%	91.0%	—	+3.1%
幼稚園	73.3%	(未調査)	66.2%	70.9%	—	+4.7%
計 (平均)	72.8%	(未調査)	73.5%	79.9%	—	+6.4%

#### (2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	H22.4.1 現在	H23.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	80.8%	(未調査)	67.6%	74.2%	—	+6.6%
高等学校	—	(未調査)	61.5%	57.7%	—	-3.8%
特別支援学校	—	—	92.0%	96.1%	—	+4.1%
幼稚園	80.0%	(未調査)	79.1%	79.9%	—	0.8%
計 (平均)	80.7%	(未調査)	69.6%	74.4%	—	+4.8%

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金等の状況

第3 修学資金の支援等

1 特別支援教育就学奨励費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類		給与人員			給与額		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学校給食費		590	262	852	12,605,050	5,571,145	18,176,195
交通費（通学費）		172	28	200	3,844,748	2,408,943	6,253,691
職場実習交通費			5	5		4,360	4,360
交流学习交通費		8	5	13	21,295	3,651	24,946
修学旅行費		98	94	192	962,794	2,614,950	3,577,744
校外活動費	宿泊を伴わないもの	389	106	495	230,828	81,864	312,692
	宿泊を伴うもの	77	59	136	65,828	73,411	139,239
学用品購入費		591	267	858	3,226,047	2,858,515	6,084,562
新入学児童・生徒用学用品費等		68	75	143	676,600	858,750	1,535,350
通学用品購入費		516	188	704	550,992	202,804	753,796
体育実技用具費	柔道		4	4		6,600	6,600
	剣道			0			0
	スキー	33	7	40	314,378	100,775	415,153
	スケート			0			0
拡大教材費				0			0
合計		720	276	996	22,498,560	14,785,768	37,284,328

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	3,164
八幡平市	326
雫石町	150
葛巻町	74
岩手町	155
滝沢村	434
紫波町	203
矢巾町	335
花巻市	1,684
遠野市	171
北上市	1,304
西和賀町	30

市町村名	国庫補助金額
奥州市	771
金ケ崎町	215
一関市	1,654
平泉町	10
藤沢町	132
大船渡市	352
陸前高田市	291
住田町	81
釜石市	317
大槌町	152
宮古市	477
山田町	55

市町村名	国庫補助金額
岩泉町	96
田野畑村	0
久慈市	219
洋野町	201
野田村	28
普代村	56
二戸市	285
軽米町	95
九戸村	41
一戸町	155
合計	13,713

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 就学資金等の状況

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費、通学用品費、 校外活動費（宿泊を伴わないもの）			0			0
校外活動費（宿泊を伴うもの）			0			0
新入学児童・生徒用学用品費等			0			0
修学旅行費	117	134	251	2,374,658	8,794,767	11,169,425
通学費			0			0
体育実技用具費	柔道		0			0
	剣道		0			0
	スキー		0			0
	スケート		0			0
医療費	167	85	252	4,613,309	2,431,289	7,044,598
学校給食費			0			0

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	計
盛岡市	2,160,000	966,000	3,126,000
八幡平市	44,000	20,000	64,000
雫石町	70,000	0	70,000
葛巻町	67,000	14,000	81,000
岩手町	104,000	207,185	311,185
滝沢村	124,000	79,000	203,000
紫波町	76,000	9,000	85,000
矢巾町	65,000	125,000	190,000
花巻市	390,000	99,000	489,000
遠野市	154,000	44,000	198,000
北上市	352,000	144,000	496,000
西和賀町	0	0	0
奥州市	255,000	198,000	453,000
金ヶ崎町	29,000	0	29,000
一関市	261,000	84,000	345,000
平泉町	38,000	0	38,000
藤沢町	32,000	0	32,000
大船渡市	75,000	94,000	169,000
陸前高田市	9,000	0	9,000
住田町	0	32,000	32,000
釜石市	341,000	119,000	460,000
大槌町	247,000	115,000	362,000
宮古市	126,000	118,000	244,000
山田町	246,000	133,000	379,000
岩泉町	80,000	113,000	193,000
田野畑村	0	0	0
久慈市	53,000	110,000	163,000
洋野町	0	1,000	1,000
野田村	0	0	0
普代村	0	0	0
二戸市	101,000	18,915	119,915
軽米町	0	0	0
九戸村	14,000	26,000	40,000
一戸町	0	25,000	25,000
合計	5,513,000	2,894,100	8,407,100

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金等の状況

3 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費(台)	5	4	9	12,090,000	9,860,000	21,950,000
寄宿舎居住費(人)						
高度へき地修学旅行費(人)	10	2	12	92,000	105,000	197,000
遠距離通学費(人)	31		31	781,000		781,000

※スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。( )内が共用している台数・金額(内数)

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：千円]

市町村名	スクールバス購入費	寄宿舎居住費	高度へき地修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市			22			22
八幡平市					76	76
雫石町						
葛巻町				781	385	1,166
岩手町					183	183
滝沢村						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市					41	41
北上市						
西和賀町					197	197
奥州市					27	27
金ケ崎町						
一関市	12,450				30	12,480
平泉町						
藤沢町						
大船渡市						
陸前高田市						
住田町					24	24
釜石市	2,280					2,280
大槌町						
宮古市					94	94
山田町						
岩泉町			175		85	260
田野畑村					182	182
久慈市					296	296
洋野町	2,500				96	2,596
野田村						
普代村						
二戸市						
軽米町	4,720				47	4,767
九戸村						
一戸町						
合計	21,950		197	781	1,763	24,691

4 育英・奨学（財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

イ タイプB（予約採用）

- (ア) 貸与月額（選択制）  
15,000円、20,000円、25,000円、  
30,000円
- (イ) 入学一時金  
公立50,000円、私立100,000円

(2) 奨学生の採用

ア タイプA（平成22年度採用） [単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	236	178	18	23	17
在 学	410	225	12	146	27
緊 急	14	1	2	10	1
合 計	660	404	32	179	45

イ タイプB（平成22年度採用、予約採用のみ） [単位：人]

採用人数	貸与月額				区 分	
	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円	母子・父子家庭	経済困難
36	6	6	5	19	19	17

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA（平成22年度） [単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	1,238	267,194
	自宅外通学	100	27,278
私 立	自宅通学	515	182,850
	自宅外通学	126	52,275
合 計		1,979	529,597

イ タイプB（平成22年度） [単位：人、千円]

区 分	貸与人数	奨学金		
		年 額	入学一時金	計
15,000円	14	2,520	100	2,620
20,000円	16	3,840	100	3,940
25,000円	12	3,600	150	3,750
30,000円	66	23,760	950	24,710
合 計	108	33,720	1,300	35,020

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成22年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況 [単位：m<sup>2</sup>、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助 対象面積		
国庫補助	体育館改築	釜石商工	鉄骨	975	942	138,177	H22
	校舎大規模改造等	盛岡工業	鉄筋	2,955	2,955	99,575	H22
		黒沢尻北	鉄筋	1,840	1,840	80,588	H22
		一関清明	鉄筋	1,886	1,886	405,560	H22
			鉄骨	614	614		
	体育館耐震補強等	西和賀	鉄骨	829	829	14,679	H22
		前沢	鉄骨	614	614	14,638	H22
		宮古工業	鉄骨	937	937	20,434	H22
		軽米	鉄骨	1,142	1,142	9,295	H22
		伊保内	鉄骨	1,192	1,192	7,329	H22
		花巻農業	鉄骨	1,335	1,335	10,133	H22
		盛岡北	鉄骨	1,151	1,151	7,135	H22
		花北青雲	鉄骨	1,185	1,185	5,457	H22
		北上翔南	鉄骨	1,111	1,111	3,242	H22
		黒沢尻工業	鉄骨	1,185	1,185	1,344	H22
		一関工業	鉄骨	909	909	3,035	H22
		久慈	鉄骨	1,059	1,059	8,294	H22
	県単独	体育館改築	岩谷堂	鉄骨	1,263		228,051
宮古			鉄骨	736		127,987	H22
校地整備		大船渡東		14,700		68,314	H21～22
		一戸		4,400		40,668	H21～22
		岩谷堂		21,800		74,340	H22～23

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成22年4月1日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
314,579 m <sup>2</sup>	157,929 m <sup>2</sup>	50.2%

(3) 平成22年度特殊教育設備事業 [単位：千円]

区分	金額
特殊教育設備	291
一般教育設備	7,507
情報処理教育設備	3,553
校舎等増改築設備	1,416
計	12,767



第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況 (平成22年4月1日現在)

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
27,288,842,000 円	5,544,326,290 円	20.3 %

(5) 理科教育等設備

ア 平成22年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
盛岡工業	190	190	水沢	212	213
盛岡商業	262	263	水沢商業	302	303
花巻農業	75	75	岩谷堂	434	442
花北青雲	78	79	一関工業	96	97
黒沢尻北	520	544	宮古水産	59	60
北上翔南	578	603	宮古工業	118	118
計				2,924	2,987

(イ) 中学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
一関一高付属中	288	310

(ウ) 特別支援学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交付額	設置者 負担額
-	-	-

イ 学校種別現有状況 (平成21年度末)

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成22年度補助金 交付校数
				現有金額[B]	現有率[B/A]	
1項第1号に基づく補助 理科教育振興法第9条第 算数数学特別 設備	中学校	1	27,745	607	2.2	1
	高等学校	72	5,880,528	744,457	12.7	12
	特別支援学校	14	921,560	34,190	3.7	0
	計	87	6,829,833	779,254	11.4	13
	中学校	1	4,037	0	0	0
	高等学校	72	983,592	25,235	2.6	0
	特別支援学校	14	100,161	7,312	7.3	0
	計	87	1,087,790	32,547	2.9	0

(注) 1 県立学校分を記載

2 一関一高付属中学校は、平成21年4月開校

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(6) 平成22年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
<b>【高等学校】 21 校</b> 盛岡工業、雫石、紫波総合、花巻北、花巻南、花巻農業、黒沢尻北、北上翔南、黒沢尻工業、水沢商業、金ケ崎、岩谷堂、一関第一、一関工業、大東、遠野、大船渡東、釜石商工、久慈東、福岡、福岡工業	104,958 千円

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積			計 [b]	整備資格面積 (注2) [c]	c/a	危険面積 (注3) [d]	d/b	
		鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	木造						
小学校	校舎	1,245,170	(89.8%) 1,032,212	(3.1%) 35,738	(7.1%) 82,059	1,150,009	171,380	13.8%	25,410	2.2%
	屋体	396,498	(16.4%) 51,185	(80.3%) 251,002	(3.4%) 10,535	312,722	90,414	22.8%	4,499	1.4%
	計	1,641,668	(74.1%) 1,083,397	(19.6%) 286,740	(6.3%) 92,594	1,462,731	261,794	15.9%	29,909	2.0%
中学校	校舎	680,691	(92.8%) 630,454	(3.0%) 19,688	(4.3%) 29,279	679,421	50,929	7.5%	32,776	4.8%
	屋体	230,308	(18.0%) 35,665	(79.8%) 158,484	(2.3%) 4,522	198,671	42,132	18.3%	3,027	1.5%
	計	910,999	(75.9%) 666,119	(20.3%) 178,172	(4.8%) 33,801	878,092	93,061	10.2%	35,803	4.1%
合計	校舎	1,925,861	(90.9%) 1,662,666	(3.0%) 55,426	(6.1%) 111,338	1,829,430	222,309	11.5%	58,186	3.2%
	屋体	626,806	(17.0%) 86,850	(80.1%) 409,486	(2.9%) 15,057	511,393	132,546	21.1%	7,526	1.5%
	計	2,552,667	(74.7%) 1,749,516	(19.9%) 464,912	(5.4%) 126,395	2,340,823	354,855	13.9%	65,712	2.8%

注1：平成22年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあっては4,500点以下、木造にあっては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用校地面積
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,543,281	3,321,056	1,287,014	7,151,351	114,525
中学校	1,663,977	2,763,793	842,313	5,270,083	113,662
計	4,207,258	6,084,849	2,129,327	12,421,434	228,187

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	単年度事業			国債事業			計		
	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額
小学校・校舎	1	270	21,802	5	7,791	190,388	6	8,061	212,190
中学校・校舎	1	738	72,761				1	738	72,761
小学校・屋体				2	520	41,405	2	520	41,405
中学校・屋体				1	191	21,904	1	191	21,904
統合	2	7,146	467,517				2	7,146	467,517
危険建築	19	14,310	1,336,489				19	14,310	1,336,489
不適格(地震)改築	20	9,157	833,557				20	9,157	833,557
大規模改築	10	17,440	221,254				10	17,440	221,254
地震補強	32	51,293	724,571				32	51,293	724,571
その他	62	113,370	1,046,980				62	113,370	1,046,980
合計	147	213,724	4,724,931	8	8,502	253,697	155	222,226	4,978,628

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は学校水泳プール、調理場、グラウンド、太陽光発電等の整備

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

【市町村別の状況（単年度事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額			備考		
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格(地震)改築		合計		大規模改造	地震補強	その他			
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体						
盛岡市	厨川小														80,012		80,012		
	松園小																10,000	10,000	太陽光発電
	都南東小																10,000	10,000	太陽光発電
	繫小								241		2		243				11,172	33,042	調理場
	渋民小																14,078	14,078	グラウンド
	下橋中														68,551		68,551		
	藪川中														5,132		5,132		
	厨川中									1,665			1,665					53,076	
	城東中									581			581					106,900	
	飯岡中																10,000	10,000	太陽光発電
岩手町	沼宮内小															2,380		2,380	
	川口中															23,025		23,025	
	地域スポーツセンター																286,666	286,666	スポーツセンター
葛巻町	葛巻小									807		807						97,036	
八幡平市	柏台小														25,735		25,735		
	安代中														44,243		44,243		
滝沢村	滝沢第二小													6,686			6,686		
	鶴飼小													7,300			7,300		
	姥屋敷小							79				79						4,411	
紫波町	紫波第三中														49,225		49,225		
矢巾町	徳田小														67,071		67,071		
	煙山小														19,316		19,316		
	不動小														58,657		58,657		
	矢巾中							1,096	174	484	14	1,580	188			10,593	129,812		
花巻市	東和小					5,888	1,258						5,888	1,258			47,575	515,092	太陽光発電、グラウンド、プール
	笹間第一小														2,521		2,521		
	八重畑小														2,860		2,860		
	西南中																22,098	22,098	グラウンド、プール
	石鳥谷中																45,996	45,996	グラウンド、プール、屋外照明
北上市	江釣子小														55,101		55,101		
	北上中														32,814		32,814		
	南中		738					2,078		419		3,235					262,817		
西和賀町	川舟小														9,786		9,786		
	沢内中														9,086		9,086		
奥州市	羽田小														933		933		
	田原小							668		11		679					92,897		
	真城小							414		364		778					49,338		
	岩谷堂小							1,454		52	80	1,506	80				66,666		
	胆沢第一小													38,295			38,295		
	水沢中														7,192		7,192		
金ヶ崎町	第一小									1,900		1,900					213,758		
	永岡小									1,900		1,900					155,166		
	金ヶ崎小														1,100		1,100		
	金ヶ崎中														16,621		16,621		

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額				備考	
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格 (地震)改築		合計		大規模 改造	地震 補強	その他			
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体						
一関市	南小															11,817	11,817	太陽光発電	
	涌津小													23,500		11,817	35,317	太陽光発電	
	大原小															14,706	14,706	グラウンド	
	日形小														1,764		1,764		
	千厩小														4,316		4,316		
	山目中																38,453	38,453	武道場
	萩荘中								565		597		1,162					150,540	
平泉町	平泉中							1,997		59		2,056				9,908	192,416	太陽光発電	
住田町	世田米小															12,108	12,108	太陽光発電	
	有住小															12,107	12,107	太陽光発電	
大船渡市	盛小							1,712				1,712					138,329		
遠野市	綾織小							1,571				1,571				9,000	211,290	太陽光発電	
	遠野北小	270										270				4,000	25,802	グラウンド	
山田町	豊間根中															26,804	26,804	武道場	
岩泉町	岩泉小まか															174,101	174,101	太陽光発電	
	小本小 大牛内分校							413				413					45,430		
久慈市	久慈小まか															1,915	1,915	地デジ	
	久慈中														21,722		21,722		
野田村	野田小															20,175	20,175	太陽光発電	
	野田中															21,872	21,872	武道場	
二戸市	仁左平小まか															1,448	1,448	地デジ	
	浄法寺小							1,256	289	219		1,475	289			16,817	269,433	グラウンド	
	中央小														47,559		47,559		
	御返地中														2,702		2,702		
	金田一中														41,908		41,908		
一戸町	奥中山中														67,373		67,373		
洋野町	種市中															20,200	20,200	グラウンド	
	大野第一中													84,991			84,991		
田野畑村	田野畑中															10,468	10,468	グラウンド	
軽米町	軽米小															16,097	16,097	太陽光発電	
	晴山小															37,863	37,863	プール、 グラウンド	
	小軽米小															13,697	13,697	太陽光発電	
	笹渡小															7,653	7,653	太陽光発電	
	軽米中															67,814	67,814	武道場、 太陽光発電	
	晴山中														16,348	7,679	24,027	太陽光発電	
	小軽米中															10,283	10,283	太陽光発電	
計		270	738			5,888	1,258	12,738	1,572	7,654	1,503	27,288	4,333	221,254	724,571	1,046,980	4,724,931		

※ 平成18年度から「安全・安心な学校づくり交付金」が制度化されたことにより、交付単位が事業ごとから設置者ごとになったが、本表は充当状況(予定)報告に基づき作成したもの。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第6節 学校教育を支える教育環境の充実

##### 第4 教育環境整備への支援

#### 【市町村別の状況（国債事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積						負担金交付決定額		備考		
		小校	中校	小屋	中屋	統合		合計				
						校舎	屋体	校舎	屋体			
盛岡市	向中野小	5,296						5,296		416,416	97,511	一部H23に繰越
	繫小			152					152	17,432	17,432	H21分をH22に繰越
	繫中				191				191	21,904	21,904	H21分をH22に繰越
奥州市	田原小	341						341		31,960	19,176	
	真城小	172						172		15,660	2,911	一部H23に繰越
	岩谷堂小	1,027						1,027		93,509	17,084	一部H23に繰越
二戸市	浄法寺小	955		368				955	368	129,465	77,679	
計		7,791		520	191			7,791	711	726,346	253,697	

### (3) 理科教育等設備

#### (ア) 平成22年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	1,879	0	1,879
岩手町	500	0	500
葛巻町	500	0	500
八幡平市	1,116	0	1,116
滝沢村	650	77	727
紫波町	721	0	721
花巻市	704	0	704
遠野市	1,160	30	1,190
北上市	651	14	665
奥州市	1,041	622	1,663
<b>市町村</b>	<b>理科設備</b>	<b>算数・数学設備</b>	<b>計</b>
一関市	1,524	0	1,524
平泉町	653	56	709
藤沢町	400	100	500
陸前高田市	1,131	0	1,131
釜石市	500	133	633
宮古市	685	0	685
山田町	897	0	897
岩泉町	415	85	500
久慈市	1,998	0	1,998
洋野町	491	54	545
軽米町	737	0	737
九戸村	515	0	515
一戸町	547	203	750
計	19,415	1,374	20,789

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境整備への支援

(イ) 学校種別現有状況 (平成21年度末)

[単位：校、千円、%]

区 分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成22年度補助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
理科教育振興法第9条第1項第1号に基づく補助	理科設備	小学校	410	6,475,026	1,407,318	21.7	161
		中学校	191	5,364,337	1,112,481	20.7	76
		高等学校	1	81,674	12,851	15.7	0
		計	602	11,921,037	2,532,650	21.2	237
	算数数学特別設備	小学校	410	894,120	146,456	16.4	36
		中学校	191	788,505	76,187	9.7	8
		高等学校	1	13,661	0	0.0	0
		計	602	1,696,286	222,643	13.1	44

## 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

#### 1 青少年の学習活動の支援

##### (1) 「いわて教育の日」推進事業

###### ア 趣 旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組もあわせて実施状況を取りまとめた。

○いわて教育の日 11月1日                      ○教育週間 11月1日～7日

###### イ 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

「いわて教育の日」記念行事

テーマ 『みんなではぐくむ学びの場いわて』

期 日 平成22年11月1日（月）

会 場 いわて県民情報交流センター7階 アイーナホール

参加者 県内教育関係者及び一般県民約550人

内容

第1部 記念式典

○教育表彰 5団体、22個人（⇒19～20ページ「平成22年度岩手県教育表彰」（1）事績顕著者を参照）

第2部 児童生徒による発表

○雫石町立大村小学校 山祇（やまつみ）神楽保存会

「山祇神楽」 演目「鶏舞」

○岩手県立久慈高等学校マンドリン部

曲目 「Oriental Wind」 「星空のコンチェルト」

第3部 記念講演

演題 「『個』と『ひとり』 —こころを育むとは—

講師 山折 哲雄 氏（宗教学者）

###### ウ 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求



めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：834事業

参加予定者数：延べ357,088人

(2) 地域の教育力向上支援事業

学校教育と社会教育の連携をコーディネートする「地域教育推進員配置事業」の成果を踏まえ、地域連携窓口教員に対する研修の機会の充実を通して地域全体の教育力向上を支援した。

ア 公立小中学校の校内体制としての「地域教育担当（地域連携担当）」係の位置付けを推進し、公立小中学校では全校で位置付けられた（平成22年5月調査）。

イ 小中学校教員に対しては初任者研修及び教職10年研修において、県立学校教員に対しては教職10年研修において研修を実施し、周知・啓発を図った。

(3) 子どもの読書活動の推進

平成21年6月に策定した「いわて子ども読書プラン2009」により、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

ア 読書ボランティアのための研修会

盛岡地区	平成22年9月14日	矢巾町公民館	94人参加
中部地区	各図書館や市町を中心に計12回開催	7月～2月	299人参加
県南地区	平成22年10月2日	一関市川崎公民館	39人参加
	平成22年9月3日	奥州市水沢メイプル	100人参加
		（学校図書館担当者研修会との連携により実施）	
宮古地区	平成22年7月29日		44名参加
県北地区	平成22年8月31日	久慈地区	32人参加
	平成22年8月28日	二戸地区	14人参加
推進センター	平成22年6月22日	生涯学習推進センター	239人参加

イ 学校図書館担当者研修会

盛岡地区	平成22年8月10日	166人参加
県南地区	平成22年9月3日	100人参加
宮古地区	平成22年8月6日	85人参加

ウ 中高生のための読書ボランティア研修会

県南青少年の家	平成22年9月26日	34人参加
県北青少年の家	平成22年6月5日	65人参加
陸中海岸青少年の家	平成22年9月18日	26人参加

エ 読書活動の普及・啓発

(ア) 子育てに活かす読書活動推進フォーラムの開催

平成22年10月24日 アイーナ 400人参加

(イ) 「いわて子ども読書プラン2009」の周知

啓発リーフレットを作成し、配布するとともに、HP、各種研修会等を通じた周知を行った。

(ウ) 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」を作成

県内全ての中高生に等に配付啓発

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

学校や図書館等関係機関共通の指導資料として活用

#### オ 読書活動の推進体制の整備

(ア) 岩手県子どもの読書活動推進委員会

平成22年5月25日 盛岡合同庁舎

平成23年3月11日 盛岡合同庁舎

(イ) 各地区推進体制の整備

2回程度

#### (4) 教育振興運動

平成22年度は、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第2ステージ「実践の3年」の最終年次として、次の事項を重点事項として運動を推進した。

○ 平成17年度に開発し、平成18年度～19年度に実践研究を行った教育振興運動モデルプログラムを全県的に展開し、課題解決のための取組みを推進する。

○ 全県共通課題（「家庭学習の充実」、「読書活動の推進」）を設定し、県内各市町村実践組織においての取組みを支援する。

#### ア 県段階における推進活動

(ア) 幹事会（年2回）

幹事会では、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の推進方策について検討を行った。

また、各教育事務所が開催する推進研修会に出席し、地域の実態把握に努めた。

(イ) 市町村担当者研修会

「みんなで教振！10か年プロジェクト」について共通理解を図るなど、運動推進についての研修を行った。

a 期 日	平成22年5月14日	d 内容	教育振興運動の説明
b 会 場	岩手県立博物館		講話
c 参加者	80人		全県共通課題の事例紹介 等

(ウ) 市町村実践組織関係者研修会

市町村における多くの実践区関係者に対し、教育振興運動の基本理念と今年度の方針・重点の理解を図るとともに、地域課題の掘り起こしと課題解決の方法についての研修を行いリーダー養成を図った。

a 期日、会場……盛岡地区：4月14日八幡平市会場・4月14日滝沢村会場、4月27日岩手町会場  
中部地区：6月10日花巻市会場、9月30日花巻市会場  
県南地区：2月20日平泉町会場、3月5日奥州市会場  
沿岸南部地区：5月27日大槌町会場、6月23日釜石市会場  
宮古地区：11月14日宮古市会場、県北地区：5月10日軽米町会場、1月11日久慈市会場

b 内 容………・教育振興運動の説明  
・ワークショップ

c 参加者………計907人

(エ) 教育振興運動推進研修会

市町村、地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に実施し、運動の進め方について共通理解を図った。

a 期日、会場……盛岡地区：6月1日矢巾町会場  
中部地区：6月8日花巻市会場、6月25日北上市会場  
県南地区：6月15日一関市会場、6月23日奥州市会場  
沿岸南部地区：6月8日住田町会場、6月9日釜石市会場  
宮古地区：6月25日宮古市会場

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

県北地区：5月28日一戸町会場、5月31日九戸村会場、6月2日軽米町会場、  
6月22日二戸市会場、8月5日久慈市会場

- b 内容……………・教育振興運動の説明  
 ・地域連携窓口教員の役割の説明  
 ・教育事務所管内の学習状況、読書状況について  
 ・教育事務所管内各校の共通課題における事例研究
- c 参加者……………計1,239人

#### (エ) チーム教振派遣事業

教育振興運動モデルプログラムを実施する際のアドバイスや運動推進上の課題解決を支援するため、「チーム教振」を派遣した。

- a 派遣先：花巻市、奥州市、釜石市、一関市、田野畑村、大槌町、久慈市  
 b 支援内容：教育振興運動モデルプログラム推進のための支援、教育振興運動推進上の課題解決のための支援  
 c チーム教振メンバー：県社会教育関係OB4人、県社会教育関係者21人

#### イ 市町村段階における推進活動

##### (ア) 推進組織の状況

単独の組織で教育振興運動を推進	31市町村
他の運動体や組織と合わせて推進	8市町村
その他（他団体が運動を推進）	7市町村

※旧市町村単位の組織も1市町村として計上

##### (イ) 実践組織の状況

###### a 実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	239(48.8%)
中学校区	78(16.1%)
公民館区	24(4.9%)
町内会区	84(17.1%)
その他	64(13.1%)
計	489

###### b 実践組織が取り組む主題の数（のべ数）

区分	主題の数
学習活動	816
社会参加	561
自然体験	155
郷土芸能	225
文化芸能	134
生活健康	587
世代間交流	364
勤労体験	200
国際理解	33
スポーツ・レクリエーション	270
その他	33
計	3,378

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

(5) 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

ア 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

(ア) 委員会の開催

(平成22年8月25日、平成23年月16日)

(イ) 合同研修会の開催

(平成22年6月4日 109人)

(ウ) 成果発表会の開催

(平成22年11月25日 225人)

(エ) 実地調査

(金ケ崎町、大船渡市、盛岡市)

イ 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	実行委員会	本部数
盛岡市	盛岡市学校支援地域本部事業実行委員会	5
八幡平市	八幡平市学校支援地域本部事業実行委員会	2
雫石町	—	—
葛巻町	—	—
岩手町	—	—
滝沢村	—	—
紫波町	—	—
矢巾町	矢巾町学校支援地域本部実行委員会	1
花巻市	花巻市実行委員会	1
遠野市	遠野市地域教育協議会連絡会	2
北上市	—	—
西和賀町	—	—
奥州市	奥州市学校支援地域本部事業実行委員会	3
金ケ崎町	金ケ崎町学校支援地域本部実行委員会	2
一関市	一関市学校支援実行委員会	1
平泉町	平泉町学校支援地域本部	1
藤沢町	—	—
大船渡市	大船渡市学校支援地域本部事業実行委員会	1
陸前高田市	—	—
住田町	—	—
釜石市	釜石市学校支援地域本部事業実行委員会	1
大槌町	—	—
宮古市	宮古市学校支援地域本部事業実行委員会	6
山田町	—	—
岩泉町	岩泉町学校支援地域本部事業実行委員会	4
田野畑村	田野畑村実行委員会	2
久慈市	久慈市学校支援地域本部実行委員会	1
洋野町	地域で子どもを育てる会運営協議会	4
野田村	野田小学校区地域教育協議会	1
普代村	普代村学校支援地域本部事業実行委員会	1
二戸市	二戸市教育振興運動推進協議会	2
軽米町	軽米町学校支援実行委員会	1
九戸村	九戸村学校支援地域本部事業実行委員会	1
一戸町	一戸町学校支援地域本部事業実行委員会	3
計	22町村	47本部

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

#### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。  
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

#### 1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

##### (1) 岩手県放課後子どもプラン推進委員会

###### ア 推進委員会の開催

(平成22年5月21日、平成23年2月21日)

###### イ 指導者合同研修会の開催

(平成22年7月3日 212人、9月13日 146人、12月6日 170人)

###### ウ 実地調査

(紫波町、北上市、奥州市、一関市、野田村)

##### (2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	運営委員会	子ども教室数
盛岡市	○	6
八幡平市	—	—
雫石町	—	—
葛巻町	○	4
岩手町	—	—
滝沢村	○	2
紫波町	○	4
矢巾町	○	4
花巻市	○	9
遠野市	○	11
北上市	○	4
西和賀町	—	—
奥州市	○	12
金ケ崎町	○	1
一関市	○	20
平泉町	○	2
大船渡市	—	—

陸前高田市	○	—
住田町	○	2
釜石市	○	4
大槌町	—	—
宮古市	○	9
山田町	○	4
岩泉町	○	—
田野畑村	○	1
川井村	○	5
久慈市	○	8
洋野町	○	6
野田村	—	—
普代村	○	1
二戸市	○	6
軽米町	○	5
九戸村	○	4
一戸町	○	5
計	26市町村	134教室

#### 2 少年団活動の支援

##### (1) 子ども会等少年団体の組織状況（平成22年4月1日現在）

団体名	団体数	会員人数
ボーイスカウト	24	900
ガールスカウト	14	258
地域子ども会	18	31,955

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

#### (2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者育成事業／プログラム事業
ガールスカウト日本連盟岩手県支部	リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング
岩手県子ども会育成連合会	子ども会活動活性化事業／指導者世話人研修会

### 3 青年団体活動の支援

#### (1) 組織状況（平成22年4月1日現在）

団体名	構成団体数	会員人数
岩手県青年団体協議会	14	960

#### (2) 事業内容

##### ア 地域開発実践活動

青年問題研究集会、地域づくり運動事業等

##### イ 第59回岩手県青年大会

###### (ア) 体育部門

期 日……平成22年8月21日～22日、9月5日

場 所……盛岡市、滝沢村、遠野市

種 目……バレーボール、バスケットボール、軟式野球、卓球、剣道、柔道、フットサル

###### (イ) 文化部門

期 日……平成22年9月5日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能

##### ウ 第58回全国青年大会

期 日……平成22年11月12日～15日

場 所……東京体育館、日本青年館他

種 目……陸上競技、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、軟式野球、ソフトボール、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル、演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、美術展、生活文化展、将棋、意見発表、交流プログラム

### 4 青年教室・講座

項 目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	27教室(3市町村)	1,596人	1 人間関係に関すること 2 市民性、社会性に関すること 3 職業、家庭に関すること 4 郷土理解に関すること
上記以外（自立開設）	64教室(14市町村)	1,875人	
合 計	91教室(14市町村)	3,471人	

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

## 5 青少年教育施設の利用状況

### (1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

### (2) 青少年の家の利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	565	30,131	45,432
陸中海岸青少年の家	479	23,593	32,941
県北青少年の家	520	21,888	31,245
計	1,564	75,612	109,618

### (3) 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	243	230	473
小学生・中学生	4,075	3,269	7,344
高校生・大学生	107	174	281
一般	1,490	6,630	8,120
計	5,915	10,303	16,218

### (4) 類型別実利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	4,460	3,401	3,043
	県主催事業	585	597	617
学校利用	大学・短大	362	0	0
	各種学校	497	40	512
	高等学校	1,545	1,324	1,329
	中学校	3,896	1,988	2,456
	小学校	5,614	2,710	5,788
地域団体利用	サークル(勤労青年)	113	0	453
	サークル(一般)	1,270	3,756	908
	子ども会	3,123	1,631	1,178
	スポ少団体	3,734	1,627	2,700
	児童館・公民館	1,455	492	731
	幼稚園・保育園	272	1,452	1,296
企業体		1,787	124	877
その他		1,418	4,481	0
合計		30,131	23,623	21,888

### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

#### 1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

##### (1) 子育て・親育ち講座（県事業）

ア 目的……家庭教育や子育てに関する広域的な現状と課題を踏まえ、家庭教育の充実を図る。

イ 期 日……盛岡教育事務所 雫石中央公民館 平成22年10月18日 131人

中部教育事務所 西和賀町太田老人福祉センター 平成22年11月26日 66人

ウ 内 容……① 子育て支援を促進する学習機会の提供  
② 企業への出前講座的な訪問型の学習機会の提供等

##### (2) 子育て・親育ち講座（国庫補助事業 市町村への補助事業）

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成22年6月～平成23年3月

ウ 内 容……軽米町、陸前高田市、住田町、金ヶ崎町、久慈市の5市町において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

- ① 幼児期講座
- ② 小学校入学時講座（就学時健診等の機会を活用）
- ③ 中学校入学時講座（入学説明会等の機会を活用）
- ④ 父親の家庭教育参加促進事業

エ 受講者数…4,812人

#### 2 子育て支援体制の充実

地域との関わりの中で家庭教育や子育てを行うことが出来る支援体制の整備を図る。

##### (1) 岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

① 国庫委託事業の基本的方針等について 平成22年8月25日

② 国庫委託事業の成果・課題等について 平成23年2月16日

##### (2) 広域家庭教育支援体制整備(各教育事務所ごと)

##### (3) 家庭教育支援基盤形成事業（国庫補助事業 市町村への補助事業）

金ヶ崎町において実施した。

##### (4) 子育てサポーター養成講座

ア 目的……子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域における子育てサークルの育成や子育てネットワークの構築に指導的な立場で携わる子育てサポーターを養成する。



イ 期日及び内容……次の4テーマについて、それぞれ1泊2日の日程で講座を実施した。

[生涯学習推進センター]

① 平成22年6月24日～6月25日、子育て支援の重要性	38人
② 平成22年7月22日～7月23日、子どもの発達とカウンセリング	39人
③ 平成22年8月19日～8月20日、子育て支援の実際	38人
④ 平成22年10月7日～10月8日、これからの子育て支援	38人

[県北教育事務所]

① 平成22年8月19日～8月20日、子育て支援の重要性	20人
② 平成22年7月23日～7月24日、子どもの発達とカウンセリング	21人
③ 平成22年10月19日～10月20日、子育て支援の実際	20人
④ 平成22年11月18日～11月19日、これからの子育て支援	21人

ウ 修了者 センター39人、県北21人

エ 岩手県子育てサポーターの認定

本講座修了者を「岩手県子育てサポーター」として認定、登録した。

岩手県子育てサポーター認定者数：368人、登録者数：238人（平成22年度末現在）

### (5) 子育て支援ネットワークの充実

ア 目的…… 地域における子育て支援に指導的な立場で携わる子育てサポーターや子育て支援団体の資質の向上を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。

イ 期 日……	県南教育事務所	江刺生涯学習センター	平成22年2月26日	127人
	県北教育事務所	久慈地区合同庁舎	平成22年10月7日	16人
	宮古教育事務所	宮古市立図書館	平成22年7月21日	40人
		宮古地区合同庁舎	平成22年9月24日	28人
	生涯学習推進センター		平成22年10月7日	88人

ウ 内 容……講演、ワークショップ、パネルディスカッション及び実践交流等

### 3 学習情報の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を全ての親に提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

#### (1) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実に資する。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

##### 第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

#### 【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年（祝日、年末年始は除く）

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 941件

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	46	4.9%
しつけ全般	70	7.4%
遊び・友だち	96	10.2%
家庭・環境	126	13.4%
知能・ことば	12	1.3%
いじめ・不登校	68	7.2%
虐待・育児不安	32	3.4%
心理・性格	111	11.8%
集団生活・社会性	102	10.8%
学習・進路	49	5.2%
その他	229	24.3%
計	941	100%

#### (2) 子育てメール相談

##### ア 目的

子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、すべての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談、情報提供を行う。

##### イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

ウ 相談件数 591件（トップページカウント数4,647件）

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	114	19.3%
しつけ全般	102	17.3%
遊び・友だち	19	3.2%
家庭・環境	71	12.0%
知能・ことば	11	1.9%
いじめ・不登校	5	0.8%
虐待・育児不安	14	2.4%
心理・性格	129	21.8%
集団生活・社会性	39	6.6%
学習・進路	2	0.3%
その他	85	14.4%
計	591	100%

## 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることができるよう、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境等に取り組んだ。

#### 1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

#### (1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

#### 【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

平成22年7月28日

イ 出席

委員16人中16人出席

ウ 内容

(ア) 平成22年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

c スポーツ健康課

d 県立生涯学習推進センター

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

- e 県立図書館
- f 県立博物館
- g 県立美術館
- h (財)岩手県スポーツ振興事業団
- (イ) 岩手県生涯学習振興計画の進捗状況について
- (ウ) 平成23年度全国生涯学習フォーラムの開催について
- (エ) 平成22年度優良公民館表彰に係る選考について
- (オ) 今後協議を進めるテーマについて

## 2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

### (1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。なお、平成17年2月より、携帯電話によるアクセスも可能となっている。

#### ア【生涯学習情報提供事業】

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
  - a 情報量……………15,084件 [平成21年度15,889件、805件減]
  - b 利用件数……………23,709件 [平成21年度24,202件、311件減]
  - c トップページカウント数…… 30,778件 [平成21年度27,935件、2,843件増]

#### イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

- (ア) 発行部数…………… 400部 [平成21年度500部] ※(県内小中学校へメール配信600件)
- (イ) 年間発行回数…………… 4回 [平成21年度4回]

### (2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、所外学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行うとともに生涯学習推進専門研修講座を行った。

#### ア 生涯学習ボランティア活動推進事業(生涯学習推進センターボランティア登録数)

614人 [平成21年度697人、83人減]

#### イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間……………9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………262件 [平成21年度224件、38件増]

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育を充実するとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

1 成人の学習活動の支援

(1) 一般成人教育

ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	12	196	7,376
成人学級・講座	25	1,111	44,084
その他	18	358	23,304

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

(ア) ボランティア登録者

登録者数……614人（10生涯学習ボランティアセンター）

(イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成23年2月11日 アイーナ 220人参加 講演及び事例発表

ウ 成人団体活動の支援

(ア) P T Aへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(社) 岩手県P T A連合会	家庭教育セミナー	○平成22年9月4日、久慈市、165人 ○平成22年11月13日、一関市、224人 ○基調講演及びパネルディスカッション	150千円
	岩手県P T Aリーダー研修会	○平成22年7月10日 ○盛岡市 ○「講話」及び「説明と意見交流」 ○参加者数473人	
	市町村P T A連合会	○34市町村 ○青少年の健全育成	
	会報発行	○「P T Aいわて」13,000部×3回	
岩手県高等学校P T A連合会	会長研修会	○平成22年10月15日～16日 ○花巻市ホテル千秋閣 ○研究協議・講演 ○参加者数57人	120千円
	事務局長研修会	○平成22年10月29日 ○盛岡市ホテルルイズ ○研究協議・講演 ○参加者数58人	
	母親委員研修会	○平成22年7月21日 ○盛岡市ホテルルイズ ○発表・講演 ○参加者数225人	

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会		120千円
研究大会	○平成22年7月2日 ○奥州市文化会館Zホール ○講演・研究協議 ○参加者数360人	
ブロック研修会	○平成22年6月～11月 ○5ブロック ○講演、実践交流会 ○参加者数442人	
会報発行	○200部×1回	

(イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

事業名	実施期日	実施場所	対象及び人数		事業内容
			対象	人数	
第15回ユネスコ運動岩手県大会(遠野大会)	7月24日～25日	遠野市 あえりあ遠野	県ユネスコ協会会員、単位ユネスコ協会会員、その他関係者	210人	・ 講演「世界から見た遠野物語」 講師 ロナルド・A・モース 氏 ・ フォーラム 「地域文化の創造・発展とユネスコの役割」 ・ エクスカーション(遠野市立博物館、とおの昔話村カッパ淵、伝承園等見学)
ユネスコ活動顕彰事業(第14回いわてユネスコ賞)	9月14日(選考)	サンセール盛岡	ユネスコ賞選定委員会	8件	・ 科学賞：県立盛岡第一高等学校 二戸市立金田一中学校 ・ 文化賞：遠野市立遠野小学校 ・ 活動奨励賞：陸前高田市立高田小学校 奥州市立常盤小学校 山田町立山田中学校 盛岡市立巻堀中学校 ・ 教育賞：黄川田孝雄 氏
	10月18日 11月4日(表彰)	県内各所	表彰伝達		
国際交流活動研修会兼第7回岩手県ユネスコ研究大会	1月21日～22日	国立岩手山青少年交流の家	ユネスコ関係者、高校教員、行政担当者、高校生等	129人	・ 講演「君の可能性-やってみなければわからないことがある-」 講師 吉成信夫 氏 ・ 分科会「地球環境」「世界遺産」「世界福祉」「平和」 ・ 交流学習「楽しく、さらに仲よく」 ・ 全体会
高校ユネスコ活動充実事業	通年	盛岡市他	県高等学校ユネスコ委員会及び教員	—	県高等学校文化連盟国際理解専門部ユネスコ委員会と連携し、活動の促進を図り、助成
ユネスコ国際理解推進講師事業(地区講演会支援)	5月15日	二戸市浄法寺町	ユネスコ関係者	25人	「寺子屋教室と生徒たち」 千代川晶則 氏
	5月15日	奥州市前沢区	ユネスコ関係者	24人	「心のふれあい」 石川 岩夫 氏
	7月24日	遠野市	ユネスコ関係者	210人	「世界から見た遠野物語」 ロナルド・A・モース 氏
	8月1日	二戸市	ユネスコ関係者	60人	「平和の鐘を鳴らそう！」 東山 道晴 氏
	8月21日	北上市	ユネスコ関係者	43人	「北上から世界へ発信」 薄衣 景子 氏
	12月7日	花巻市	ユネスコ関係者等	494人	「石鳥谷から世界へはばたく」 加藤哲郎 氏

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

	1月29日	一関市	ユネスコ関係者、市民	100人	「世界遺産：その意義と地元の役割」 近藤 誠一 氏
ユネスコ運動普及及広報活動（会報の発行及び普及講演会の実施）	5月20日	県内及び講演会等にて配布	ユネスコ協会、教員、県民	200部	23号
	7月22日			500部	24号
	2月15日			200部	25号
	11月28日	盛岡市アイーナ	ユネスコ関係者、県民	多数	「2010ワンワールドフェスタinいわて」 ユネスコ活動紹介展示
市町村ユネスコ活動懇談会	5月15日	二戸市浄法寺町	ユネスコ協会員、市民	26人	総会に出席
	10月9日	盛岡市		28人	県内ユネスコ協会情報交換交流会
	12月6日	遠野市		210人	遠野ユネスコ協会創立40周年記念式典に出席
	1月29日	一関市		100人	一関ユネスコ協会長杯スピーチコンテストに出席

#### (2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

#### ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が一定期間にわたり、継続して行われた。

##### 【学級・講座開設状況】

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	22	474	21,102
その他	13	50	1,946

#### イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を図った。

##### 【組織状況（平成22年4月1日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
岩手県地域婦人団体協議会	43	10,393

##### (ア) 【リーダー研修会（平成22年7月20日～21日 青少年会館 111人）】

- a 講演「記者の目から見た婦人会」  
講師 工藤 哲 氏（岩手日報社 読者・メディアセンター次長）
- b 講演「婦人会の原点に返って」  
講師 久慈 孝 氏（岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課社会教育主事）
- c リラックスタイム

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

フラダンス、簡単な手芸、七宝焼き

e 県立美術館見学・学芸員講話

岩手県立美術館学芸普及課専門学芸員 盛本 直美 氏

(イ) 【岩手県婦人大会第55回盛岡大会（平成22年9月28日 八幡平市安比高原 安比プラザ 約911人）】

a 講演「地域づくりと女性会の役割―男女共同参画時代をつくる―」

講師 神田 道子 氏（独立行政法人国立女性教育会館理事長）

b 実践発表

「私たちの婦人会活動」

発表 北上市地域婦人団体協議会 副会長 佐藤ケイ子

陸前高田市地域女性団体協議会 会長 村上 末子

八幡平市婦人会連絡協議会 田山婦人会会長 米川 紀子

助言・まとめ 神田 道子 氏（独立行政法人国立女性教育会館理事長）

c アルパ演奏・講話

アルパ奏者 ひらやま よりこ 氏

## 2 高齢者の学習活動の支援

### ○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが、一定期間にわたり、継続して行われた。

区分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	27	628	39,888
その他	10	82	3,768

## 3 視聴覚教育

### ○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが要請されている。

指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

#### ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（東京都渋谷区） 平成22年8月9日～10日 2人参加

#### イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

第52回放送教育研究会東北大会岩手大会（ホテルルイズ）平成22年10月15日 8人参加



ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	61
中部	1	11
県南	2	33
沿岸南部	1	6
宮古	1	11
県北	0	0
計	8	122

エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用状況	観覧者数
中央	1,577	26,136
花巻図書館	200	3,283
北上市	140	3,332
西和賀町	3	30
県南第一	1,330	38,258
沿岸第一	812	10,378
釜石市	67	1,642
遠野市	70	1,247
大槌町	0	0
久慈市	67	1,298
県北第二	165	4,568
二戸	370	4,823
計	4,783	94,475

4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が37人、社会教育指導員が63人配置されている。

県民の学習要求が高度化・多様化する中、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、現職教育は重要な領域となっている。

平成22年度は、以下の研修等を行った。

(1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年5月6日～7日 | 生涯学習推進センター | 146人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項及び職務に関する研修

(2) 生涯学習情報提供システム担当者研修会

【期日】平成22年5月11日、12日、13日、20日、21日（日程・内容等は同じ）

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計42人

【内容】生涯学習情報提供システムの運用及び情報の更新、入力等に関する研修

(3) 社会教育指導員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年5月18日～19日 | 生涯学習推進センター | 83人

【内容】社会教育指導員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### (4) 親・地域との関係づくりセミナー

【期日】平成22年8月2日

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計15人

【内容】教職員を対象に、保護者や地域との結びつきを深める具体的方策等を学ぶ研修

#### (5) 放課後子どもプラン指導者合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】(第1回)平成22年7月2日 | 生涯学習推進センター | 201人

(第2回)平成22年9月12日 | 生涯学習推進センター | 125人

(第3回)平成21年11月15日 | いわて子どもの森 | 84人

【内容】「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報交換・情報共有・連携の促進、資質の向上を図る研修

#### (6) 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年9月1日 | 生涯学習推進センター | 50人

【内容】社会教育職員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

#### (7) 岩手県社会教育委員・公民館運営審議会委員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年11月12日 | 生涯学習推進センター | 150人

【内容】社会教育・生涯学習推進の基本的事項に関する研修

#### (8) 教育メディア専門研修講座

期 日	会 場	参加者数	内 容
平成22年10月6日	生涯学習推進センター	38人	パワーポイント基礎
平成22年11月9日	生涯学習推進センター	14人	パワーポイント応用

#### (9) 社会教育計画専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年6月10日 | 生涯学習推進センター | 11人

【内容】計画策定のための諸条件の分析や施策の体系化・構造化等に関する研修

#### (11) 事業プログラム作成専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年8月25日 | 生涯学習推進センター | 14人

【内容】社会教育における事業プログラム作成に関する専門的研修

#### (12) 移動研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】

期 日	会 場	参加者数
平成22年5月28日	二戸市	26人
平成22年7月21日	宮古市	37人
平成22年8月12日	釜石市	14人
平成22年9月5日	陸前高田市	118人
平成22年9月9日	岩手町	15人
平成22年9月16日	久慈市	24人

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

平成22年9月28日	宮古市	7人
平成22年10月26日	北上市	29人
平成22年12月3日	盛岡市	11人
平成22年12月9日	一関市	11人
平成22年12月10日	奥州市	17人
平成23年12月19日	大船渡	32人

【内容】市町村の社会教育・生涯学習事業の充実を図るための専門的研修

(13) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年4月16日 | 県立図書館 | 17人

【内容】(ア) 新任の図書館長及び公民館図書室等の長を対象にした基礎的研修

(イ) 講話 (市町村図書館等の運営)

(ウ) 講義 県立図書館等概況説明

(エ) 情報・意見交換

イ 初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年7月15日～16日 | 県立図書館 | 27人

【内容】

(ア) 図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関する研修

(イ) 講話 (図書館の現状について)

(ウ) 講義 (図書館の連携、資料の受入～配架、著作権、レファレンスサービス、県立図書館ホームページの利用)

(エ) 情報・意見交換

(オ) 館内見学

ウ 北日本図書館大会〔中堅職員研修会、図書館職員・図書館協議会委員合同研修会合同開催〕

【期日 | 会場 | 参加者数】平成22年6月24日～25日

| いわて県民情報交流センター (アイーナ) | 155人

【内容】

(ア) 基調講演 (地域を支える図書館－図書館が地域を元気にする方法－)

(イ) 分科会 (第1分科会：地域課題解決と図書館サービス)

(第2分科会：子どもと本を結ぶ－図書館と学校・家庭・地域の連携－)

(ウ) 全体会

エ 市町村職員専門研修	期 日	会 場	参加者数	内 容	
児童サービス研修	第1回	平成23年2月15日	奥州市立江刺図書館	9人	講話、発表、意見交換
	第2回	平成23年2月24日	県立図書館	9人	
	第3回	平成23年2月25日	宮古市立図書館	5人	
図書館本の取扱いと治し方	平成23年2月18日	県立図書館	53人	本の修復	

(14) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

ア 公民館職員専門講座

公民館職員に求められる専門的・実践的な知識技術についての研修

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【期日 | 会場】平成22年6月28日～7月2日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、研究協議、事例研究等

【参加者数】1人（盛岡市上田公民館）

#### イ 全国生涯学習センター等研究交流会

生涯学習センター等の相互の連携協力を推進するため、当面する諸課題について研究協議する。

【期日 | 会場】平成22年6月3日～4日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、事例研究、総括討議等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### ウ 社会教育計画の立案と評価に関する研究セミナー

社会教育行政における計画、事業、施設経営等の評価を促進するため、計画の立案と評価の在り方について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年10月13日～15日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、講義、演習等

【参加者数】2人（生涯学習文化課、矢巾町教育委員会）

#### エ ボランティア活動推進研究セミナー・学校支援ボランティア推進フォーラム

学校支援ボランティアの在り方に視点をあて、地域住民が様々な観点から子どもの教育活動を支援していくためのボランティア活動の推進方策等について研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年11月10日～12日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、ケーススタディ、シンポジウム等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

#### オ 全国社会教育主事研究協議会

都道府県・政令市の社会教育主事が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年7月15日～16日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講演、事例発表、分科会、全体会等

【参加者数】2人（生涯学習文化課）

#### カ 新任図書館長研修

公共図書館の管理運営の向上及び情報提供サービスの高度化を図る

【期日 | 会場】

平成22年8月31日～9月3日 | (主)国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、(副)奥州市江刺図書館

【内容】講義、実践報告等

【参加者数】3人（県立図書館、盛岡市立図書館、奥州市江刺図書館）

#### キ 美術館を活用した鑑賞教育充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小中学校の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成22年7月26日～28日 | 東京国立近代美術館等

【内容】講義、研究討議、グループワーク等

【参加者数】1人（藤沢町教育委員会）

ク 地域教育力の向上に関する研究セミナー

地域教育力の活用を促す「コーディネーター」の役割等に視点をあて、地域教育力の向上に資する社会教育活動の推進方策及び事業の企画立案の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年9月29日～10月1日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】研究協議、講義、事例研究、実践研修等

【参加者数】1人（生涯学習推進センター）

ケ 社会教育主事専門講座

国の生涯学習施策についての理解をもとに研究協議を行い、都道府県・指定都市における生涯学習社会教育の充実・発展を図る立場としての力量を高める。

【期日 | 会場】平成22年9月15日～17日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、講義、事例発表等

【参加者数】2人（生涯学習推進センター、沿岸南部教育事務所）

コ 生涯学習機関等の連携に関する実践研究交流会

生涯学習関係機関・団体の関係者がそれぞれの実践と研究成果をもとに交流し、連携・協力の推進方策等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成22年12月16日～17日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、実践研究発表、パネルディスカッション等

【受講者数】1人（生涯学習推進センター）

サ 社会教育主事講習への派遣

秋田大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】平成22年7月13日～8月6日 | 秋田大学、秋田県立岩城少年自然の家

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】6人：市町村職員4人、中学校教員1人、NPO法人職員1人

5 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報の提供

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 習推進研究発表会の開催

#### ウ 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 生涯学習推進上の課題を踏まえた基本研修、領域別研修、専門研修及び課題別研修の充実
- (イ) 有志指導者の養成研修の充実
- (ウ) 各機関・団体の学習課題に対応した希望研修の充実

### (3) 事業等の実施状況

#### ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用  
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

#### 【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	<参考>情報数(前年比)
講座・イベント	12,762 (+1,099)	4,262 (△914)
施設	1,645 (△421)	1,519 (△3)
団体・グループ	2,130(△1,594)	2,113 (△7)
指導者	5,872 (+876)	614 (+33)
教材	1,300 (△453)	6,576 (+72)
計	23,709 (△493)	15,889(△1,161)

- (イ) 生涯学習情報紙の発行
  - 【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報
  - 【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等
  - 【発行部数・回数】50部・年4回
  - 【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等
- (ウ) 学習相談事業「マナビイコール」
  - 【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談  
電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）
  - 【相談件数】平成22年度262件
- (エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」
  - 【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談  
電話番号：0198-27-2134  
（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）
  - 【相談件数】平成22年度941件
- (オ) 子育て相談「子育ていわてケータイサイト」
  - 【内容】子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

【相談件数】平成22年度591件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

#### イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「いわての生涯学習」の発行

【名称】研究報告14 【内容】社会教育と学校教育の連携・協力に関する研究

【発行部数】1,500部 【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

(イ) 岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】平成23年2月9日～10日 【会場】生涯学習推進センター

【参加者数】143人（延べ205人）

- 【内容】
- a 説明「全国生涯学習ネットワークフォーラム岩手大会に向けた取組」
  - b 講演「これからの社会教育行政と生涯学習社会のあり方」
  - c 研究発表・協議「社会教育関係職員の養成・研修の充実方策に関する調査研究」  
「『社会教育による地域の教育力強化プロジェクト』における実証的共同研究」
  - d 事例発表・協議「すこやかみなみネット事業について」「遠野『語り部』1000人プロジェクト～語りでにぎわう、まちづくり～」 「古城方式によるまちづくり」

#### ウ 指導者の養成・研修

##### 【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	41 (△2)	1,974 (+155)
随時研修	0 (△3)	0 (△79)
施設利用	37 (+6)	3,867(+1,861)
その他	0 (0)	0 (0)
計	77(△15)	5,841(+1,937)

##### 【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数	
基本研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成22年5月6日～7日	77	
領域別研修	社会教育指導員研修講座	平成22年5月18日～19日	83	
	生涯学習情報提供システム担当者研修会	盛岡管内	平成22年5月11日	14
		宮古・一関管内	平成22年5月12日	10
		釜石・久慈管内	平成22年5月13日	6
		花巻・北上・奥州管内	平成22年5月20日	4
		大船渡・二戸管内	平成22年5月21日	8
	学校支援地域本部事業合同研修会	平成22年6月4日	109	
	放課後子どもプラン指導者合同研修会	第1回	平成22年7月2日	201
		第2回	平成22年9月12日	125
家庭教育子育て電話相談員研修会	平成22年10月7日	7		
子育て支援ネットワーク研修会	平成22年10月7日	88		

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

	岩手県社会教育主事・公民館職員研修会 [共催]	平成22年9月1日	50	
	岩手県社会教育委員、公民館運営審議会委員研修会 [共催]	平成22年11月12日	150	
専門研修	社会教育指導員等研修講座	平成22年5月18日～19日	83	
	事業展開におけるリスク対処専門研修講座	平成22年5月25日	31	
	事業周知・広報スキルアップ専門研修講座	平成22年6月16日	29	
	事業プログラム作成専門研修講座	平成22年8月25日	14	
	教育メディア専門研修講座	パワーポイント基礎編	平成22年10月6日	38
		パワーポイント応用編	平成22年11月9日	14
	対人関係スキルアップ研修講座	平成22年11月18日	15	
	移動研修講座 (12回、12日)	平成22年5月28日～平成23年2月26日	341	
養成研修	家庭教育子育てサポーター養成講座 (生涯学習推進センター会場)	第1回	平成22年6月24日～25日	38
		第2回	平成22年7月22日～23日	39
		第3回	平成22年8月19日～20日	38
		第4回	平成22年10月7日～8日	38
	家庭教育子育てサポーター養成講座 (県北教育事務所会場)	第1回	平成22年8月19日～20日	20
		第2回	平成22年9月21日～22日	21
		第3回	平成22年10月19日～20日	20
		第4回	平成22年11月18日～19日	21
	親・地域との関係づくりセミナー	平成22年8月2日	15	
岩手県生涯学習推進研究発表会	平成22年2月9日～10日	162		
計			1,909	

## 5 社会教育施設の整備充実 (2 県立図書館)

### (1) 運営の方針

#### ア 運営体制の充実と広報活動の推進

- (ア) 図書館の運営に関し協議等を行うため、図書館法第14条に基づく「岩手県立図書館協議会」を置く。
- (イ) 的確な図書館運営に対応するため、派遣研修等により職員の資質の向上に努める。
- (ウ) 県立図書館及び市町村立図書館等の活動に関する情報を広く県民に提供するため、各種印刷物やホームページ等を活用し、広報の充実を図る。

#### イ 図書館資料の収集、整理、保存と活用の推進

- (ア) 「岩手県立図書館資料収集方針」に基づき、図書館資料を収集し、各種図書目録の整備を行い、県民及び市町村立図書館等の利用に供する。
- (イ) 郷土関係資料の保存機関として、網羅的な収集、整理、保存に努めるとともに、郷土資料講座等を通じて広く県民に紹介するなど、その普及・奨励を図る。
- (ウ) 県内の市町村立図書館等とのネットワークを構築し、県内総合目録の整備など、多くの県民が図書館資料を利用できる環境の整備を行う。

#### ウ 相談機能の強化

- (ア) レファレンス・サービスなどの情報提供や読書案内等を通じ、県民の学習活動の支援



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

を行う。また、市町村立図書館等を支援する協力レファレンスや各種の情報提供を行う。  
(イ) 郷土資料に関する各種データベースを構築し、ホームページ等を通じて県民及び市町村立図書館等に提供する。

##### エ 市町村立図書館等の支援強化

- (ア) 多くの県民が図書館サービスを楽しむよう、「未来を拓く いわたの図書館 ― 岩手県公立図書館等振興指針―」に基づき、図書館運営等に関する助言・支援を行うとともに、協力貸出等の各種支援を実施する。
- (イ) 市町村立図書館におけるレファレンス・サービスや児童サービスの充実、郷土に関する書誌情報の発掘・情報提供、学校図書館との連携など、図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同した調査・研究などの取組みを行う。
- (ウ) 市町村立図書館等における広域サービス体制や、専門研修など市町村立図書館職員を対象とした研修の充実を図るとともに、図書館間の情報の共有化を図るためのネットワークを構築する。

##### オ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 他の社会教育施設や複合施設内の各施設、大学等との連携により、展示会、講演会及び映画会等の学習機会の提供を行うとともに、読書普及活動などに関する県民の活動成果を発表する場を提供する。
- (イ) 「岩手の読書週間」をはじめとする各種週間に合わせ、「岩手県読書をすすめるつどい」などの事業を実施するとともに、県内の読書サークルや各種団体、企業、学校、市町村等に対し、読書普及用の図書の貸出（団体貸出）を行い、県内の読書活動の促進を図る。

##### カ 関係機関・団体との連携強化

- (ア) 複合施設内の各施設との連携を図り、来館者の多様な学習ニーズに対応する。
- (イ) 県内外の公立図書館、岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会、各種ボランティアグループ及び読書グループ等との連携を密にし、図書館サービスの向上や読書の普及・奨励を図る。
- (ウ) 他の社会教育施設、大学や専門機関等との連携を強化し、情報提供等サービスの拡充を図る。

#### (2) 実施状況

##### ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成23年3月2日

【協議事項】・平成22年度事業実施状況について ・平成23年度事業計画について

##### イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

##### ウ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。資料収集等の実績は次のとおり。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### (ア) 図書資料

[単位：冊]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	7,401	5,366	168	559,621
団体用	1,799	10	6,421	122,325
計	9,200	5,376	6,589	681,946

###### (イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,529
ビデオテープ	0	0	363	3,585
DVD	141	65	12	1,772
CD	26	57	7	3,792
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	102
計	167	122	382	13,720

###### (ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル数]

区分	年度末総タイトル数
新聞	291
雑誌	4,402
計	4,693

###### (エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
マイクロフィルム	36	0	0	10,520

###### (オ) 電子資料 [単位：点]

区分	年度末総点数
CD-ROM等	493
オンラインデータベース	17
計	510

## エ 利用者サービス

### (ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数………500,086人[前年比9,415人減]

新規貸出登録者数…7,245人[前年比626人減]

### (イ) 個人への館外貸出数

区分	冊数又は点数
図書資料	279,564
視聴覚資料	22,121
うちビデオテープ	2,748
DVD	7,147
CD	12,226

### (ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け41回、児童向け21回、計62回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を50回開催した。

### (エ) 参考調査 (レファレンス・サービス)

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

調べものや読書相談に延べ9,484件対応した。

(オ) ビジネス支援サービス (平成22年11月～)

利用者数	4,280
相談件数	232
レファレンス件数	348
貸出冊数	4,453

ビジネス支援コーナー設置記念講演会を平成23年1月29日に実施 (参加者42名) した。

(カ) 二次資料の作成

参考調査業務の能率化を図るため、二次資料4点を作成した。

- ・レファレンス事例データベース
- ・郷土関係雑誌目次集
- ・岩手日報郷土関係記事索引
- ・県内新聞雑誌所蔵目録

オ 市町村への支援協力

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

児童サービス研修3回 図書館本の取扱いと治し方1回

(イ) 市町村立図書館等への訪問・助言 11回

(ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人 2回

(エ) 協力貸出

図書資料：1,597件、3,500冊  
視聴覚資料：33件、59点

(オ) 団体貸出

図書資料：32団体、41,464冊  
視聴覚資料：25団体、39点

(カ) 展示資料の貸出

県立図書館で展示した図書資料を、希望する市町村立図書館延べ64館に一定期間貸し出した。

【貸出展示資料】

延べ342点：「文学賞受賞図書展」「読みたくなる遠野物語－刊行100周年－」  
「歴史探訪 (弐)－九戸の乱を中心に」「啄木資料展」「手づくり絵本展」他

(キ) 図書館等実態調査

県内の図書館等の図書施設の実態を把握するため、平成22年4月1日現在で調査を実施した。

カ 展示事業

(ア) 4階展示コーナー企画展示

実施内容	展示点数	開催期間
岩手県立図書館のあゆみ	137	平成22年4月9日～5月24日
読みたくなる遠野物語－刊行100周年－	178	平成22年6月4日～7月25日
歴史探訪 (弐)－九戸の乱を中心に－	87	平成22年8月6日～9月26日
第29回啄木資料展	178	平成22年10月8日～11月29日
地球環境を考えよう～今からはじめるエコライフ～	200	平成22年12月10日～平成23年1月30日
第31回手づくり絵本・紙芝居展	116	平成23年2月7日～2月14日
原敬～立志の時代とゆかりの人々～	89	平成23年2月18日～4月17日

(イ) 各カウンターミニ展示

場 所	実施内容	開催回数
総合カウンター	「コミュニケーションを考える」など	87
児童コーナー	「みんな、はばたけ」など	
新聞・雑誌コーナー	「旅に、出る。」など	
音と映像コーナー	「めざせ！図書館の達人」など	

## 5 社会教育施設の整備充実（3 県立青少年の家）

### (1) 県南青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (4) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (7) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (4) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (7) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (4) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (7) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (4) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
- (7) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

### (2) 陸中海岸青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 活動内容の充実と参加者層の拡大に努めた。
- (4) 近隣市町村を中心に関係機関との連携を強化し、事業をより充実させることができた。
- (7) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- ④ 家族参加型事業の充実を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 利用団体との事前打ち合わせを充実させ、利用者の目的が達成するよう支援できた。
- (4) 利用者のニーズを把握し、より良い活動内容の提供に努めた。
- (7) 施設・整備の効果的な活用と柔軟な運営を図った。諸活動の前には下見に行く等、極力、安全面に配慮した。

#### ウ 利用の促進

- (7) 関係機関・団体との連携強化を図った。
- (4) 未利用団体に対して利用促進に努めた。
- (7) 利用者が満足できる接遇に努めた。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の計画的な整備・充実を図った。
- (4) 活動環境の保全と美化の促進に努めた。
- (7) 情報、資料の収集整備と提供に努めた。
- (7) 活動エリアの施設等点検と安全確保に努めた。

### (3) 県北青少年の家

#### ア 主催事業

- (7) 各季節の星座を紹介するため、プラネ鑑賞デーの秋の星座鑑賞を新規に実施した。
- (4) 宿泊体験事業の拡大・充実に努めた。
- (7) 関係機関・NPO団体等との連携強化を図った。

#### イ 研修活動

- (7) 団体の研修目的が達成されるよう積極的な支援に努めた。
- (4) 団体の活動計画に対応した柔軟な運営に努めた。
- (7) 計画的なスキルアップ研修や研究を行い、研修プログラムの充実を図った。

#### ウ 利用の促進

- (7) 訪問活動による利用団体の開拓を行った。
- (4) 施設開放事業を行い県民に親しまれるよう努めた。
- (7) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。

#### エ 環境の整備

- (7) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行った。
- (4) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (7) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県南青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

- (1) 「**かるがも親子体験教室**」  
【目的】親子で共同体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間づくりを促進する。  
【対象】小・中学生の子どもを持つ家族20家族40人程度  
【内容|期日|参加者数】  
①親子でアウトドアクッキング編|7月3日|39人  
②親子でキャンプ!編|9月4日～5日|28人  
③④親子で創作編!|③④12月11日|37人
- (2) **自然ワンダークラブ**  
【目的】四季を通してさまざまな活動を体験することにより、環境についての考えを深め、自然を大切にしようとする心を育てる。  
【対象】小学校4年生～中学生25人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①～春～ 緑と遊ぼう | 6月5日～6日 | 30人  
②～夏～ 川と遊ぼう | 8月28日～29日 | 24人  
③～秋～ 山と遊ぼう | 10月16日～17日 | 26人  
④～冬～ 雪と遊ぼう | 1月29日～30日 | 28人
- (3) **水と緑のフレンドシップ**  
【目的】異年齢集団による野外体験活動等を通して、主体的に活動する心豊かでたくましい青少年の育成を図る。  
【内容】仲間づくりレク、キャンプ、野外炊事、創作活動等  
【対象】小学校5年生～中学生30人、高校・大学生等ボランティア  
【期日|参加者数】7月26日～7月30日|30人
- (4) **みんなdeスクラム**  
【目的】親子が気軽にさまざまな体験活動を行い、活動の喜びを共有しながら、経験の拡大と参加者相互の交流を図る。  
【対象】特別な支援を要する児童・生徒とその保護者20人、高校・大学生等ボランティア  
【内容|期日|参加者数】  
①新緑の季節を体感しよう! | 6月12日 | 22人  
②秋の実りを味わおう! | 9月11日 | 14人
- (5) **冬のおもしろ体験ランド**  
【目的】冬の自然に触れながら、野外活動の喜びを体験するとともに、創作活動等を通じて参加者相互の交流を図る。  
【内容】Enjoy!!スキー&スケート [スキー・スケート体験等]  
【対象】小学校4年生～中学生30人、高校・大学生ボランティア  
【期日|参加者数】2月5日～6日|29人
- (6) **冬のわくわく創作ランド**  
【目的】長期休業を利用し、子どもたちに創作活動の機会を提供することで、物作りの楽しさを体験してもらうとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】「イライラ棒」「トゥインクルシート」製作  
【対象|期日|参加者数】小学校4年生～中学生30人|1月8日|24人
- (7) **アドバイザースタッフ養成講座**  
【目的】児童生徒の学校外活動を援助する高校生・大学生等の育成を図り、施設におけるボランティア活動を推進する。  
【内容】ニュースポーツ、創作活動、野外炊事等  
【対象】高校生・大学生等ボランティア20人  
【期日|参加者数】5月22日～23日|42人
- (8) **集団宿泊指導研修会**  
【目的】宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を図る。  
【内容】野外活動、創作活動、情報交換等  
【対象】利用団体関係者等  
【期日|参加者数】①5月7日、②8月11日|①46人、②21名
- (9) **ホットタイムin県南**  
【目的】さまざまな体験活動を通して、余暇の充実を図る。  
【内容|期日|参加者数】①七時雨山登山 | 7月14日 | 25人  
②栗駒山登山 | 10月6日 | 20人
- (10) **県南は～とふるDay**  
【目的】日常と異なる環境の中で、さまざまな体験活動を通して参加者相互の交流と経験の拡大を図る。  
【内容】野外活動、創作活動等  
【対象|期日|参加者数】学校不適応児童・生徒|8月25日|9人
- (11) **体験!体感!みどりのキャンパス**  
【目的】青少年の体験学習活動を推進する指導者を養成するために、必要な知識の習得及び技術の向上を図る。  
【内容】施設紹介、野外活動、ニュースポーツ、創作体験等  
【対象】社会教育・学校教育関係者、子ども会等少年団体指導者20人  
【期日|参加者数】①5月7日、②8月11日|①30人、②26名
- (12) **レッツ!スキー**  
【目的】青少年の余暇利用として、スキーを楽しむ機会を提供するとともに、参加者相互の交流を深める。  
【内容】夏油高原スキー場でのスキー実技等  
【対象】スキー経験のある小学4年生～小学6年生30人  
【期日|参加者数】1月9日|20人
- (13) **【自主事業】みどりのキャンパスふれあいフェスティバル**  
【目的】スポーツや創作活動等を通して、県南青少年の家に対する理解と親しみを深めるとともに、生涯スポーツ等への参加の契機とする。  
【内容】ニュースポーツ体験、創作体験、作品展、食の祭典等  
【期日|参加者数】10月2日～3日|1,695人
- (14) **【自主事業】県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」**  
【目的】スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、参加団体相互の交流を促進する。  
【内容】サッカー試合、サッカー講習会  
【対象】サッカースポーツ少年団15チーム  
【期日|参加者数】10月2日～3日|1,394人
- (15) **【自主事業】レッツ!スケート**  
【目的】青少年の余暇利用として、冬季野外活動の機会を提供するとともに、スケートを楽しみながら親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生～家族、一般40人  
【期日|参加者数】①2月29日、②2月5日|①68人、②70人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立陸中海岸青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

- (1) **自然体験活動セミナー**  
【目的】自然体験活動の普及を図るため、指導者の養成をねらい、実践活動を通して資質の向上を図る。  
【対象】学校教育・社会教育担当者、教員20人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 4月17日 | 9人  
② 4月27～28日 | 20人
- (2) **創作ひろば**  
【目的】青少年の余暇活動として、季節の創作活動の機会を提供する。親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。  
【対象】小学生(家族)～一般30人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① アイディアとアレンジでクリスマス&お正月 12月18日 | 80人  
② お菓いで季節を感じよう 2月12日 | 40人
- (4) **ワンダフルネイチャー**  
【目的】野外活動を通して、身近な自然に対する興味や関心を深める。参加者相互の交流やふれあいを深める。  
【対象】小学生(家族)～一般30人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 新緑の鯨山トレッキング | 5月16日 | 169人  
② 重茂半島トレッキング | 5月30日 | 48人  
③ 海中散歩 | 7月10日 | 10人
- (5) **海釣り道場**  
【目的】自然の中で、海釣り(船、堤防)の醍醐味を滞喫する。親子、参加者相互の交流やふれあいを深める。  
【対象】小学生以上の20家族 ①②各コース30人、③40人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① 船釣り、堤防釣り | 4月24日～25日 | 62人  
② 船釣り、堤防釣り | 6月5日～6日 | 33人  
③ ハゼ釣り | 9月11日～12日 | 35人  
④ 船釣り、堤防釣り | 10月2日～3日 | 17人
- (6) **「家族ふれあい塾」**  
【目的】野外での自然体験活動を通して、親子の相互理解を図り、ふれあいを深める。親同士の交流を通じて連帯感を醸成し、子育てをする仲間作りを促進する。  
【対象】15家族45人  
【内容 | 期日 | 参加者数】  
① アウトドア料理と鯨カヌーでいくオランダ島 | 7月3日～4日 | 25人  
② 来て！見て！ふれて！三陸あったか体験 [新巻鮭造り、養殖体験等] | 9月4日～5日 | 中止  
③ 三陸あったか体験 | 11月6日～7日 | 11人
- (7) **自然体験塾**  
【目的】自然体験活動を通して、思いやりの心や自然を大切にすることを育み、参加者相互の交流を図る。
- ア 海の子野外教室**  
【内容】キャンプ体験、いかだ遊び、海中散策、海釣り等  
【対象】小学5年生～高校生30人  
【期日 | 参加者数】8月6日～11日 | 31人
- イ チャレンジキッズキャンプ**  
【内容】テント泊、いかだ遊び、野外炊事等  
【対象】年長～小学4年生、保護者30人  
【期日 | 参加者数】8月28日～29日 | 17人
- ウ 雪ん子野外教室  
【内容】バーベキュー、グラウンド・ゴルフ等  
【対象】子どもとその家族20人  
【期日 | 参加者数】1月12日～15日 | 37人
- (8) **レッツスケート**  
【目的】スケート体験を通し、心身の健全な発達と技術の向上を図る。  
【対象】小学生～家族・一般  
【期日 | 参加者数】1月22日 | 40人
- (9) **アドバイザースタッフセミナー**  
【目的】施設ボランティアの基礎的な知識や技術を習得する。  
【対象】中・高・大学生・一般  
【期日 | 参加者数】3月24日～25日 | 中止
- (10) **やまびこキャラバン**  
【目的】各地域での集会活動や各地域での教育力向上を支援するために、地域に出向き創作等を紹介し、ものづくりの楽しさを体験してもらう。  
【対象】幼児・小学生(家族)～一般  
【内容 | 期日 | 参加者数】通年 | 8,940人
- (11) **ハートフルキャラバン**  
【目的】創作活動やニュースポーツを通して参加者相互の交流を図り、心身ともに健康な生活ができるきっかけ作りの場を提供する。  
【対象】不登校傾向にある児童・生徒等  
【期日 | 参加者数】① 出前指導 | 通年 | 0人  
② ハートフルディキャンプ | 8月20日 | 0人
- (12) **[自主事業] マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会**  
【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。  
【対象】山田・大槌町内のミニバスケットボールスポーツ少年団  
【期日 | 参加者数】3月5日、6日 | 676人
- (13) **[自主事業] マリンランド杯交流フットサル大会**  
【目的】大会を通し、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。  
【対象】沿岸地区のサッカースポーツ少年団  
【期日 | 参加者数】2月19日、20日 | 1,212人
- (14) **[自主事業] マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会**  
【目的】大会を高齢者のためのいきいきスポーツ大会  
【目的】社会参加活動の一環として、各種大会・講習会等を実施するにあたり、その円滑な運営のための支援を行う。
- ア グラウンドゴルフ大会**  
【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民192人程度  
【期日 | 参加者数】① 4月7日 | 90人 ② 5月26日 | 125人  
③ 10月13日 | 74人 ④ 11月3日 | 98人
- イ ゲートボール大会**  
【対象】沿岸地区在住概ね60歳以上の県民100人程度  
【期日 | 参加者数】  
① 11月25日 | 43人 ② 3月2日 | 60人
- (15) **親子Deチャレンジ!!**  
【目的】3青少年の家の連携により、体験活動を通して、親子のふれ合いや家族同士の親睦を深める。  
【内容】カーリング体験、スケート、プラネタリウム鑑賞  
【対象】8家族 30名程度  
【期日 | 参加者数】11月20日～21日 | 20人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### 【県立県北青少年の家 平成22年度主催事業及び自主事業】

##### (1) 野外活動セミナー

【目的】 野外活動プログラムの展開に必要な実技研修を行うことにより、当施設におけるより円滑な活動に資する。

【内容】 野外活動技術、施設見学、利用説明、プログラム相談

【対象】 5月から10月までの利用団体の担当者

【期日 | 参加者数】 ①5月7日 | 11人 ②5月26日 | 25人

##### (2) ボランティア研修会

【目的】 高校生等のボランティア活動への参加意欲を高め、当施設におけるボランティア育成を図る。

【内容 | 対象】 講義及び実習等 | 高校生等、一般 定員なし

【期日 | 参加者数】 ①6月4日～6日 | 18人 ②9月24日～26日 | 9人

##### (3) ジュニアフォレストーズ大作戦

【目的】 各季節における森林に関する学習や体験活動等を行うことにより、自然を大切にすることを育み、環境保全へ向かおうとする実践意欲を育てる。

【内容】 森林学習、自然観察、野外炊事、環境保護活動体験等

【対象】 小学校4年生～小学校6年生

【期日 | 参加者数】 ①5月15日～16日 | 75人

②10月2日～3日 | 69人 ③1月22日～23日 | 63人

##### (4) わんぱく広場

【目的】 体験活動とおして、思いやりの心を育てるとともに、友だちや親子のふれあいを深める。

【内容】 うどん打ち体験、流しうどん等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで60人 | 6月6日 | 66人

##### (5) ブラネ鑑賞デー

【目的】 季節の星座の紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文やファンタジックな宇宙への興味を喚起する。

【内容 | 対象】 プラネタリウム投影等 | 子どもから大人まで60人

【期日 | 参加者数】 ①7月4日 | 195人 ②9月19日 | 76人

③12月19日 | 81名

##### (6) サマースクール

【目的】 各種の野外活動等を通して、自然を大切にすることを育むとともに、豊かな感性や思いやりの心、リーダーの育成を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、創作活動等

【対象】 小学校3年生～4年生 30人

【期日 | 参加者数】 7月17日～18日 | 79人

##### (7) 夏休みなんでも教室

【目的】 自然環境の中で、異年齢集団での中期にわたる多彩な活動を通して、自主性、忍耐や思いやりの心を育むとともに、活動意欲に満ちた青少年の育成を図る。

【内容】 自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等

【対象】 小学校5年生～6年生 30人

【期日 | 参加者数】 ①《初級》7月26日～29日 | 34人

②《中級》8月7日～11日 | 31人

##### (8) あつまれキッズランド

【目的】 自然等を介した学びの場において、自立心や協調性を育むとともに、参加者同士の交流を図る。

【対象】 5、6歳児、小学校1年生～2年生 20人

【内容】 レクリエーション、自然探索等

【期日 | 参加者数等】 9月25日～26日 | 29人

##### (9) 星友の日

【目的】 青少年の家等における活動を通して、学校不適応児童・生徒が生活範囲を広げる機会を提供することにより、参加者

の行動意欲を高める。

【内容】 創作活動、自然観察、ニュースポーツ等

【対象】 小・中学校学校不適応児童・生徒

【期日 | 参加者数】 11月18日 | 7人

##### (10) スケート実技セミナー

【目的】 スケート利用団体の指導者の各技能別による技術の向上を図るとともに、各技能別指導法を研修する。

【内容】 スケート教室の展開（実技・説明）、プログラム相談等

【対象】 11月から3月までのスケート利用団体担当者

【期日 | 参加者数】 10月29日 | 11人

##### (11) スケート場感謝デー

【目的】 「いわて教育の日」の趣旨を踏まえて、県北青少年の家のスケート場を開放し、家庭・地域のふれあいを促進するとともに、健全育成を図る。

【内容】 スケート場無料開放、氷上スポーツ体験等

【対象】 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 11月3日 | 734人

##### (12) だれでも氷上スポーツ

【目的】 冬季スポーツの技術の向上を図るとともに、青少年の健全育成を図る。

【内容】 ①～③技能別スケート教室等

④カーリング教室等、⑤氷上綱引き

【対象】 ①～④子どもから大人まで50人

⑤小学生の部、大人の部（中学生以上）合計24チーム

【期日 | 参加者数】 ①11月6日 | 65人 ②11月27日 | 104人 ③12月

4日 | 75人 ④2月5日 | 40人 ⑤3月5日 | 204人

##### (13) [自主事業] 県北さくらまつり

【目的】 桜の開花時期に合わせて屋外施設を一般開放し、日頃の利用に感謝するとともに、当青少年の家の本格的な活動時期の到来を広く県民に周知する。

【内容 | 対象】 仲間づくり、創作活動等 | 子どもから大人まで

【期日 | 参加者数】 5月9日～15日 | 77人

##### (14) [自主事業] 県北フェスティバル

【目的】 県北青少年の家を開放し、生涯学習の拠点としての青少年の家への理解と親しみを深め、各種活動を通して参加者相互の交流を図る。

【内容】 創作等体験、ステージ発表等

【対象 | 期日 | 参加者数】 子どもから大人まで | 8月22日 | 805人

##### (15) [自主事業] 親子deチャレンジ！

【目的】 県南青少年の家、陸中海岸青少年の家、県北青少年の家の三つの施設が互いに連携を取り合って企画するもので、体験活動を通して、親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。

【内容】 スケート、カーリング、情報交換会等

【対象】 小学校以上の子どもの持つ家族 10家族程度30人

【期日 | 参加者数】 11月20日～21日 | 25人

##### (16) [自主事業] スケート場キッズ感謝デー

【目的】 スケートを初めとした氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図るとともに、今年度の利用に感謝し小学生以下にスケート場靴代、入場料を無料とし開放することにより利用促進を図る。

【内容】 スケート教室等

【対象】 小学生以下の子ども

【期日 | 参加者数】 3月21日 | 中止

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

5 社会教育施設の整備充実（4 市町村の社会教育施設：公民館）

(1) 施設

県内の市町村が設置する公民館数は365館と前年より6館減少した。公民館未設置市町村は、田野畑村、普代村及び野田村の3村であり、それぞれコミュニティセンター等の関連施設を活用して社会教育諸活動を実施している。

本館		中央館	24
		地区館	188
		小計	212
分館		147	
計		359	

(2) 職員

社会教育活動の中心的役割を果たす公民館職員は、本務・兼務合わせて351人と前年より35人減少した。また、兼務職員が本務職員数を上回る傾向が続いている。

		館長			補佐・係長			社会教育主事			主事等			計		
		本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計	本務	兼務	計
本館	中央館	4	16	20	15	12	27	1	7	8	25	21	46	45	56	101
	地区館	8	46	54	42	25	67	3	3	6	48	53	101	101	127	228
	小計	12	62	74	57	37	94	4	10	14	73	74	147	146	183	329
分館		0	18	18	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	22	22
計		12	80	92	57	39	96	4	10	14	73	76	149	146	205	351

(3) 第58回岩手県公民館大会

生涯学習社会の構築が求められ、公民館の果たすべき役割がますます重要になってきている今日、広く県内の公民館関係者や社会教育関係者が一堂に会し、今後の公民館のあり方や具体的な運営方策など今日的な課題について話し合い、研究を深めることにより、本県公民館活動の新たな展開を図るため、次のとおり開催した。

- ア 期日・会場 平成22年7月15日～16日（二戸市民文化会館）
- イ 記念講演 「地域コミュニティにおいて公民館が果たす役割」  
講師 岩手大学客員教授 高橋 寛 氏
- ウ 分科会 第1分科会 公民館の管理・運営  
第2分科会 協働による公民館活動  
第3分科会 これからの公民館事業

(4) 第64回優良公民館表彰（平成22年度文部科学大臣表彰）

ア 奥州市立古城公民館

地区防犯協会や青壮年団体等が中心となって、地域の幅広い年齢層が多様な活動を通じて積極的に交流する機会が設けられており、地域理解や連帯感の醸成が進められている。第34回古城地区文化祭・第19回防犯かくし芸大会は、公民館を拠点として取り組んだ創作・演芸活動の総合的発表の場として開催し、地域の芸術文化活動の振興及び地区民交流の活性化を図っている。また、防犯に関する催しを通して、地区民の防犯意識の高揚を図り、明るい地域づくりを目指した活動が評価された。

イ 一関市立老松公民館

老松公民館は、地域の良さを子どもたちに知ってもらおうと、「おらほのしきたり保存事業」「おらほの名人活用事業」と銘打って、しきたりの伝承と高齢者の人材活用に取り組んでいる。

言葉を大切に事業「地元学講座」では、花泉町内の方言や昔話などを正しく記録し伝承するため、それらを調査・整理し記録したものを学級講座や小学生を対象とした世代間交流事業の中で伝え、教育力の向上を図っていることが評価された。



5 社会教育施設の整備充実（5 県立博物館）

岩手県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成22年度は、企画展、テーマ展、移動展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成22年度岩手県立博物館協議会

① 期日 平成22年10月22日

② 会場 岩手県立博物館会議室

③ 協議事項

a 平成22年度博物館事業実施状況について

b 平成23年度博物館事業計画(案)について

(2) 平成22年度利用状況

総利用者数：60,850人  
 入館者数……………36,079人  
 教育普及事業参加者数……11,764人  
 移動展入館者数…………… 760人

【平成22年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1日平均 利用人数
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計		
4	1,488	56	647	2,191	100	262	0	362	639	9	367	1,015	2,227	327	1,014	3,568	26	137
5	1,455	55	827	2,337	382	58	21	461	1,087	0	583	1,670	2,924	113	1,431	4,468	26	172
6	785	45	343	1,173	95	25	0	120	650	2	728	1,380	1,530	72	1,071	2,673	26	103
7	1,273	48	524	1,845	102	24	56	182	807	36	391	1,234	2,182	108	971	3,261	27	120
8	3,774	198	1,342	5,314	257	74	25	356	910	108	115	1,133	4,941	380	1,482	6,803	28	242
9	711	44	370	1,125	122	0	74	196	314	0	367	681	1,147	44	811	2,002	17	117
10	1,801	47	776	2,624	265	0	56	321	1,399	48	1,153	2,600	3,465	95	1,985	5,545	27	205
11	931	51	418	1,400	43	0	24	67	995	13	323	1,331	1,969	64	765	2,798	25	111
12	416	34	299	749	15	0	19	34	232	0	190	422	663	34	508	1,205	24	50
1	441	23	345	809	10	0	11	21	224	0	112	336	675	23	468	1,166	24	48
2	727	23	346	1,096	117	0	0	117	554	0	62	616	1,398	23	408	1,829	24	76
3	214	10	211	435	28	0	0	28	147	0	151	298	389	10	362	761	18	42
計	14,016	634	6,448	21,098	1,536	443	286	2,265	7,958	216	4,542	12,716	23,510	1,293	11,276	36,079	292	123

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

平成22年度は、右の12,494点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

【収集資料数】 [単位：点]	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成21年度末 累計	8,722	98,510	38,958	36,936	17,088	200,214
平成22年度登録点数	31	10,600	1,670	11	182	12,494
計	8,753	109,110	40,628	36,947	17,270	212,708

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地質 恐竜マイアサウラほか 136点
- b 生物 哺乳類剥製標本ほか 41点
- c 考古 一関市熊穴洞穴遺跡出土貝輪ほか 96点
- d 歴史 川口月村「奥羽寒図記」ほか 135点
- e 民俗 森口多里写真コレクションほか 122点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。  
 また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成22年度は22テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分野	調査研究テーマ
地質	「地域地質に関する研究」 ほかに2テーマ
生物	「地域生態系の研究」 ほかに4テーマ
考古	「岩手における近代考古学の研究」 ほかに2テーマ
歴史	「八戸藩成立期の研究」 ほかに3テーマ
民俗	「有形民俗文化財に関する研究」 ほかに3テーマ
文化財科学	「文化財の保存環境に関する研究」 ほかに2テーマ

#### ウ 展示活動

##### (ア) 常設展示の充実

「総合展示」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」等の展示替え

「体験学習室」の衣装の整備

「移動展」を埋蔵文化財センターと合同開催

##### (イ) 特別展示等の開催

種別	名称	会期
第62回企画展	病をいやす ～くすり・まじない・神だのみ～	平成22年3月27日～5月5日
テーマ展	新指定文化財展	平成22年6月1日～7月4日
北東北三県共同展	境界に生きた人々～遺物でたどる北東北のあゆみ～	平成22年7月23日～8月29日
開館30周年記念特別企画展(第63回企画展)	いわての漆～縄文から現代まで岩手に伝わる漆の文化～	平成22年10月2日～11月7日
テーマ展	大地(ジオ)を楽しむ旅へ	平成22年12月5日～平成23年2月27日
テーマ展	くらしと古文書	平成23年4月19日～5月8日 に会期変更
移動展	いわての宝をみよう～自然・文化、住田の遺跡～(住田町農林会館)	平成22年11月19日～11月23日

※テーマ展「くらしと古文書」は平成23年3月19日～5月8日までの開催予定であったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響で平成22年度内に開催ができなかった。

##### (ウ) 解説会

以下のとおり、計166催し、2,711人の参加があった。

###### a 特別展示・展示解説会(12回開催、延べ294人参加)

期日	場所	担当	テーマ
平成22年4月18日	特別展示室	民俗	企画展「病をいやす」展示解説会②
平成22年5月3日	特別展示室	民俗	企画展「病をいやす」展示解説会③
平成22年8月1日	特別展示室	考古・歴史	特別展「境界に生きた人々」展示解説会①
平成22年8月15日	特別展示室	考古・歴史	特別展「境界に生きた人々」展示解説会②
平成22年10月2日	特別展示室	民俗	特別展「いわての漆」展示解説会①
平成22年10月16日	特別展示室	民俗	特別展「いわての漆」展示解説会②
平成22年10月30日	特別展示室	民俗	特別展「いわての漆」展示解説会③
平成22年11月6日	特別展示室	民俗	特別展「いわての漆」展示解説会④
平成22年12月5日	特別展示室	地質	テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会①
平成23年1月16日	特別展示室	地質	テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会②
平成23年2月20日	特別展示室	地質	テーマ展「大地(ジオ)を楽しむ旅へ」展示解説会③
平成23年3月21日	特別展示室	歴史	テーマ展「くらしと古文書」展示解説会① (※臨時休館のため中止)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりと深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### b 移動展示解説会（1回開催、51人参加）

期 日	場 所	担 当	テ ー マ
平成22年11月23日	住田町農林会館	各部門	合同移動展「いわての宝をみよう」解説会

###### c 常設展示・展示解説会（147回開催、延べ2,171人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	52回（日曜日を除く毎日）	延べ141人	総合展示室	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説	95回（随時）	延べ2,030人			

###### d 開館30周年記念特別企画展関連（6回開催、延べ195人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
記念写真撮影会	2回	36人	エントランスホール		
漆掻き実演	4回	159人	博物館敷地内	民俗	岩手県浄法寺漆生産組合による漆掻き実演

## エ 教育普及活動

### 【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	県博日曜講座	21回	397人
2	民俗講座	1回	130人
3	考古学セミナー講演会・現地見学会	2回	151人
4	北東北三県共同展特別講演会	2回	312人
5	文化講演会	1回	74人
6	秋期博物館セミナー	5回	283人
7	冬期文化講演会	1回	95人
8	国際博物館の日記念事業	1回	36人
9	第3回博物館まつり	1回	1,262人
10	冬の写生会	1回	47人
11	博物館どうよう探偵団	6回	26人
12	いわての博物館交流セミナー	8回	206人
13	ミュージアムシアター	10回	236人
14	伝統芸能鑑賞会	1回	123人
15	第59回自然観察会	1回	25人
16	第60回自然観察会	1回	35人
17	第59回地質観察会	1回	20人
18	第60回地質観察会	1回	16人
19	古文書入門講座	8回	137人
20	古文書初・中級講座	10回	306人
21	博物館実習	1回（7日）	91人
22	体験教室 みんなでためそう！	48回	1,524人
23	チャレンジ！博物館	49回	1,588人
24	やってみ体験	6回	274人
25	とびだせ博物館	3回	112人
26	県博出前講座	7回	365人
27	文化財等取扱講習会	1回（3日）	105人
28	他団体との共催	19回	1,077人
	計	—	9,053人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

###### 1 県博日曜講座 (21回開催、延べ397人参加)

期 日	場 所	テーマ
4月11日	教室	八戸藩の礎となった母子-霊松院と南部直正-
4月25日	教室	病はどこからやってくる-俗信の真相-
5月9日	教室	クマガラの音声と生態
5月23日	教室	山口に渡った岩手の考古資料
6月13日	教室	金小札茶糸緘二枚胴具足と御宝蔵御具足帳
6月27日	教室	奥州藤原氏の経塚
7月11日	教室	岩手にもコミセがあった~岩手特有の形式~
7月25日	講堂	東北の雄 アテルイとその周辺 (北東北三県共同展特別講演会を兼ねる)
8月8日	講堂	北東北初期武家時代の覇者たち (考古学セミナーを兼ねる)
8月22日	講堂	奥州合戦について (北東北三県共同展特別講演会を兼ねる)
9月12日	教室	南部鉄の生産と流通 -たたら吹き製鉄から洋式高炉への移行をめぐる-
9月26日	教室	いわての図案家 荒川文助
10月10日	講堂	うるしの話 (秋期博物館セミナーを兼ねる)
10月24日	講堂	漆蠟をつくる (秋期博物館セミナー、いわての博物館交流セミナーを兼ねる)
11月14日	教室	メヒカリ?~岩手の深海発光生物~
12月12日	教室	大正~昭和初期の平泉発掘事情 -小田島コレクションからわかること-
12月26日	教室	写真家・土門拳と中尊寺
1月9日	教室	大地 (ジオ) を楽しむ旅へ
1月23日	教室	保存と修復の歴史-出土木製品を中心に-
2月13日	教室	県南部に分布する火山灰
2月27日	講堂	標本はおもしろい~岩手の植物再発見~ 岩手の地名に日本語の源流をたどるII (臨時休館のため中止)
3月13日	講堂	
3月27日	教室	くらしと書き物 昔と今 (臨時休館のため中止)

###### 2 民俗講座 (130人参加)

【期日】4月29日 【場所】講堂  
【テーマ】病をいやす神仏の姿

###### 3 考古学セミナー (2回開催、延べ151人参加)

期 日	場 所	テーマ
8月8日	講堂	特別講演会「北東北初期武家時代の覇者たち」 (県博日曜講座を兼ねる)
8月21日	金ヶ崎町・ 横手市	現地見学会「前九年合戦・後三年合戦の 舞台を歩く」

###### 4 北東北三県共同展特別講演会 (2回開催、延べ312人参加)

期 日	場 所	テーマ
7月25日	講 堂	特別講演会「東北の雄 アテルイとその周辺」(県博日曜講座を兼ねる)
8月22日	講 堂	奥州合戦について (県博日曜講座を兼ねる)

###### 5 文化講演会 (74人参加)

【期日】11月3日 【場所】講堂  
【テーマ】縄文漆を科学する

###### 6 博物館秋期セミナー (5回開催、延べ283人参加)

期 日	場 所	テーマ
10月3日	講堂	「縄文時代のウルシ利用」
10月10日	講堂	うるしの話 (県博日曜講座を兼ねる)
10月11日	講堂	漆の魅力~いわての漆工芸 新しい漆製品の開発と可能性 漆のある暮らし
10月24日	講堂	漆蠟をつくる (県博日曜講座、博物館交流セミナーを兼ねる)
11月7日	講堂	漆の可能性~地域おこし~

###### 7 冬期文化講演会 (95人参加)

【期日】2月3日 【場所】講堂  
【テーマ】宮澤賢治の地的世界

###### 8 国際博物館の日記念事業 (36人参加)

【期日】5月16日 【場所】館内  
【内容】収蔵庫等のバックヤード見学ツアー

###### 9 第3回博物館まつり (1,262人参加)

【期日】10月17日 【場所】館内、芝生広場、民家ほか  
【内容】土器や化石のレプリカづくり、火おこし、石臼、昔遊びなどの体験コーナーを実施

###### 10 博物館写真会 (22日間開催、延べ47人参加)

【期日】12月18日~1月16日 【場所】館内  
【内容】盛岡北部の小学生、幼稚園・保育園児を対象に実施

###### 11 博物館どう探偵団 (6回開催、延べ26人参加)

期 日	場 所	テーマ
5月15日	館内	草花や石をつかって色をつくろう
5月29日	館周辺	虫は何色の花が好き?
7月3日	館内	本物の土器パズル
7月17日	館内	火山もけいをつくろう
10月9日	盛岡城跡公園	盛岡城たんけん
10月23日	館内	貝がらあわせ

###### 12 いわての博物館交流セミナー (8回、延べ206人参加)

(岩手県内博物館等連携事業)

期 日	場 所	テーマ
4月21日	原敬記念館	情報交換会
5月3日	一関市博物館	身近な植物を知ろう
8月21日	講堂	北東北の板碑~北上川流域の板碑を中心として~
9月4日	花巻市博物館	アケボノゾウがいたところの花巻
10月24日	講堂	漆蠟をつくる (県博日曜講座、博物館秋期セミナーを兼ねる)
11月3日	盛岡市先人記念館	啄木と京助
11月14日	御所野縄文博物館	高橋信雄氏と共に世界を巡る
1月22日	一関市博物館	花巻人形の世界

###### 13 ミュージアムシアター (10回開催、延べ236人参加)

【期日】第一土曜日 【場所】講堂  
【内容】博物館資料や展示、季節等に関連する16ミリ映画上映

###### 14 伝統芸能鑑賞会 (1回開催、延べ123人参加)

期 日	場 所	テーマ
6月20日	グランドホール	下北に渡った盛岡七軒丁~栗山太神楽~
3月12日	グランドホール	春を招く若人の舞 (臨時休館のため中止)

###### 15 第59回自然観察会 (25人参加)

【期日】5月22日 【場所】盛岡市砂子沢  
【テーマ】春のブナ林を歩こう

###### 16 第60回自然観察会 (35人参加)

【期日】7月10日 【場所】二戸市折爪岳  
【テーマ】ヒメボタルの光、ブナの森のスターダスト

## 第2章 教育施策の推進状況

### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

#### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

- 17 第59回地質観察会（20人参加）  
【期日】7月4日 【場所】盛岡市玉山区～岩泉・葛巻町  
【テーマ】古生代末生物絶滅の証拠をもとめて
- 18 60回地質観察会（16人参加）  
【期日】10月10日 【場所】盛岡市乙部川流域  
【テーマ】川砂から鉱物を探す
- 19 古文書入門講座（8回開催、延べ137人参加）  
【期日】5月中 【場所】教室  
【内容】基礎的なかな文字・崩し字を学ぶ
- 20 古文書初・中級講座（10回開催、延べ306人参加）  
【期日】6月～7月 【場所】教室  
【内容】入門講座程度修了者を対象に古文書の形式を学ぶ
- 21 博物館実習（7日間開催、延べ91人参加）  
【期日】8月19日～8月26日 【場所】館内  
【内容】学芸員資格取得を希望する学生への館務実習を実施
- 22 体験教室みんなでためそう！（52回開催、延べ1,524人参加）  
【期日】毎週日曜日 【場所】実技室ほか  
【内容】博物館に親しむためのプログラム
- 23 チャレンジ！博物館（49回開催、延べ1,588人参加）  
【期日】第二・第三土曜日と日曜日  
【場所】展示室  
【内容】月ごとにテーマを設定し、オリエンテーリング形式のワークシートによる資料探索

#### 24 やって体験（6回開催、延べ274人参加）

期 日	場 所	内容及び体験団体
5月28日	実技室	石のオリジナルはんこ（奥州市ときわ公民館）
7月3日	実技室	石のオリジナルはんこ（西青山1丁目2地区子ども会）
7月17日	実技室	石のオリジナルはんこ（西青山1丁目1地区子ども会）
9月25日	実技室	石のオリジナルはんこ（松園小学校6年生）
9月25日	実技室	石のオリジナルはんこ（松園小学校5年生）
10月5日	実技室	スライムであそぼう（滝沢第2小学校）

#### 25 とびだせ博物館（3回開催、延べ112人参加）

期 日	場 所	テーマ
8月27日	盛岡市立太田小学校	とびだせ水生生物調査
9月17日	紫波町立佐比内小学校	歴史学習総決算
2月9日	岩手県立杜陵高等学校	いわてのいくさ、戦い、戦争

#### 26 県博出前講座（7回開催、延べ365人参加）

期 日	場 所	テーマ
6月22日	紫波町志和公民館	知っておきたい志和の歴史～八戸藩のお殿様とその家族～
6月24日	盛岡工業高等学校	部活動を通して縄文集落に迫る
7月31日	釜石市釜石公民会	縄文のアクセサリを作ろう！
8月25日	紫波町志和公民館	八戸にある志和ゆかりの品々を堪能する
9月9日	大船渡市教育委員会	写真にみる気仙～森口多里がみた気仙の民俗風景～
10月30日	紫波町志和公民館	澤口観音堂准胝観音像の胎内物について
3月8日	紫波町志和公民館	八戸藩主家ゆかりの場所を訪ねる

- 27 文化財等取扱講習会（3日間開催、延べ105人受講）  
【期日】2月2日～2月4日 【場所】教室他  
【対象】県内市町村の文化財担当職員及び博物館等職員

#### 28 他団体との共催事業

期 日	場 所	依頼者	テーマ
4月24日	岩手県立博物館講堂	いわて高等教育コンソーシアム	①盛岡藩と八戸藩にとつての岩手山詣 ②岩手山をめぐる民俗～山を見る
6月20日	十和田市北里大学	日本セトロジー研究会	東北地方の竜の口層の化石から探るヒゲクヅラ類の歴史
7月3日	乙部地区公民館	乙部地区公民館	ホテルについて
7月5日	世田米小学校前気仙川	住田町役場	水生生物調査
7月6日	世田米小学校前気仙川	住田町役場	水生生物調査
8月21日	名古屋博物館	国際ヒメボタルサミット実行委員会	岩手のヒメボタル
9月5日	(社)日本アイソトープ協会滝沢研究所武見記念館	(社)日本アイソトープ協会滝沢研究所武見記念館	病をいやす～くすり・まじない・神のみ～
10月26日～29日	九州地方	博物館友の会	大陸文化の影響を辿る旅
10月30日	二戸市浄法寺カシオペアセンター	二戸市立浄法寺歴史民俗資料館	岩手の考古学の礎を築いた先人～小田島禄郎が残したものの
11月28日	岩手県立博物館講堂	自然史学会連合	①DNAからみた北東日本列島の成立史 ②クマはどこからやってきた？ ③エゾライチョウの話 ④水族館との連携：研究と啓発活動 ⑤高山帯で越えるヤガ類、長距離移動性とその起源 ⑥きのこが胞子を拡散する戦略～子孫を増やすための自己犠牲～ ⑦生物の分布情報はなぜ重要か～詳細分布から探るブナとイヌブナの生態史～ ⑧恐竜が見た岩手の森 ⑨東北の地質構造 ⑩日本列島の成り立ちと金野山『東北日本』
11月30日	八幡平市寺田公民館	八幡平市寺田公民館	病をいやす～くすり・まじない・神のみ～
12月11日	岩手県立博物館教室	盛岡市教育委員会	盛岡層～旧暦にみる行事～ 三閑伊日記にみえるあれこれ おひなさま～ひいなを愛でる～
1月15日	ほか		
2月26日			
12月12日	仙台市野草園	東北植物研究会	岩手の植物再発見～標本に基づく植物誌の見直し～
1月14日	釜石市立平田小学校	釜石市教育委員会	古代のアクセサリをつくらう（勾玉作り）
2月5日	盛岡市西部公民館	盛岡市教育委員会	縄文時代の漆芸
2月13日	田野畑村ホテル羅賓荘	田野畑村	白亜紀宮古層群と田野畑の大地の魅力
2月27日	岩手県立博物館講堂	岩手県植物誌調査会、博物館友の会	①標本はおもしろい～岩手の植物再発見～ ②高知県植物誌ができるまで～高知県と県民の協働事業～（県博日曜講座を兼ねる）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

##### 第2 生涯にわたる学習機会の充実

#### [参考] 博物館等設置状況

#### 1 博物館法第2条の登録博物館（平成23年3月31日現在）

名称	設置者	登録年月日	所在地
陸前高田市立博物館	陸前高田市	昭和34年1月20日	陸前高田市高田町字砂畑61-1
大船渡市立博物館	大船渡市	昭和41年8月1日	大船渡市末崎町大浜221-86
北上市立博物館	北上市	昭和50年10月7日	北上市立花14-59
遠野市立博物館	遠野市	昭和55年6月13日	遠野市東館町3-9
岩手県立博物館	岩手県	昭和55年10月1日	盛岡市上田字松屋敷34
宗教法人碧祥寺立博物館	宗教法人碧祥寺	昭和57年1月20日	和賀郡西和賀町沢内太由3-32
盛岡市子ども科学館	盛岡市	昭和58年7月1日	盛岡市本宮字蛇屋敷13-1
盛岡市先人記念館	盛岡市	昭和62年12月4日	盛岡市本宮字蛇屋敷2-2
萬鉄五郎記念美術館	花巻市	平成2年12月11日	花巻市東和町土沢5区135
北上市立鬼の館	北上市	平成7年10月30日	北上市和賀町岩崎16-131
奥州市牛の博物館	奥州市	平成8年8月30日	奥州市前沢区南陣場103-1
社団法人深澤紅子野の花美術館	社団法人深澤紅子野の花美術館	平成9年9月5日	盛岡市紺屋町4-8
一関市博物館	一関市	平成11年3月1日	一関市巖美町字押野々215
岩手県立美術館	岩手県	平成13年12月4日	盛岡市本宮字松幅12-3
御所野縄文博物館	一戸町	平成15年3月24日	二戸郡一戸町岩館字御所野2
花巻市博物館	花巻市	平成16年6月22日	花巻市高松26-8-1
盛岡市遺跡の学び館	盛岡市	平成16年9月17日	盛岡市本宮字荒屋13-1
宮古市北上山地民俗資料館	宮古市	平成21年12月15日	宮古市川井2-87-1

※陸前高田市立博物館は東日本大震災津波による建物損壊により休業中

#### 2 博物館法第29条の博物館相当施設（平成23年3月31日現在）

名称	設置者	登録年月日	所在地
宮沢賢治記念館	花巻市	平成3年6月26日	花巻市矢沢1-1-36
久慈琥珀資料館	久慈琥珀株式会社	平成4年3月31日	久慈市小久慈町19-56-133
陸前高田市海と貝のミュージアム	陸前高田市	平成16年12月24日	陸前高田市高田町字下宿55
早池峰山岳博物館	花巻市	平成17年12月27日	花巻市大迫町大迫3-39

※陸前高田市海と貝のミュージアムは東日本大震災津波による建物損壊により休業中

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

## 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

### 第1 文化振興基金を活用した支援等

#### 1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進した。

また、優れた芸術文化を広く県民に鑑賞する機会を提供するため、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

#### (1) 財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

##### ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	9	6,140	全国太鼓フェスティバルほか
文化活動研修事業	4	1,370	芸術文化講座ほか
文化団体備品整備事業	10	2,590	「岩崎鬼剣舞保存会」備品整備ほか
刊行物発行事業	2	420	文芸誌「文芸ふじさわ」の発刊ほか
参加する文化活動推進事業	9	6,210	雫石第九1000人コンサートほか
特認事業	1	630	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	35	17,360	

##### イ 新規特別粋事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
芸術情報化事業	3	2,737	岩手県中学校総合文化祭記録DVD作製ほか
芸術の里づくり事業	1	1,700	ミュージカル「平泉夕焼けの向こうに」上演
受賞記念活動支援事業	2	1,850	佐藤彦大ピアノリサイタルほか
新進・若手芸術家等派遣事業	1	2,958	(社)岩手県芸術文化協会新進・若手芸術家等派遣事業
アートマネージャー育成事業	7	355	「宮古市文化会館」アートマネージャー育成事業ほか
アートマネジメント推進事業	3	6,000	県北広域公立文化会館複数連携「参加型ミュージカル公演」事業ほか
計	17	15,600	

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(2) 第63回岩手芸術祭

ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成22年10月2日（土）【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,800人

イ 美術展

種目	期間	会場	入選点数／応募点数	鑑賞者数
工芸	平成22年10月2日～10月5日	岩手県民会館	79点 / 88点	5,052人
書道			241点 / 242点	
日本画	平成22年10月8日～10月11日		52点 / 51点	
版画			30点 / 31点	
水墨画	平成22年10月14日～10月17日		141点 / 155点	
写真			136点 / 148点	
デザイン			101点 / 101点	
現代美術	平成22年10月21日～10月24日		34点 / 34点	
洋画			235点 / 240点	
彫刻			17点 / 18点	

ウ 巡回美術展

期間	会場	鑑賞者数
平成22年10月28日～11月1日	奥州市文化会館展示室	2,470人
平成22年11月5日～11月7日	一戸町コミュニティセンター	
平成22年11月13日～11月14日	釜石市民文化会館中ホール	
平成22年11月20日～11月22日	岩泉町民会館	
平成22年11月27日～11月28日	久慈市文化会館展示室	
平成22年11月30日～12月2日	山田町中央公民館	
平成22年12月5日～12月6日	宮古市文化会館展示室	

エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	入賞・入選点数／応募点数	鑑賞者数
平成22年11月26日～11月28日	岩手県民会館展示室	1,530点 / 8,567点	2,598人

オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成22年12月9日～平成23年3月23日	7市町村8会場	310点	1,172人

カ 映像フェスティバル

【期日】平成22年10月17日 【会場】大槌町中央公民館 【鑑賞者数】43人

キ 演劇

[単位：人]

内容	期日	会場	鑑賞者数
「演劇集団九月とアウラー」公演	平成22年10月16日～10月17日	岩手県民会館 中ホール	210
「劇団我夢」公演	平成22年11月14日	奥州市文化会館 中ホール	410
「劇研麦の会」公演	平成22年11月14日	宮古市文化会館 大ホール	200
「北芸の会」公演	平成22年11月28日	さくらホール 中ホール	200
「劇団ふるさと発信株式会社」公演	平成22年12月5日	安代小学校体育館	152



第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成22年10月3日	盛岡市中央公民館	886
吟詠剣詩舞道祭	平成22年10月17日	岩手県民会館大ホール	1,187
華道展	平成22年10月29日～11月1日	岩手県民会館展示室	2,288
謡と仕舞の会	平成22年11月7日	岩手県民会館中ホール	450
邦楽のつどい	平成22年11月14日	岩手県民会館中ホール	313

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成22年10月9日	岩手県民会館中ホール	281
ピアノコンクール&演奏会	平成22年10月23日	岩手県民会館中ホール	200
三曲演奏会	平成22年10月24日	岩手県民会館大ホール	510
声楽部門演奏会	平成22年11月6日	岩手県民会館中ホール	240
ギター音楽の夕べ	平成22年11月13日	岩手県民会館中ホール	264
吹奏楽演奏会	平成22年11月28日	盛岡市民文化ホール大ホール	852
合唱祭	平成22年12月12日	岩手県民会館大ホール	820

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
洋舞発表会	平成22年10月10日	岩手県民会館大ホール	1,304
日本舞踊公演	平成22年11月21日	岩手県民会館大ホール	1,878

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成22年12月5日	山田町中央公民館	700
岩手民謡まつり	平成22年11月7日	岩手県民会館大ホール	1,012

シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
小説大会	平成22年10月17日	北上市生涯学習センター（北上市）	11
戯曲大会	平成22年10月30日	盛岡劇場（盛岡市）	20
文芸評論大会	平成22年10月10日	岩手大学図書館（盛岡市）	14
随筆大会	平成22年10月31日	サンセール盛岡（盛岡市）	23
児童文学大会	平成22年11月7日	チャグチャグホール（滝沢村）	24
詩の大会	平成22年10月24日	なほんプラザ（花巻市）	21
短歌大会	平成22年10月9日	共済ビル（盛岡市）	100
俳句大会	平成22年10月9日	国保会館（盛岡市）	91
川柳大会	平成22年10月24日	岩手教育会館（盛岡市）	57

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ス 県民文芸作品集第40集刊行

【発行日】平成22年12月11日 【掲載点数】153点 【応募点数】454点

セ 移動公演

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
吹奏楽	平成22年10月31日	洋野町民文化会館	350
新舞踊	平成22年12月4日	一戸町コミュニティセンター	183
弦 楽	平成22年12月12日	八幡平市西根地区市民センター	107

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

分 野	受 賞 者	受 賞 作 品
文芸（随筆）	村 田 久（一関市）	エッセイ集「家を抜け出し、川に佇つ」
文芸（俳句）	工 藤 節 郎（盛岡市）	第三句集「勾玉」
文芸（短歌）	藤 原 保 子（山田町）	歌集「際海」

イ 美術選奨

受 賞 者	分 野	受 賞 対 象 活 動
泉 田 之 也（野田村）	窯芸	個展（盛久ギャラリー 9月）
伊 藤 暢 浩（盛岡市）	写真	個展（イエロープラントギャラリー 4月）
斎 藤 由 朋（宮城県）	ビデオインスタレーション	企画展（彩園子 2月）
佐佐木 實（東京都）	書	個展（盛久ギャラリー 2月）
南館 麻美子（神奈川県）	版画	個展（諄子美術館 9月）

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

## 2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、岩手県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P120～124）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した（⇒P133～134）。

### (1) 県民会館

#### ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】[単位：日、%]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室（5室）	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
4月	21	75.0	22	78.6	16	55.2	16	55.2	20	69.0
5月	12	41.4	20	69.0	28	96.6	26	89.7	17	58.6
6月	20	80.0	16	61.5	24	88.9	24	88.9	18	66.7
7月	25	83.3	27	90.0	30	100.0	30	100.0	20	66.7
8月	22	71.0	17	54.8	28	90.3	28	90.3	19	61.3
9月	16	61.5	21	80.8	15	51.7	15	51.7	15	53.6
10月	22	75.9	29	100.0	25	86.2	25	86.2	22	75.9
11月	27	93.1	27	93.1	25	86.2	25	86.2	22	75.9
12月	18	75.0	15	68.2	7	31.8	7	31.8	15	62.5
1月	16	59.3	15	55.6	27	100.0	27	100.0	14	51.9
2月	10	40.0	15	62.5	25	92.6	25	92.6	20	74.1
3月	9	33.3	9	33.3	25	92.6	25	92.6	12	44.4
計	218	66.1	233	71.0	275	81.8	273	81.3	214	63.5

#### イ 自主文化事業の実施状況

##### (ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

期日(回数)	公演名	主な出演者等	会場	入場者数
8月1日	岩手っ子大地に舞う	演目：根反鹿踊り、八幡太神楽、澤目獅子踊り、青笹しし踊り他	大ホール	800
9月4日	ざ・CLASSIC'10 新人オーディション	審査員：ざ・CLASSIC実行委員会	中ホール	200
9月12日	いわてJAZZ2010	出演者：日野皓正カルテット、寺久保エレナ 他	大ホール	1,033
10月16日	弦楽合奏団パディヌリ演奏会	指揮：寺崎 巖 演目：バルトーク 他	大ホール	531
12月5日	ざ・CLASSIC'10	出演者：森 知英、斉藤 匠、澤田 薫、鈴木弘一 他	中ホール	372
1月10日	岩手の民謡をたずねて	出演者：藤沢東清、菊池信夫、千葉栄人、漆原栄美子 他	大ホール	1,076
1月22日	ニューイヤーライブ2011	出演者：アンダーバス、クライベイビーズ、御縁組 他	中ホール	266
1月30日	岩手県民オーケストラ定期演奏会	演目：フランク交響曲ニ短調 他	大ホール	681
4月30日他13回	ロビーコンサート	出演者：西部邦彦アコースティックバンド 他	ロビー	1,310
4月30日他3回	バックステージツアー	参加者：舞台関係団体、月曜歩き会 他		93
1月19日～2月20日	オペラワークショップ	講師：米谷毅彦 他	リハーサル室	26

##### (イ) コンサートサロン

[単位：人]

期日	公演名	会場	入場者数
5月20日	第178回 梯剛之 ピアノ・リサイタル	中ホール	443
9月22日	第179回 堤剛 無伴奏チェロ・リサイタル	中ホール	434
11月11日	第180回 神尾真由子 ヴァイオリン・リサイタル	中ホール	532

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

期日(回数)	公演名	主な出演者等	会場	入場者数
6月24日	ベルリン交響楽団	指揮：リオル・シノンバグール 演目：シューベルト/交響曲第7番「未完成」他	大ホール	1,891
9月10日	松竹特別公演「清&直美」	出演者：藤山直美、前川清 他	大ホール	1,677
11月2日	松竹大歌舞伎 秋季公演	出演者：坂東三津五郎、尾上松緑 他	大ホール	1,219
11月30日	西本知実withラトビア国立交響楽団	指揮：西本智実 演目：チャイコフスキー/交響曲第6番「悲愴」 他	大ホール	1,709

(2) 県立美術館

ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

	期日	場所	内容
第1回	平成22年10月27日	岩手県立美術館会議室	① 平成22年度美術館事業実施状況 ② 平成23年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営

イ 利用状況

[単位：人、日]

	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一般	小計		小中学生	高・大生等	一般	小計		
4月	119	11	258	388	23	177	509	5,572	6,258	18	6,646
5月	296	66	413	775	26	624	1,404	10,814	12,842	20	13,617
6月	274	3	335	612	26	303	516	4,446	5,265	26	5,877
7月	108	58	681	847	24	207	226	4,688	5,121	17	5,968
8月	143	13	291	447	26	434	368	6,983	7,785	25	8,232
9月	199	36	572	807	26	101	71	2,367	2,539	17	3,346
10月	97	34	420	551	23	313	460	2,290	3,063	27	3,614
11月	241	13	301	555	25	206	239	3,953	4,398	19	4,953
12月	37	12	104	153	24	63	275	1,699	2,037	21	2,190
1月	136	16	101	253	20	62	231	2,248	2,541	24	2,794
2月	9	14	345	368	24	183	106	3,531	3,820	14	4,188
3月	9	7	58	74	22	28	60	1,179	1,267	14	1,341
計	1,668	283	3,879	5,830	289	2,701	4,465	49,770	59,936	235	62,766

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

区分	会期	観覧者数
第4期展示	平成22年1月23日～4月18日	299(4月1日以降)
第1期展示	平成22年4月23日～7月19日	2,246
第2期展示	平成22年7月24日～10月17日	2,967
第3期展示	平成22年10月23日～平成23年1月16日	995
第4期展示	平成23年1月22日～4月24日	626(3月31日まで)

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会期	観覧者数
アルフォンス・ミュシャ展	平成22年4月10日～5月16日	17,936
ポップ・アート1960's→2000's展	平成22年5月25日～7月4日	8,179
黒田清輝展	平成22年7月17日～8月29日	11,950
百瀬寿展	平成22年9月11日～11月23日	9,045
ハンス・コパー展	平成22年12月4日～2月13日	7,361
アートフェスタいわて2010	平成23年2月26日～3月21日	2,443

(ウ) ワンデイ・ミュージアム・ツアー

県北・沿岸地域に居住する県民を対象に無料バスツアーを実施し、美術鑑賞の機会を提供。

【期日】平成22年7月19日、25日

【参加者数】361人

エ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 企画展教育プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による企画展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催

【参加者数】722人

企画展関連講座等

[単位：人]

内容	講師	期日	参加者数
「アルフォンス・ミュシャ展 記念講演会」	島田 紀夫 氏	平成22年4月29日	186
「ポップ・アート1960's→2000's展 記念講演会」	広本 伸幸 氏	平成22年6月5日	54
「ポップ・アート1960's→2000's展 記念講演会」	加藤 良一 氏	平成22年6月13日	90
「ポップ・アート1960's→2000's展 シネマ上映」	-	平成22年6月27日	50
「黒田清輝展 ワークショップ」	荒川 直美 氏	平成22年7月31日	20
「黒田清輝展 記念講演会」	山梨 絵美子氏	平成22年8月1日	70
「黒田清輝展 ワークショップ」	千葉 努 氏	平成22年8月8日	14
「黒田清輝展 ワークショップ」	千葉 努 氏	平成22年8月21日	14
「百瀬寿展 スペシャル鼎談」	百瀬 寿 氏 加納 光於 氏	平成22年9月20日	130
「ハンス・コパー展 ワークショップ」	清水 幸子 氏	平成22年10月23日	19

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等

内 容	講 師	期 日	参加者数
「ハンス・コパー展 スペシャルギャラリートーク」	清水 幸子 氏	平成22年12月12日	65
「ハンス・コパー展 ワークショップ」	折戸 美規弘氏	平成22年12月18日	19
「ハンス・コパー展 関連講演会」	久世 建二 氏 金子 賢治 氏	平成23年1月9日	80
「ハンス・コパー展 ワークショップ」	久世 建二 氏	平成23年1月10日	19

#### b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説  
【期日】毎月第2・第4土曜日に、年間24回開催 【参加者数】126人
- 常設展関連講座  
【期日】平成22年9月26日 【講師等】本田健氏、池田一憲氏 【参加者数】53人  
【期日】平成22年10月9日 【講師等】本田健氏、山口裕美氏 【参加者数】35人
- 常設展ワークショップ  
【期日】平成22年10月2日 【講師等】本田健氏 【参加者数】41人  
【期日】平成22年11月7日 【講師等】藤井敬子氏 【参加者数】21人
- 夏・冬鑑賞講座  
【期日】平成22年7月22日～8月22日  
【期日】平成22年12月22日～1月7日
- 子ども向け鑑賞カードの作成
- 音声ガイドの更新

#### (イ) 美術普及事業

##### a スタジオプログラム

- 油絵体験講座  
【期日】平成22年7月11日、7月18日、7月24日、8月1日  
平成23年2月19日、2月26日、3月5日 【参加者数】23人
- オープンスタジオ  
【期日】平成22年11月3日 【参加者数】145人
- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。  
【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】379人
- 子供向けワークショップ  
・ジュニアワークショップ 夏「箱式デガンス」  
【期日】平成22年9月4日～5日 【参加者数】35人  
・ジュニアワークショップ 冬「ふわふわハギレでアニメーション」  
【期日】平成23年1月22日～23日 【参加者数】40人

##### b 教育プログラム

- ・学生サポートスタッフの育成 【参加者数】27人

第2章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

c 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座 (年6回)	平成22年5月15日、7月17日、9月18日、11月20日 1月15日、3月5日	306
学芸普及課長講座(年3回)	平成22年9月5日、12月11日、2月6日	114
学芸員講座 (年4回)	平成22年9月23日、10月24日、11月28日、2月11日	139

d 映像プログラム

○ アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位：人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成22年4月25日	舞踏会の手帖	65
平成22年5月16日	野ばら	87
平成22年6月20日	ジャクソン・ポロック	25
平成22年7月25日	美の巨人たち 浅井忠 青木繁	30
平成22年8月29日	美の巨人たち 向井潤吉 佐伯祐三	44
平成22年9月12日	ひと月の夏	41
平成22年10月17日	ミリキタニの猫	57
平成22年11月21日	ストレンジャー	40
平成22年12月19日	クリスマス・キャロル	56
平成23年1月23日	ジョン・ガリアーノ	46
平成23年2月13日	M.C. エッシャー	42

(ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】 毎月開催（年6回） 【参加者数】 126人  
 b 団体対応 【期日】 随時 【利用者数】 2,390人  
 c 美術相談  
 ライブラリー管理運営（日常美術相談、レファレンス含む）

オ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回  
 (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度  
 (ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度  
 (エ) 美術館スケジュール等……年4回

カ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

【修復作品】 澤田 哲郎《風雪》 墨・金箔・和紙 二曲屏風 90.5×367.2cm

百瀬 寿《Square-off MetallikBlue and Magenta》

アクリル・画布 スキャナグラフ 180.0×180.0cm

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第1 文化振興基金を活用した支援等 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

### 3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

【期 日】平成22年10月30日～11月7日

【場 所】岡山県

【参 加】4団体、計104人

【補助額】1,773千円

### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

中学生・高校生の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

#### 1 青少年劇場

##### (1) 本公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
声 楽	よだかの星	平成22年6月3日～6月10日	雫石町ほか8市町村	10	3,876
器 楽	姜建華とシルクロードアンサンブル	平成22年5月31日～6月8日	住田町ほか7市町村	13	6,121
児童劇	青少年「狂言」鑑賞会	平成22年6月28日～6月30日	金ケ崎町ほか3市町村	5	2,149

##### (2) 小公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
器 楽	ひとりオーケストラ「神田将電子オルガンコンサート」	平成22年9月2日～9月3日	盛岡市、岩泉町	3	47

#### 2 子どものための優れた舞台芸術体験事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、音楽劇、演劇、能楽、バレエ、合唱	平成22年10月12日～平成23年2月18日	遠野市立遠野小学校ほか10校	11	3,149

#### 子どものための優れた舞台芸術体験事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	事業数	鑑賞者数
生活文化（茶道、着付け）、音楽	平成22年6月29日～平成22年9月27日	水沢第一高等学校ほか3校	5	720

#### 3 第33回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成22年10月1日	二戸市民文化会館	84校	約1,300
書 道	平成22年11月3日～11月8日	岩手県民会館展示室	50校 1,256点	約850
美術工芸	平成22年11月12日～11月14日、11月16日	岩手県民会館展示室	64校 976点	1,960
合 唱	平成22年7月6日	一関文化センター大ホール	37団体720人	1,000



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

	平成22年8月28日	岩手県民会館大ホール	29校	約690人	約1,000
吹奏楽	平成22年7月31日	北上市文化交流センター	33校		約3,501
	平成22年8月8日	岩手県民会館大ホール			
演劇	平成22年10月21日～10月23日	岩手県民会館大ホール	12校	167人	約242
文芸	平成22年10月4日	岩手県民会館中ホール	47校	9,558作品	約250
囲碁	平成22年10月8日～10月9日	岩手県高校教育会館	19校	119人	—
将棋	平成22年10月22日～10月23日	岩手県高校教育会館	29校	228人	—
器楽	平成22年10月29日	岩手県民会館中ホール	5校	82人	—
写真	平成22年9月24日～9月28日	岩手県民会館展示室・中ホール	31校	343作品	約298
放送	平成22年6月8日	岩手県民会館中ホール	22校	184人	約286
	平成22年11月9日	岩手県民会館中ホール	22校	155人	約210
郷土芸能	平成22年10月16日	一関文化センター	16校	350人	約500
新聞	平成22年10月7日	岩手県公会堂	11校	15作品	23
自然科学	平成22年12月14日	岩手県立総合教育センター	13校	117人	—
英語	平成22年9月17日	岩手県民会館中ホール	18校	26人	約133
吟詠剣詩舞	平成22年10月15日	岩手県民会館中ホール	6校	7人	20
日本音楽	平成22年10月6日	岩手県民会館中ホール	6校	100人	約100
国際理解	平成22年8月27日	盛岡市勤労福祉会館	7校	7人	約60
	平成22年10月8日	岩手県赤十字会館	15校	68人	—
マーチングバンド・バトントワリング	平成22年10月3日	水沢総合体育館	9校	306人	約1500
小倉百人一首かるた	平成22年10月9日	二戸市民文化会館	7校	17人	—
軽音楽	平成22年9月3日	岩手県民会館中ホール	14校	30団体	約150

#### 4 第34回全国高等学校総合文化祭

平成22年8月に宮崎県で開催された全国高等学校総合文化祭に計352人の高校生を派遣した。

部門	期日	会場	派遣学校名(派遣生徒数)
パレード	平成22年8月1日	宮崎市内	岩手女子高等学校 [バトントワリング部] (10)
演劇	—	—	—
合唱	平成22年8月2日	メディアキット県民文化センター(宮崎市)	千厩高等学校 [音楽部] (38)
吹奏楽	平成22年8月4日～5日	延岡総合文化センター	盛岡第三高等学校 [吹奏楽部] (85)
器楽・管弦楽	平成22年8月4日～5日	宮崎市民文化ホール	久慈高等学校 [マンドリン部] (17)
日本音楽	平成22年8月3日～4日	都城市総合文化ホール	盛岡第二高等学校(25) 水沢第一高等学校(6)
吟詠剣詩舞	平成22年8月2日	高鍋町中央公民館	岩手女子高等学校(1) 大迫高等学校(1) 一関工業高等学校(1) 久慈高等学校(2)
郷土芸能	平成22年8月3日～5日	小林市文化会館	北上翔南高等学校(34) 雫石高等学校(17)
マーチングバンド・バトントワリング	平成22年8月3日	都城市早水公園体育文化センター	盛岡女子高等学校 [バトントワリング部] (15) 岩手女子高等学校 [吹奏楽部] (22)
美術・工芸	平成22年8月1日～8月5日	宮崎県立博物館	遠野高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 宮古商業高等学校(1) 大東高等学校(1) 水沢工業高等学校(1) 一戸高等学校(1)

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

			不来方高等学校(1)
書道	平成22年8月1日 ～8月5日	宮崎市総合体育館	盛岡第二高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 不来方高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 一関第二高等学校(1) 千厩高等学校(1) 福岡高等学校(1)
写真	平成22年8月1日 ～8月5日	宮崎市民プラザ	盛岡第一高等学校(1) 盛岡農業高等学校(3) 千厩高等学校(1)
放送	平成22年8月4日～5日	清武町文化会館	盛岡第一高等学校(2) 盛岡第二高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(3) 宮古高等学校(8) 盛岡白百合学園高等学校(1) 岩手高等学校(6)
囲碁	平成22年8月4日～5日	日向市文化交流センター	岩手高等学校(1) 専修大学北上高等学校(1) 花巻南高等学校(1) 久慈東高等学校(1) 種市高等学校(1)
将棋	平成22年8月2日～3日	ホテルシーズン日南	岩手高等学校(3) 花巻南高等学校(3) 盛岡第一高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡青松支援学校(1)
弁論	平成22年8月2日～3日	西都市民会館	大槌高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成22年8月3日～5日	宮崎県武道館	一関第一高等学校(5) 盛岡第一高等学校(1) 福岡高等学校(2)
新聞	平成22年8月1日～5日	宮崎市中央公民館	黒沢尻工業高等学校(2)
文芸	平成22年8月1日～5日	カルチャープラザのべお か	盛岡第四高等学校(1) 花巻北高等学校(2) 水沢高等学校(1) 一関第二高等学校(1)

### 5 平成22年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の延べ375校、3,386人の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部門	期日	会場	参加者数等
書道	平成22年11月8日	岩手県民会館中ホール	50校 850人
美術工芸	—	—	—
合唱	平成22年6月4日～6日	一関文化センター、盛岡市民文化ホール、 二戸市文化会館	13校
	平成22年6月22日～25日	一関文化センター、釜石市民文化会館、盛岡市 民文化ホール、北上市文化交流センター	17校
演劇	平成22年5月25日～26日	岩手県民会館、岩手県公会堂、NPOいわて アートサポートセンター風のスタジオ	29校 383人
文芸	平成22年10月4日	岩手県民会館	47校 250人
囲碁	平成22年7月2日	岩手県高校教育会館	18校 112人
将棋	平成22年7月10日	岩手県高校教育会館	26校 259人
器楽	平成22年6月26日	岩手県高校教育会館	5校
写真	平成22年9月24日	岩手県民会館中ホール	28校 186人
放送	平成22年7月13日	NHK盛岡放送局	7校 13人
	平成22年9月19日	盛岡第一高等学校	25校 161人
	平成22年10月13日	岩手県民会館、テレビ岩手	19校 164人
	平成22年11月27日	テレビ岩手	10校 94人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

##### 第2 中学生・高校生に対する文化活動支援 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

	平成22年12月24日	岩手県民会館	11校 61人
郷土芸能	平成22年10月16日	一関文化センター	16校 350人
新聞	平成22年10月7日	岩手県公会堂	5校 23人
自然科学	平成22年8月5日	岩手県立大学	8校 16人
	平成22年1月4日～6日	国立天文台水沢V L B I観測所	3校 8人
吟詠剣詩舞	平成22年10月15日	岩手県民会館中ホール	6校 7人
日本音楽	平成22年7月1日	奥州市文化会館	6校 116人
国際理解	—	—	—
マーチングバンド・ バトントワリング	平成22年8月19日	盛岡市アイスアリーナ	6校 184人
小倉百人一首かるた	平成22年6月19日～20日	サンセール盛岡	7校 19人
軽音楽	平成22年9月3日	岩手県民会館中ホール	14校 130人

#### 6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】第9回岩手県中学校総合文化祭

[開催日] 平成22年11月18日……………開会式、舞台部門：参加者数1,305人  
平成22年11月18日～11月22日……………展示部門：入場者数1,743人

[会場] 岩手県民会館

【補助額】1,240千円

### 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けられる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を政策地域部と連携して推進した。

#### 1 文化芸術ネットワークの設置

文化芸術活動者が必要とする支援をタイムリーに提供できるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行いうる「文化芸術ネットワーク」を4広域圏に設置することを目指しており、平成21年12月に盛岡広域圏のネットワークが設立された。その概要は以下のとおり。

##### (1) 名称及び役員等

名 称：盛岡広域文化芸術ネットワーク

会 長：中村光紀（特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長）

副会長：林 義明（葛巻文化協会 会長）

：藤澤清美（盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会 会長）

##### (2) 活動範囲

盛岡広域圏8市町村

### (3) ネットワーク参加団体

文化芸術関係団体、伝統芸能関係団体、商工観光団体、行政機関など、盛岡広域圏内の様々な分野の29団体で構成。

事務局は、県（NPO・文化国際課、盛岡広域振興局、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課、同盛岡教育事務所）。

### (4) 活動内容

様々な分野の団体が持つ多様な情報や知識等を活用し、地域で文化芸術活動を行っている者、これから始めようという者、鑑賞など文化芸術に触れてみたいという者等を支援するため、以下のような取組みを行う。

○情報の共有・活用…ネットワーク参加団体が持つ多様な情報を集め、共有し、活用する。

○相談窓口の設置 …圏内の文化芸術に関する相談窓口を設置し、コーディネーター（調整役）が相談に応じ、調整やアドバイス等を行う。

### (5) コーディネーターによる相談対応

盛岡広域圏内の文化芸術に関する相談に対応し、調整やアドバイス等を行う。

「特定非営利活動法人 いわてアートサポートセンター」が対応。

## 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくため、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組みを着実に推進した。また、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」について、関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

#### 1 世界遺産登録の推進

##### (1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」は平成23年の再審査を求めため、「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として推薦書を作成し、平成22年1月に文化庁からユネスコ世界遺産センターに提出した。

この推薦書に記載した事項を確認するため、平成22年9月7日～9日にイコモス（ICOMOS：国際記念物遺跡会議）の調査員が平泉町を訪れ現地調査を行ったことから、登録を確実なものとするためこれに適切に対応した。

また、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向け、平泉文化に対する県民の理解と関心を促し、登録の機運の醸成を図るため、巡回パネル展、平泉文化体感ツアー、シンポジウム、県内の小中学校、高校等における「平泉授業」（30校）などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】17,822千円

##### ○ 巡回パネル展

	会 期	会 場	入場者数
青森県	平成22年8月19日～9月13日	青森県立縄文時遊館	32,115
岩手県	平成22年7月27日～8月15日	岩手県立博物館	4,530
秋田県	平成22年6月29日～7月18日	秋田県立博物館	4,768

##### ○ 平泉文化体感ツアー

【期日】平成22年7月31日 【会場】平泉町 【参加者数】85人

【内容】中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、柳之御所遺跡、無量光院跡、高館を学習

##### ○ シンポジウム

【期日】平成22年9月26日 【会場】岩手教育会館大ホール 【入場者数】約300人

【内容】基調講演、パネルディスカッション

##### ○ 平泉授業

実施校数：小学校22校、中学校6校、高等学校2校

##### (2) 縄文世界遺産登録支援事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

暫定一覧表に 記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

この「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等の検討を行った。

併せて、昨年度作成した4道県共通リーフレットを世界遺産委員会で配布するとともに、パリ日本文化会館において縄文文化説明会等を行い、縄文文化等の普及啓発・情報発信を行った。

【総事業費】 4,958千円

##### (3) 九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションによる世界遺産登録を目指しており、平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、10月の専門家委員会において「橋野鉦山と製鉄遺跡（釜石市）」などが構成資産候補として提言された。

県では釜石市と協議し、平成22年度からは共に世界遺産登録推進協議会にオブザーバーとして、また平成23年度からは正式な構成機関として参加し、九州・山口の関係自治体と協力しながら、世界遺産登録に向けた取組を行った。

【総事業費】 6,879千円

## 2 柳之御所遺跡の整備活用

### (1) 柳之御所遺跡整備調査事業

世界遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」の構成資産の一つである柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。あわせて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 84,222千円

### (2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 110,195千円

### (3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化の研究成果を公開する場として、平泉文化フォーラムを開催した。また、共同研究を推進し、「平泉文化研究年報」第11号として、その成果をまとめた。

【総事業費】 2,992千円

## ○ 平泉文化フォーラム

【期日】 平成23年1月29～30日      【会場】 奥州市胆沢地区勤労者教育文化センター

【入場者数】 400人

【内容】 基調講演、共同研究発表、調査成果報告

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成22年9月10日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(1件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成23年2月10日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(7件)

(2) 文化財の指定

【天然記念物の指定】

平成22年10月1日 岩手県教育委員会告示第4号

指定番号	種別	名 称	員数
天第35号	動物	花巻矢沢地区のゼニ タナゴ生息地	1件

※ 第2回審議会分は震災の影響で23年度の指定

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか1件	24,000	6,000
国指定文化財・指定史跡等購入事業	平泉町	18,375	1,837
県指定文化財・指定有形文化財修理・防災事業	一関市ほか2件	1,586	770
県指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	住田町	1,520	759
県指定文化財・天然記念物保護増殖事業	個人	175	88

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	大船渡市ほか3市町	2,907	1,452

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種 別	名 称	実施期日
史跡	栗木鉄山跡（現地指導）	平成22年6月22日
有形文化財	木造六観音立像、木造青面金剛立像	平成22年11月30日～12月1日
有形文化財	盛岡藩雑書	平成22年12月24日

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】2,000千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】3,650千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】769千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成22年度登録件数】169件

【総登録件数】33,097件

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名	調査地区
一般国道4号渋民バイパス建設事業（芋田沢田IV遺跡2次、芋田沢田VI遺跡）	盛岡市
東北横断自動車道釜石秋田線新直轄事業（向Ⅲ遺跡、上日影遺跡、熊の沢Ⅱ遺跡）	遠野市
三陸自動車道（尾肝要Ⅰ遺跡、姫松Ⅱ遺跡、姫松Ⅰ遺跡）	田野畑村
胆沢ダム建設事業（大平野Ⅱ遺跡）	奥州市
道路改良事業一般国道106号築川道路（小屋野遺跡2次）	盛岡市
北上川中流域治水対策事業（立花南遺跡）	
基幹農道整備事業夏川3期地区・経営体育成基盤整備事業夏川3期地区（石崎貝塚）	一関市
一般県道釜石住田線金ノ倉地区道路改良事業（山脈地遺跡）	住田町
経営体育成基盤整備事業 下矢次地区（高畑遺跡）	矢巾町
経営体育成基盤整備事業 都鳥2期地区（国分遺跡、川端遺跡、堤遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 古城2期地区（高殿Ⅱ遺跡、八反町、中畑城跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区（堰田遺跡、机地遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 白山地区（安久沢東遺跡、田高Ⅱ遺跡）	
盛岡南新都市土地区画整理事業（野古A遺跡30次、飯岡才川遺跡17次、細谷地遺跡26次、矢盛27次）	盛岡市
村道拡幅事業（中平遺跡）	野田村
北部環状線整備事業（佐原Ⅱ遺跡）	宮古市

イ 試掘調査

事業名	調査地区
森山地区工業団地造成事業	金ヶ崎町
一般国道45号 高田道路	陸前高田市
久慈警察署大川目駐在所建設事業	久慈市
畑地帯総合整備事業（担い手支援型）	一戸町
中山間地域総合整備事業 鹿踊りの郷地区	田野畑村
東北横断自動車道釜石秋田線 新直轄事業	遠野市
主要地方道岩泉平井賀普代線県単災害防除事業	普代村
緊急地方道路整備事業（交通安全）	大槌町
稲瀬地区堤防質的整備事業	奥州市
公共下水道事業	野田村
経営体育成基盤整備事業 日形地区	一関市
経営体育成基盤整備事業 夏川2・3期地区	一関市
経営体育成基盤整備事業 和賀中部第四地区	北上市
経営体育成基盤整備事業 古城2期地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 都鳥地区	奥州市
経営体育成基盤整備事業 白山地区	奥州市

ほか158件

ウ 分布調査

事業名	調査地区
久慈北道路	久慈市
地方特定道路整備事業	岩泉町
交通安全施設整備事業（一般国道106号ゆずり車線）	宮古市



第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

海岸保全施設整備事業 野田地区	野田村
地方特定道路整備事業	一関市
中山間地域総合整備事業 江刈地区	葛巻町
森林管理道荒沢線開設工事	久慈市
道路改築事業	一関市
森林管理道八木玉川線開設工事	洋野町
的場地区水源流域広域保全工事及び坂下地区奥地保安林保全緊急対策工事	陸前高田市

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

- 発掘調査等 10市5町で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用を図るなど、管理運営や教育普及活動事業を充実した。

【埋蔵文化財センター受託事業】

ア 発掘調査【計30遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	盛岡市	芋田沢田Ⅳ遺跡2次 芋田沢田Ⅵ遺跡
	北上市	立花南遺跡
	遠野市	向Ⅲ遺跡 上日影遺跡 熊の沢Ⅱ遺跡
	奥州市	大平野Ⅱ遺跡
	田野畑村	尾肝要Ⅰ遺跡 姫松Ⅱ遺跡 姫松Ⅰ遺跡
岩手県	盛岡市	小屋野遺跡2次
	一関市	石崎貝塚
	奥州市	高殿Ⅱ遺跡 国分遺跡 川端遺跡 堤遺跡 安久沢東遺跡 田高Ⅱ遺跡 八反町遺跡 中畑城跡 堰田遺跡 机地遺跡
	矢巾町	高畑遺跡
	住田町	山脈地遺跡
宮古市	宮古市	佐原Ⅱ遺跡
盛岡市	盛岡市	野古A遺跡30次 飯岡才川遺跡17次 矢盛遺跡27次 細谷地遺跡26次
野田村	野田村	中平遺跡

イ 報告書の発刊【計28遺跡】

18冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	遠野市	新田Ⅱ遺跡
	宮古市	八木沢野来遺跡 八木沢駒込Ⅰ・Ⅱ遺跡
	遠野市	向Ⅲ遺跡
	奥州市	大平野Ⅱ遺跡
独立行政法人都市再生機構	盛岡市	細谷地遺跡25次 向中野館13次 矢盛遺跡24次
岩手県	盛岡市	小屋野遺跡2次
	紫波町	下川原Ⅰ・Ⅱ遺跡 南日詰小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡
	住田町	山脈地遺跡 小飼沢Ⅰ・Ⅱ遺跡
	奥州市	鶯ノ木南台地遺跡 水尻遺跡 古城方八丁遺跡 四反田Ⅰ・Ⅱ遺跡
	一関市	五輪堂遺跡
	花巻市	下中居Ⅰ・Ⅱ遺跡 西部遺跡
	北上市	舟渡Ⅰ・Ⅱ遺跡、野沢Ⅱ遺跡
盛岡市	盛岡市	野古A遺跡30次 細谷地遺跡24次 矢盛遺跡27次 向中野館12次 台太郎遺跡66次 飯岡才川遺跡16次

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

##### 第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

#### ウ 調査報告書

平成22年度発掘調査略報 300部

#### エ 普及事業

##### (ア) 第32回埋蔵文化財展

【期日】平成22年11月19日～23日

【場所】住田町農林会館

【テーマ】「いわての宝をみよう」－自然・文化、住田の遺跡－

【内容】遺物の展示、展示解説

##### (イ) 第31回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成22年12月3日

【場所】岩手県工業技術センター

【内容】「中世から近世の陶磁器の見方」

講師 (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 羽柴 直人 氏

##### (ウ) 第33回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成23年2月5日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】「狩猟文化の歴史とその意味」

講師 東京大学大学院教授 佐藤 宏之 氏

##### (エ) 所報「わらびて」の発行

年2回発行(122号～123号)

### 3 文化財の積極的な活用

#### (1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

ア 遺跡台帳の改訂(電算化)

イ 遺跡基本図の改訂(電算化)

ウ 台帳、基本図の複製配布

エ 現地確認調査等の事前協議

オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言

カ 文化財保護法関連諸書類処理

#### (2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる(平成23年3月31日現在37団体加入)。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を委託実施した。

ア 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル

【期日】平成22年8月1日

【会場】岩手県民会館

【鑑賞者数】800人

イ 岩手県民俗芸能大会

【期日】平成22年12月12日

【会場】アンバーホール(久慈市)

【鑑賞者数】700人

## 第11節 生涯スポーツの振興

県民のだれもがそれぞれのライフステージにおいて、興味関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民のだれもが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

#### 1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	194 件	108,543 名

#### 2 全国スポーツ・レクリエーション祭への選手派遣

富山県で開催された第23回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレクとやま2010）に、選手を派遣し、各種目別団体及び市町村におけるスポーツ・レクリエーション活動への促進を図った。

事業名	参加種目数	参加者数
全国スポレク祭参加推進事業	9 種目	71名

## 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質向上を図った。

### 1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成22年7月1日現在）】 [単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計	市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数				クラブ数	加入者数		
盛岡市	3	386	2	5	陸前高田市	—	—	—	—
八幡平市	—	—	—	—	住田町	—	—	1	1
雫石町	1	3,409	1	2	釜石市	2	308	—	2
葛巻町	—	—	1	1	大槌町	1	50	—	1
岩手町	—	—	1	1	宮古市	1	658	—	1
滝沢村	1	361	—	1	山田町	—	—	—	—
紫波町	1	—	—	1	岩泉町	—	—	1	1
矢巾町	1	225	—	1	田野畑村	—	—	1	1
花巻市	1	59	—	1	久慈市	1	138	3	4
遠野市	9	4,264	—	9	洋野町	—	—	—	—
北上市	4	11,927	1	5	野田村	—	—	—	—
西和賀町	—	—	1	1	普代村	1	74	—	1
奥州市	4	6,231	—	4	二戸市	2	349	—	2
金ケ崎町	7	480	—	7	軽米町	—	—	2	2
一関市	—	—	6	6	九戸村	—	—	—	—
平泉町	—	—	1	1	一戸町	2	315	—	2
藤沢町	1	9,262	—	1					
大船渡市	—	—	1	1	計	43	38,496	23	66

### 2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

#### 【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

(1) 市町村生涯スポーツ担当者研修会

【期日】平成22年4月23日 【場所】盛岡市 【参加者数】30人

(2) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会

【期日】平成22年6月5日～6日 【場所】滝沢村 【参加者数】50人

(3) 生涯スポーツ指導者講習会

【期日】平成22年8月10日 【場所】盛岡市 【参加者数】54人

(4) 東北地区体育指導委員研修会兼岩手県体育指導委員研修会

【期日】平成22年7月9日～10日 【場所】奥州市 【参加者数】966人

- (5) 生涯スポーツ推進研究大会兼体育施設関係者講習会  
【期日】平成22年11月9日 【場所】盛岡市 【参加者数】57人

### 3 施設の整備充実

#### (1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設、野外活動センターは、次の8施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか6施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

- ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）
- イ 県営体育館
- ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）
- エ 県営スケート場
- オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）
- カ 県立御所湖広域公園艇庫
- キ 県立高田松原野外活動センター
- ク 県営スキージャンプ場

#### (2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成22年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

- ア 県営運動公園児童公園あそびの森改修工事
- イ 県営運動公園受変電設備改修工事
- ウ 県営運動公園第2種公認改修工事
- エ 県営運動公園外壁等改修工事
- オ 県営運動公園陸上競技場照明設備設置工事
- カ 県営体育館空調送風機取替工事
- キ 県営野球場受変電設備改修工事
- ク 県営スケート場受変電設備改修工事
- ケ 県営スケート場管理棟天井改修工事
- コ 県立御所湖広域公園艇庫給水ポンプ改修工事
- サ 県営スキージャンプ場スモールヒル建設工事
- シ 県営スキージャンプ場倉庫新築工事

第3章 教育施策の推進状況  
 第11節 生涯スポーツの振興  
 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

(3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		365	10,466	400,152
県営体育館		319	947	73,746
県営野球場		323	1,699	134,184
県営スケート場		283	668	35,823
県営武道館		321	3,392	237,401
県立御所湖広域公園艇庫		162	913	8,921
県立高田松原野外活動センター		331	2,858	100,993
県営スキージャンプ場		0	0	0
計		—	20,943	991,220

4 財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、110～113ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下147ページまでのとおり。

【財団法人事業団事務局 平成22年度受託事業及び自主事業】

1 キッズ&初心者テニス教室

【期日】4月29日

【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】56人

2 クライミング無料体験会

期日	場 所	参加者数
4月29日	県営運動公園登はん場	131人
10月11日		359人

3 武道教室

	期日	場 所	参加者数
柔道	月・火・金曜日114回	県営武道館柔道場	4,835人
剣道	月・金曜日76回	県営武道館剣道場	1,850人
なぎなた	木・土曜日82回	県営武道館剣道場	806人
弓道	火・木・金曜日112回	県営武道館弓道場	1,230人
相撲	土曜日6回	県営武道館相撲場	86人
空手道	火・木曜日84回	県営武道館剣道場	578人
少林寺拳法	土・日曜日82回	県営武道館柔道場・剣道場	2,059人
合気道	木・日曜日85回	県営武道館柔道場	1,222人
鏡開き	1月9日	県営武道館	250人

4 親子かけっこ教室

【期日】5月1日、5日

【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】114人

5 指導者派遣事業

【期日】5月～2月 計64回

【場所】各市町村施設等（14市町村） 【参加者数】3,237人

6 第22回湖上フェスティバル

【期日】7月25日

【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】209人

7 夏休み・冬休み親子スポーツ教室

	期日	場 所	参加者数
夏休み	7月31日	県営体育館	32人
〃	8月7日	勤労身障者体育館	57人
冬休み	1月8日	県営武道館	36人

8 高齢者健康・体づくり指導者セミナー

【期日】9月16日

【場所】県営武道館 【参加者数】180人

9 スポーツフェスティバル2010

【期日】10月11日（体育の日）

【場所】県営体育施設・花巻広域公園他 【参加者数】17,726人

10 スケート場オープニング事業（平成21年度新規事業）

【期日】11月3日

【場所】県営スケート場 【参加者数】1,008人

11 スケートキッズonサタデー

【期日】11月～2月の土曜日 計15回

【場所】県営スケート場 【参加者数】8,085人

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

12 第5回岩手県キッズドッチビー交流大会

【期日】9月12日

【場所】県営武道館 【参加者数】74人

13 7thエアロビックレッスンin IWATE

【期日】11月23日

【場所】県営武道館 【参加者数】110人

14 第24回氷上フェスティバル

【期日】12月18日

【場所】県営スケート場 【参加者数】774人

15 スポーツボランティア養成事業

【期日】通年

16 健康・体づくりの指導プログラムに関する研究

【期日】通年

17 [自主事業] 運動公園さくら祭り

【期日】5月2日～4日

【場所】県営運動公園野球場 【参加者数】123人

18 [自主事業] 健康歩き方教室

期日	場所	参加者数
4月24日	県営運動公園	34人
10月11日		17人

19 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ練習会

【期日】5月19日～11月3日の水曜日 計19回

【場所】県営運動公園補助競技場 【参加者数】1,137人

20 [自主事業] すまいるソフトテニス教室

【期日】5月29日～10月29日の金曜日 計14回

【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】296人

21 [自主事業] 理事長杯グラウンド・ゴルフ交流会

期日	場所	参加者数
8月18日	県営運動公園補助競技場	80人
11月10日		70人

22 [自主事業] スポーツフェスティバル2010

【内容】フリーマーケット、屋台村

【期日】10月11日（体育の日）

【場所】県営運動公園 【参加者数】240人

23 [自主事業] 親子で雪っこ体験教室

【期日】1月29日

【場所】県営運動公園 【参加者数】61人

24 [自主事業] 運動公園フォトコンテスト

【期日】作品募集：5月～、作品展示：～2月

【場所】県営運動公園 【参加者数】1,000人

#### 【県立高田松原野外活動センター 平成22年度受託事業及び自主事業】

1 合同事前研修会

【期日】4月26日～8月18日（計11回）

【参加者数】232人

2 高田野活グラウンド・ゴルフ記録会・交流会

	期日	参加者数
記録会	5月14日	312人
交流会	10月31日	荒天中止

3 カヤック教室

	期日	参加者数
第1回	6月27日	17人
第2回	7月11日	24人
第3回	8月8日	25人
第4回	8月29日	19人
第5回	9月5日	26人

4 ドラマチック海遊塾

【期日】7月27日～31日

【参加者数】21人

5 親子ふれあいキャンプin高田

【期日】8月14日・15日

【参加者数】20人

6 高田野活スポーツフェスティバル

【期日】9月26日

【参加者数】575人

7 親子海釣り教室

【期日】10月16日・17日

【参加者数】27人

8 親子創作活動のつどい

	期日	参加者数
第1回	12月5日	41人
第2回	12月12日	47人

9 やかつキッズクラブ

	期日	参加者数
第1回	1月15日	22人
第2回	1月29日	14人
第3回	2月12日	15人
第4回	2月26日	17人

10 高田野活創作まつり

【期日】2月6日

【参加者数】177人

11 利用者調査

12 [自主事業] 高田野活・春まつり

【期日】4月17日・18日

【参加者数】423人

13 [自主事業] 高田野活・秋まつり

【期日】11月7日

【参加者数】753人

第3章 教育施策の推進状況  
第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

【県営体育館 平成22年度自主事業】

1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月20日～7月15日 計7回	352人
第2回	8月19日～10月28日 計6回	244人

2 スポーツナイト on Tuesday

【期日】6月1日～8月31日の火曜日 計11回  
【参加者数】635人

3 スポーツフェスティバル2010ビーチボール交流会

【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】250人

4 第6回岩手県スポーツ振興事業団理事長杯フットサル大会

【期日】10月28日～12月16日 計8回 【参加者数】1,385人

5 スポーツカフェ2011盛年ソフトテニスミックスダブルス大会

【期日】2月23日 【参加者数】42人

【県営武道館 平成22年度自主事業】

1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月18日～7月23日 計14回	1,099人
第2回	8月17日～10月26日 計16回	890人
第3回	11月15日～2月17日 計16回	890人

2 弓道教室

【期日】6月7日～7月8日の月・木曜日 計10回  
【参加者数】100人

3 スポーツフェスティバル2010

【内容】武道交流会 ちびっこ相撲大会  
【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】980人

4 巡回相撲教室

【期日】7月20日～22日 【参加者数】20人

5 少年柔道教室

【期日】12月25日～27日 【参加者数】265人

6 少年剣道教室

【期日】1月11日～13日 【参加者数】131人

【県営野球場 平成22年度自主事業】

1 県営野球場バランスボール教室

【期日】5月20日～2月15日 計22回  
【参加者数】240人

2 スポーツフェスティバル2010

【内容】学童軟式野球交流試合  
【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】1,105人

3 中学生野球教室（楽天野球塾）

【期日】11月14日 【参加者数】36人

4 室内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会

【期日】11月26日～2月25日の火・金曜日 計27回  
【参加者数】2,201人

【県立御所湖広域公園艇庫 平成22年度自主事業】

1 御所湖探検カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	5月22日	15人
第2回	5月30日	12人
第2回	6月12日	20人

2 親子カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	7月31日	流木中止
第2回	8月1日	15人

3 第22回湖上フェスティバル

【内容】夏のカヤック体験  
【期日】7月25日 【参加者数】37人

4 スポーツフェスティバル2010

【内容】秋のカヤック体験  
【期日】10月11日（体育の日） 【参加者数】101人



### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第11節 生涯スポーツの振興

##### 第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

#### 【県営スケート場 平成22年度自主事業】

- 1 スケート教室  
【期日】12月5日～2月27日の日曜日 計9回  
【参加者数】118人
- 2 第24回氷上フェスティバルスケートレッスントイム  
【期日】12月18日 【参加者数】35人

#### 【県立花巻広域公園 平成22年度自主事業】

##### 1 ぎんがのもり探検隊 自然観察会

	期 日	参加者数
第1回	7月10日	14人
第2回	9月18日	雨天中止
第3回	10月17日	20人

##### 2 ちびっこ写生会

【期日】7月25日～11月30日 【参加者数】7人

##### 3 すまいるグラウンド・ゴルフ練習会

【期日】5月14日～10月22日 【参加者数】211人

##### 4 ゴルフ教室

	期 間	参加者数
第1回	5月11日～6月1日の火曜日	40人
第2回	7月6日～27日の火曜日	39人
第3回	9月7日～10月5日の火曜日	52人

##### 5 親子ゴルフ教室

【期日】7月31日～8月8日 【参加者数】25人

##### 6 ぎんがのもり春まつり

【期日】5月4日 【参加者数】3,153人

##### 7 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会

	期 日	参加者数
第1回	7月2日	64人
第2回	11月5日	102人

##### 8 親子体験工作小鳥の巣箱作り

【期日】7月25日 【参加者数】2人

##### 9 ぎんがのもり夏まつり

【期日】7月25日 【参加者数】637人

##### 10 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ世代間交流会

【期日】8月5日 【参加者数】7人

##### 11 ぎんがのもり写真展（平成21年度新規事業）

【期日】9月1日～30日 【参加者数】2人

##### 12 ぎんがのもり秋まつり

【期日】10月10日 【参加者数】751人

#### 【県勤労身体障がい者体育館 平成22年度自主事業】

##### 1 東北車椅子バスケットボール交流会

【期日】4月10日・11日 【参加者数】72人

##### 2 けやきカーニバル

【期日】5月23日 【参加者数】34人

##### 3 第6回ニュースポーツ交流会

【期日】6月20日 【参加者数】37人

##### 4 第7回ニュースポーツ交流会

【期日】12月11日 【参加者数】46人

##### 5 第3回ピンポン交流会

【期日】7月15日 【参加者数】42人

##### 6 バスケットボールフェスタ兼第3回けやき杯車椅子ツイーンバスケットボール大会

【期日】9月25日・25日 【参加者数】86人

##### 7 ぶらんちスポーツクラブ

【期日】11月19日～2月25日 計8回 【参加者数】297人

### 第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

#### 1 生涯スポーツに関する情報提供

広域スポーツセンターホームページにより、県民に対し生涯スポーツに関する情報の提供を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

#### 2 平成22年度各種登録指導者数

- |                                |        |            |
|--------------------------------|--------|------------|
| (1) 県スポーツリーダーバンク登録者……          | 656人   | (前年比 13人減) |
| (2) 地域スポーツ指導者……                | 1,475人 | (前年比 74人増) |
| (3) 競技力向上指導者……                 | 266人   | (前年比 17人増) |
| (4) 商業スポーツ施設指導者……              | 41人    | (前年比 11人減) |
| (5) フィットネス系資格指導者……             | 161人   | (前年比 5人増)  |
| (6) メディカル・コンディショニング資格指導者……     | 59人    | (前年比 1人増)  |
| (7) 総合型地域スポーツクラブアシスタントマネージャー…… | 54人    | (前年比 17人増) |
| (8) レクリエーション関係資格指導者……          | 1,485人 | (前年比 75人減) |
| (9) 県スポーツ少年団指導者……              | 5,641人 | (前年比 55人増) |

## 第12節 競技スポーツの強化

### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

#### 1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
知的能力開発プログラム	9回
身体能力開発プログラム	9回

#### 2 中学生・高校生の競技力向上

平成23年岩手インターハイや平成28年岩手国体を見据えて、その中心となる中学生や高校生を中心に強化合宿や講習会を行う「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」や「未来のエース育成強化事業」を実施した。

事業名	対象
未来のエース育成強化事業	39競技団体
センチュリー21 ジュニア選手強化事業	高体連・中体連

#### 3 指導者の資質向上

最新の指導方法の研修を推進するため、岩手県スポーツ特別強化指定校や私立高校重点強化校の優秀指導者を国内トップレベルの強化合宿に派遣するとともに、各競技の日本を代表するトップコーチを県内に招聘し、ハイレベルな指導方法等の研修を行うなど、指導者の資質向上を図った。

事業名	対象
県内トップコーチ研修等派遣事業	40競技団体
国内優秀コーチ招聘事業	29競技団体

#### 4 各種全国大会の結果

第65回国民体育大会の本県の成績は、弓道競技少年男子近的の岩手選抜（古舘・佐藤・女鹿口）、ウェイトリフティング競技少年男子94kg級スナッチで後藤（岩谷堂高校）が優勝するなど19競技60種目に入賞し、男女総合成績（天皇杯）は812.5点を獲得し、33位であった。

大会名	入賞数
第65回国民体育大会	60
平成22年度全国高等学校総合体育大会	25
平成22年度全国中学校体育大会	20

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第12節 競技スポーツの強化

##### 第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

## 第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

### 1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、「センチュリー21 ジュニア選手強化事業」の拡充や中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

### 2 一貫指導システムの構築

系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、各競技団体が本県の実態に即した小中高一貫指導プランを作成するために「一貫指導システム構築事業」「一貫指導担当者会議」を実施した。

事業名	対象
一貫指導システム構築事業	40競技団体

小中高指導者連携協議会 (第1回) 平成22年10月22日 会場：サンセール盛岡  
(第2回) 平成23年1月26日 会場：サンセール盛岡

### 3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期日	会場
第62回岩手県高等学校総合体育大会	平成22年5月25日～6月7日	盛岡市ほか
第57回岩手県中学校総合体育大会	平成22年7月17日～7月19日	盛岡市ほか
第60回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成22年11月23日～12月17日	盛岡市
第43回岩手県中学校スケート大会	平成22年11月23日～12月12日	盛岡市
第60回岩手県中学校スキー大会	平成23年1月14日～1月17日	八幡平市
第60回岩手県高等学校スキー大会	平成23年1月15日～1月17日	八幡平市
第60回全国高等学校スキー大会	平成23年2月6日～2月10日	八幡平市

### 4 学校体育団体助成

団体名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	29,604千円
岩手県高等学校体育連盟	117,309千円

### 第3章 教育施策の推進状況

#### 第12節 競技スポーツの強化

#### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

### 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

平成 28 年に開催予定の岩手国体に向けて競技者等の裾野を広げ、広範なサポート体制を形成しながら、国体会場地市町村を中心としたスポーツ拠点化を推進するために、小・中学生を対象に「チャレンジスクール事業（体験教室）」を開催した。

事業名	対象
チャレンジスクール事業	15 競技団体

### 第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフの養成やプログラムの研究や開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図った。

事業名	実施回数	受講者数
いわてアスレティック養成セミナー（1期生）	7回	47名
（2期生）	3回	42名

## [附] 私立学校

### 1 私立学校審議会

#### (1) 委員（平成22年7月1日現在、五十音順）

- 大 森 紀代美（盛岡生活文化研究室幹事）
- 荻 原 禮 子（盛岡白百合学園中学校長 高等学校長）
- 柏 眞喜子（東北公営企業株式会社代表取締役社長）
- 久 保 榮 子（学校法人コアトレース理事長）
- 坂 水 か よ（聖パウロ幼稚園長）
- 咲 間 まり子（岩手県立大学社会福祉学部准教授）
- 佐 藤 勝（元岩手県教育委員会教育長）
- 田 代 高 章（岩手大学教育学部准教授）
- 横 田 大 樹（学校法人宮古泉学園理事長 宮古泉幼稚園長）
- 横 田 禮 子（盛岡スコーレ高等学校長）

#### (2) 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

##### ア 平成22年7月29日答申

学校の廃止認可について

北東北東洋医療専門学校

学校設置者の変更認可について

岩手第一珠算学校

学校の設置計画について

（仮称）国際医療福祉専門学校一関校

##### イ 平成22年9月27日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

ふじなでしこ幼稚園

専修学校の目的の変更認可について

岩手医科大学歯科衛生専門学校

学校の廃止認可について

岩手医科大学歯科技工専門学校

学校の設置認可について

国際医療福祉専門学校一関校

### 2 私立学校等認可の状況

平成22年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

- (1) 学校の設置認可…………… 1件
- (2) 学校の廃止認可…………… 2件
- (3) 学校設置者の変更認可…………… 1件
- (4) 学校の収容定員に係る学則変更認可…………… 1件
- (5) 専修学校の目的変更認可…………… 1件

### 3 助成の状況（平成22年度最終予算）

#### (1) 県費補助

##### ア 私立学校運営費補助

幼稚園・小・中・高等学校補助	4,167,225千円
過疎地域私立高等学校補助（3校）	153,891千円
特別支援教育費補助（44幼稚園）	82,712千円
教育改革推進特別経費	247,380千円
特別支援学校補助（1校）	85,680千円
専修学校補助（15校）	69,407千円
イ 私立学校教職員退職金給付事業費補助	137,536千円
ウ 日本私立学校振興・共済事業団補助	47,545千円
エ 私立高等学校等授業料減免補助	13,310千円

#### (2) 岩手県私学教育振興会貸付金

施設整備・経営資金貸付	165,000千円
-------------	-----------

### 4 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成22年11月9日知事表彰を行った。

- 団体 盛岡白百合学園高等学校
  
- 個人
  - 佐藤 玲子（学校法人吾妻学園 理事長）
  - 瓜生 祐子（都南幼稚園 園長）
  - 佐々木 道子（光の園幼稚園 園長）
  - 高橋 やえ子（あづま幼稚園 副園長）
  - 及川 和夫（専修大学北上高等学校 校長）
  - 古見 英男（盛岡中央高等学校 教頭）
  - 佐藤 功（一関学院高等学校 教頭）
  - 田村 登（盛岡大学附属高等学校 教諭）
  - 千葉 幸子（岩手看護専門学校 教務主任）

[参考] 管理部門

第1 市町村立学校

1 教職員の人事異動

平成22年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県的視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県的視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

- (1) 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック14地区とし、在任中に2ブロック3地区以上勤務することを原則とした。
- (2) ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流をより一層活発にした。
- (3) へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。
- (4) 小中学校併設校8校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。
- (5) 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。  
新たに35人の校長と19人の副校長を登用した。
- (6) 新採用教員については、7教育事務所に配置し、初任者研修の効果的な実施に配慮した。  
教諭の新規採用は60人であった。
- (7) 退職者は144人であり、校長は56人、副校長は6人であった。

【平成22年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	小学校			中学校			計		
	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計
校長	31	83	114	14	34	48	45	117	162
副校長	35	52	87	13	40	53	48	92	140
主幹教諭	11	1	12	8	1	9	19	2	21
教諭(指導教諭含)	316	392	705	142	302	444	458	694	1152
養護教諭	29	44	73	17	29	46	46	73	119
栄養教諭	10	5	15	4	0	4	14	5	19
学校栄養職員	4	5	9	5	2	7	9	7	16
事務職員	33	67	100	11	18	29	44	85	129
小計	469	649	1,118	214	426	640	683	1,075	1,758
市町村教委等転出者	12			8			20		
合計	1,130			648			1,778		

注：事務局及び県立学校への転出者(小学校10人、中学校16人、計26人)を含まない。

校種間異動者(中学校から小学校へ3人、小学校から中学校へ5人)を含んでいる。

【校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	0	0	0
同一教育事務所管外	20	15	35
計	20	15	35

【副校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	0	0	0
同一教育事務所管外	10	9	19
計	10	9	19

【新採用職員】[単位：人]

	小学校	中学校	計
教諭	24	36	60
養護教諭	1	0	1
栄養教諭	0	1	1
事務職員	1	0	1

【退職者】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
校長	39	17	56
副校長	3	3	6
教諭	36	23	59
養護教諭	7	4	11
学校栄養職員	1	3	4
事務職員	6	2	8
計	92	52	144



## 2 教育相談員

教育相談員は、公立小中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問に計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校数は52.5校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任副校長や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

## 第2 県立学校

【平成22年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	退 職	昇任、配置換、転出	転入、採用	計
高等学校教員	78	428	66	572
特別支援学校教員	19	115	38	172
実習助手	16	11	7	34
寄宿舍指導員	4	14	3	21
事務職員	14	76	24	114
栄養教諭・栄養士	0	0	1	1
技能労務・海事職員	12	15	3	30
計	143	659	142	944

このうち、校長は、退職が16人であり、任命換、昇任、転入及び採用が31人であった。

### 1 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、14人を校長に登用した。また、広く全県的視野に立って、12人の中堅教員を副校長に登用した。

### 2 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

- (1) 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員の異動に重点を置いた。
- (2) 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成22年度に各県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりであること。

[単位：人]

施設	競技会等の名称	期日	参加者数 (入場者数)
県営体育館	第78回全東北学生競技ダンス選手権大会	平成22年5月3日・4日	700
	プロレスリング・ノア盛岡大会	平成22年7月14日	700
	日本フットサルリーグ	平成22年11月6日	1,600
	みちのくプロレス盛岡大会	平成22年11月7日	1,000
	日本フットサルリーグ	平成22年11月21日	600
	全日本プロレス盛岡大会	平成22年12月3日	900
	第35回日本ハンドボールリーグ盛岡大会	平成22年12月10日・11日	1,800
	日本フットサルリーグ	平成22年2月20日	900
県営野球場	第57回春季東北地区高等学校野球大会	平成22年6月10日～14日	1,230
	第42回東北地方水道職員親善野球大会	平成22年8月21日・22日	550
	プロ野球パ・リーグ公式戦 楽天対日本ハム	平成22年8月25日	11,180
県営スケート場	ジャパンカップスピードスケート競技	平成22年12月3日～5日	490
	東北高校スケート競技選手権大会	平成22年12月23日～25日	545
	東北中学校スケート競技選手権大会		
	東北スケート競技選手権大会		
全日本スプリントスピードスケート選手権大会	平成22年12月27日～29日	1,200	
県営武道館	第23回マルちゃん杯東北少年柔道大会	平成22年5月15日・16日	6,450
	第40回東北高等学校弓道選手権大会	平成22年6月25日～27日	2,400
	東北地区高等学校弓道錬成大会	平成22年8月9日～11日	1,560
	第37回東北総合体育大会（空手道競技）	平成22年8月20日～22日	2,000
	第37回東北総合体育大会（弓道競技）	平成22年8月20日～22日	900
	平成22年度全日本学生柔道体重別選手権大会東北予選会	平成22年9月4日・5日	2,360
	平成22年度東北地区大学体育大会（柔道競技）	平成22年10月23日	260
	東北中学校体育指導者講習会（剣道）	平成22年10月30日・31日	200
	第30回東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会	平成22年11月27日・28日	2,900
	東北なぎなた指導者研修会、審査会、審判研修会	平成22年12月18日・19日	160
県立御所湖広域公園艇庫	第37回東北総合体育大会カヌー競技	平成22年7月16日～18日	230
	第29回東北カヌー選手権大会		